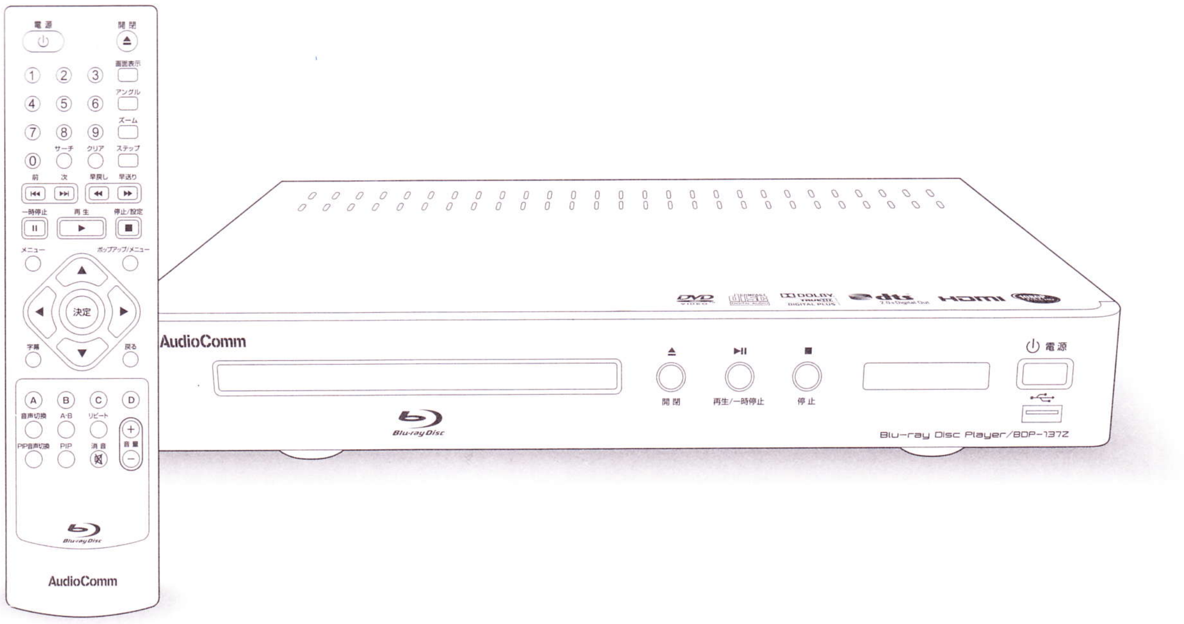
AudioComm®

取扱説明書 保証書付

ブルーレイディスクプレーヤー

型番：BDP-137Z　　品番：07-0137

Blu-ray Disc Player



このたびは、AudioComm® ブルーレイディスクプレーヤーを
お買い上げいただき
誠にありがとうございます。

本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

もくじ

ご注意

安全上のご注意 …… 3〜5
付属品をご確認ください …… 5

はじめに

ご使用前に知っておいていただきたいこと …… 6
●電源について ●映像出力信号について ●自動電源オフとスクリーンセーバーについて
●結露について ●静電気・外部電波の影響 ●ディスク規格と禁止マークについて
●音量について ●著作権について ●本書で使用している図版について ●その他の補足事項
本機で再生可能なディスク・USB フラッシュメモリーについて …… 7〜9
●再生可能なディスク ●再生可能な USB フラッシュメモリー ●ファイル形式等についての制限事項
●再生できないディスク ●ディスクの構成について ●ディスク使用上での注意点
各部の名称(本機) …… 10
各部の名称(リモコン) …… 11
リモコンの使い方 …… 12
●リモコンに乾電池を入れる ●リモコンによる操作

接続と電源のオン・オフ

テレビ／オーディオ機器との接続方法 …… 13〜14
●HDMI ケーブル(別売)で接続する場合 ●AV 接続コード(付属)で接続する場合
●映像をテレビ(モニター)で映し、音声をアナログオーディオ機器で聴く場合
●映像をテレビ(モニター)で映し、音声をドルビーデジタルシステム(5.1ch/7.1ch)対応機器で聴く場合
電源のオン・オフについて …… 15

設 定 (セットアップメニューの操作)

セットアップメニューの概要 …… 16
放送方式の設定 …… 17
解像度の設定 …… 18
TV アスペクトの設定 …… 18〜19
Deep Color の設定 …… 20
PCM ダウンサンプリングの設定 …… 21
オーディオデジタル出力の設定 …… 22
ダイナミックレンジの設定 …… 23
ステレオダウンミックスの設定 …… 24
画面表示言語の設定 …… 25
メニュー言語の設定 …… 26
音声言語の設定 …… 27
字幕言語の設定 …… 28
視聴制限国の設定 …… 29
視聴制限ロックの設定 …… 30
視聴制限レベルの設定 …… 31
パスワード変更 …… 32
スクリーンセーバー設定 …… 33
自動電源オフ …… 34
設定初期化 …… 35
BD-Live ストレージの消去 …… 35〜36
情報の表示 …… 36

BD・DVDを見る

BD・DVDの基本操作 …… 37～38
早送り・早戻し …… 38
スキップ(⏭／⏮) …… 39
消音 …… 39
サーチ …… 39
リピート …… 40
A-Bリピート …… 40
音声の選択 …… 40
字幕 …… 41
PIP(ピクチャーインピクチャー) …… 41
PIP音声の選択 …… 42
PIP字幕の選択 …… 42
画面表示 …… 43
アングル …… 43
ズーム …… 43
ステップ(コマ送り) …… 44
メニュー …… 44
ポップアップ／メニュー …… 44
レジューム機能について …… 44

CDを聴く

CDの基本操作 …… 45～46
早送り・早戻し …… 47
スキップ(⏭／⏮) …… 47
ジャンプ …… 47
リピート …… 47
A-Bリピート …… 48
消音 …… 48

その他のメディア（CD-R/RW、USBフラッシュメモリー）

セッティング・接続方法 …… 49
再生の基本操作 …… 50～51

ネットワーク接続とBD-Live機能

ネットワークへ接続する …… 52～53
BD-Live機能を使う …… 54

その他

故障かなと思ったら …… 55～56
よくあるご質問 …… 56
主な仕様 …… 57
商標・登録商標など …… 57
お手入れのしかた …… 58
保証書とアフターサービス …… 58
用語解説 …… 59
ライセンス …… 60～61

保証書

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって３段階に表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

△記号は、注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。（左図の場合は感電注意が描かれています。）

○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
（左図の場合は分解禁止が描かれています。）

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く、が描かれています。）

⚠警告

異常の時はコンセントから抜く	●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。
分解禁止	●本体を修理、改造しないでください。 火災・感電の原因となります。
水が入った場合はコンセントから抜く	●万一、内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
異物挿入禁止	●ディスクトレイなどから異物を入れないでください。金属や紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災・感電の原因となります。 特にお子様がいる時はご注意ください。

水かけ禁止	●浴室やシャワー室など、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しないでください。 火災や感電の危険があります。
接触禁止 感電に注意	●雷が鳴り始めたら、安全のため電源プラグを抜いてください。
異物が入った場合はコンセントから抜く	●万一、機器の内部に異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
禁止	●表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
禁止	●電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。 コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気づかず重いものをのせてしまうことがあります。

⚠警告

コードを交換する	●電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、使用を中止し、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
禁止	●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、挟んだり、束ねたりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。

禁止	●この機器を使用できるのは日本国内のみです。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しないでください。火災の原因となります。
禁止	●本機の上に物を置かないでください。金属類や、花びん、コップ等に入った化粧品などの液体が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。また、重い物を置いていて落下した場合は、けがの原因となります。

⚠注意

禁止	●調理台や浴室、加湿器のそばなど、湯煙や湿気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
禁止	●ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
禁止	●電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
禁止	●窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。
禁止	●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
乾電池の電極性に注意	●乾電池を挿入する場合、極性表示(プラス+とマイナスーの向き)に注意し、表示通り正しく入れてください。 間違えますと乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
禁止	●指定以外の乾電池は使用しないでください。また、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使わないでください。乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
禁止	●電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニター等)に近づけないでください。電磁波により、お互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。

コンセントから抜く	●お手入れの際には安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。
禁止	●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
禁止	●電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
コンセントから抜く	●移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。 コンセントから抜く時は必ず電源プラグ部分を持って抜いてください。
指を挟まれないように注意	●お子様がディスクトレイの中に手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
音量に注意	●ご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。 近隣の迷惑になるとともに、耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
コンセントから抜く	●旅行などで長時間本機をご使用にならない時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜き、乾電池も取り外してください。火災・液もれの原因となることがあります。
禁止	●各端子の接続部などに異物を入れたり、差し込まないでください。故障の原因となります。

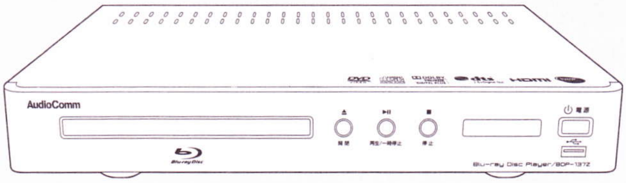
乾電池を安全にお使いいただくために

乾電池の液もれ、発熱、破裂等の事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

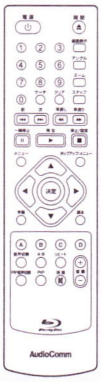
警告	・火中への投入、加熱、分解をしない ・ショートさせない ・新しい乾電池と使用した乾電池、種類の異なる乾電池（マンガンとアルカリ）を混ぜて使わない	注意	・⊕⊖の表示通りに入れる ・指定以外の乾電池を入れない ・使い切った乾電池はすぐに取り出す ・しばらく使わない時は乾電池を取り外しておく

●万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
●万一、もれた液が目に入った時は、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
●使用済みの乾電池を廃棄する時、自治体の条例などで決まりがある場合にはそれに従って廃棄してください。

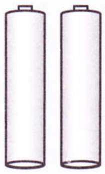
付属品をご確認ください



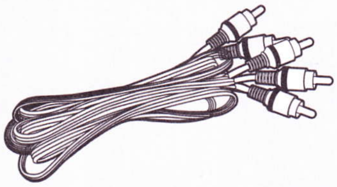
ブルーレイ
ディスクプレーヤー（本機）1台



リモコン　１個



リモコン用単４形乾電池
（動作確認用）　２本



AV接続コード　１個

取扱説明書　１冊

※お客様の安全のため、改造に関するご質問には回答できませんのでご了承ください。

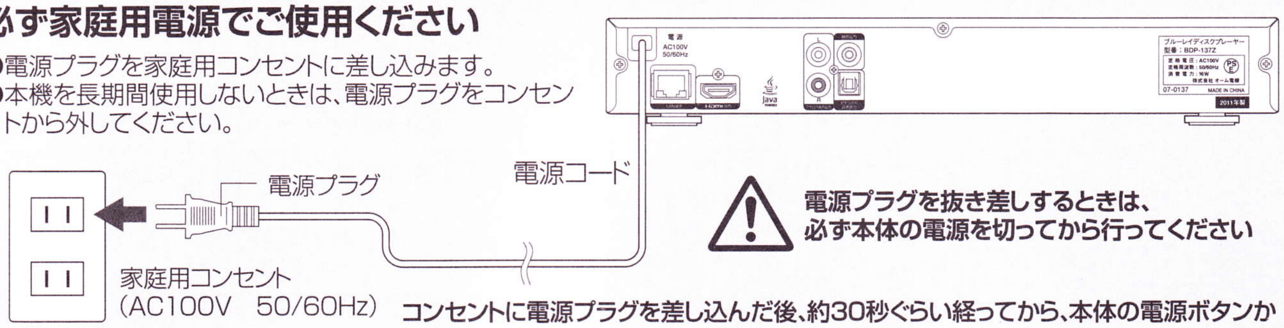
ご使用の前に知っておいていただきたいこと

電源について

本機はACを主電源とする一般家庭用の電気製品規格で生産されています。**必ず家庭用電源でご使用ください。**正規のご使用方法以外で故障した場合、保証期間中でも有料修理とさせていただくことがあります。

必ず家庭用電源でご使用ください

- 電源プラグを家庭用コンセントに差し込みます。
- 本機を長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから外してください。



電源プラグを抜き差しするときは、必ず本体の電源を切ってから行ってください

コンセントに電源プラグを差し込んだ後、約30秒ぐらい経ってから、本体の電源ボタンかリモコンの電源ボタンを押して電源を入れてください。

映像出力信号について

放送方式の設定(P.17)において、工場出荷時(初期設定)は「NTSC Japan」になっています。「PAL」に切り換えると画面が上下に流れ続けて、元に戻すことが困難になる場合があるので、絶対に変更しないでください。
※「PAL(PAL M等を含む)」は日本国外で使用する場合の設定です。
※本機は日本国内でのみ使用可能です。

自動電源オフとスクリーンセーバーについて

本機は、工場出荷時の初期設定により、停止状態が約30分間続くと、自動的に電源が切れます(自動電源オフ)。この機能を使用しない、または電源オフまでの時間を変更するにはP.34をご参照ください。また、5分以上何もしない状態が続くと、スクリーンセーバーモードに入ります。この機能を使用しない、またはスクリーンセーバーモードに入るまでの時間を変更するにはP.33をご参照ください。

結露について

寒いところから急に暖かいところに移動させると、レンズに水滴がついたり、くもったりする結露現象が起こります。この状態でご使用になると、正しく動作しないことがあります。このようなときはディスクを取り出して、数分間放置してください。結露が取り除かれて正常に動作するようになります。

静電気・外部電波の影響

本機を構成する精密部品が、静電気や外部電波の影響で正常に動作しなくなることがあります。そのようなときには、電源を完全に切り、しばらくしてから再投入してください。

ディスク規格と禁止マークについて

本取扱説明書はBD、DVD、CDの基本的な説明をしています。これらのディスクは規格によって生産、販売されており、使い方を間違えると操作に反応しないことがあります。使い方を間違えないよう本書をよく読んでいただくことが重要です。再生中、操作ボタンを押すと、⊘のマークが表示されることがあります。そのようなとき、その操作は本機またはディスクの規格によって無効を意味しています。

音量について

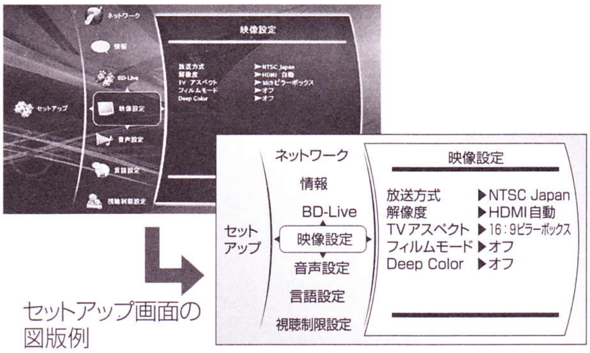
音量調整は接続機器の方を主に調整してください。本機の音量レベル(4レベル単位で0～100まで)を上げ過ぎると、過大入力により音声信号が歪むことがあります。そのようなときは、音量レベルを下げてください。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律で禁止されています。法律を守ってお楽しみください。

本書で使用している図版について

本取扱説明書内の本機画面のイラスト(マークや文字、それらの表示位置、内容など)が、再生するディスクによって異なる場合があります。また、画面表示の説明で使用している図版は、分かりやすくするため、一部簡略化しており、実際のものとは異っております。あらかじめご了承ください。



セットアップ画面の図版例

その他の補足事項

- 本書では、特に記載のない限り、ブルーレイディスクをBD、DVDディスクのことをDVD、CDディスクのことをCD、ディスクメディア全般のことをディスクと呼びます。
- BDやDVDではチャプターとチャプターの間、CDでは曲と曲の間に、映像や音が途切れる場合がありますが、故障ではありません。
- キズ、汚れ、ディスク作成時の状態などによって、ディスクが正しく読み込めない場合があります。その場合はディスクの読み込みは自動的に停止されます。

ブルーレイ(BD)は新しい技術です。今後、規格・仕様の変更や新しい技術の追加などにより、本機では対応できない機能が出てくることがあります。

本機で再生可能なディスク・USBフラッシュメモリーについて

再生可能なディスク

本機では、以下のマークが付いたディスクが再生可能です。マークはディスクレーベル、パッケージまたはジャケット等に記載されています。ただし、下記のマークが付いたディスクでも再生できない場合があります。また、再生できても画質・音質の保証はできかねますのでご了承ください。

ディスクタイプおよびディスクマーク		記録内容	ディスクサイズ	備　考
BD Blu-ray Disc	BD-ROM BD-R BD-RE	動画＋音声 （主に映画）	12cm	●映画などを収録したBDビデオの場合は、リージョンコード「A」または「All Region（オールリージョン）」のディスク。
DVD DVD VIDEO　DVD RW　DVD R RW DVD+ReWritable　RW DVD+R	DVD-Video DVD-R （CPRM含む） DVD-RW DVD+R DVD+RW	動画＋音声 （主に映画） 画像	12cm 8cm	●映画などを収録したDVDビデオの場合は、リージョンコード「ALL」と「2」（または「2」を含むもの）が表示されたディスク。 ●お客様が作成したDVDディスクは再生できない場合があります。 ●DVDディスク（DVD-RW、DVD-Rなど）はVRモードでファイナライズされたディスクに限り再生可能です。
CD　AUDIO CD　ミュージックCD MP3 CD　JPEG CD COMPACT disc DIGITAL AUDIO　COMPACT disc Recordable　COMPACT disc ReWritable	音楽CD データCD	音声（音楽） 画像	12cm 8cm （シングルCD）	●ファイナライズされていないディスクは再生できません。 ●MP3形式の音楽ファイルを再生できます。 ●WMAファイルは、「.wma」拡張子が付いているものに限ります。

※BD-RE Ver.1.0のディスク（カートリッジに収納された初期型のディスク）の再生には対応しておりません。
※レコーダーを使って録画したDVDで、ファイナライズされていないディスクには対応しておりません。
※コピーコントロールCDや、DVDとCDを組み合わせたDual Discなど特殊なディスクの再生は保証しておりません。
※記録された環境や記録状態、メディアの製造メーカーなどによっては再生できない場合があります。

再生可能なUSBフラッシュメモリー

本機ではUSB2.0までのUSBフラッシュメモリー（最大容量32GB）に収録された音声や映像、静止画を再生できます（フォーマット：FAT、FAT16、FAT32対応）。ただし、1つのデータは最大4GBまで。

ファイル形式等についての制限事項

【映像ファイルについて】

- ●最大解像度：1920（横）×1080（高さ）ピクセル
- ●ファイル拡張子：ビデオエンコード（MPEG-2、MPEG-4 AVC/H.264、AVCHD、VC-1）で作成した.wmv、.avi、.mp4、.mpeg、.mkv、.vob
- ●再生可能音声フォーマット：Dolby Digital、DTS、WMA、AAC、AC-3
- ●サンプリング周波数：32～48kHz（WMA）
- ●ビットレート：20～320kbps（WMA）
- ●BD-R/RE、DVD-R/RW、CD-R/RWディスクフォーマット：ISO9660+JOLIET、UDF、UDFBridge
- ●最大ファイル数／フォルダー数：2000以下（ファイル名・サブタイトルの文字数は180文字まで　※1バイト文字換算）
- ●WMAおよびAACオーディオフォーマットは再生できない場合があります。
- ●USB1.1/1.0のUSBフラッシュメモリーに記録されたHD WMA動画ファイルは正常に再生されない場合があります。BD、DVD、またはUSB2.0のUSBフラッシュメモリーでのご利用をおすすめします。
- ●GMC（Global Motion Compensation）やQpel（Quarter pixel）で記録されたファイルの再生は保証しておりません。

【WMAオーディオファイルについて】

- ●ファイル拡張子：.wma
- ●サンプリング周波数：8～48kHz（WMA）
- ●ビットレート：8～320kbps（WMA）
- ●BD-R/RE、DVD-R/RW、CD-R/RWディスクフォーマット：ISO9660+JOLIET、UDF、UDFBridge
- ●最大ファイル数／フォルダー数：ファイル数+フォルダー数の合計が2000以下
- ●WMAおよびAACオーディオフォーマットは再生できない場合があります。
- ●ファイルの大きさや数によって読み込まれるまでに時間がかかる場合があります。

【静止画像ファイルについて】

- ●ファイル拡張子：.jpg、.jpeg、.png
- ●推奨サイズ：4000×3000×24ビット／ピクセル以下、または3000×3000×32ビット／ピクセル以下
- ●BD-R/RE、DVD-R/RW、CD-R/RWディスクフォーマット：ISO9660+JOLIET、UDF、UDFBridge
- ●最大ファイル数／フォルダー数：ファイル数+フォルダー数の合計が2000以下
- ●プログレッシブ、ロスレス圧縮した画像ファイルはサポートしておりません。
- ●ファイルの大きさや数によって読み込まれるまでに時間がかかる場合があります。

再生できないディスク

下記のディスクは再生できません。

- ●リージョンコードが「A」または「All Region(オールリージョン)」以外のBD
- ●リージョンコードに「2」または「ALL」を含まないDVD
- ●CD-ROM
- ●Video-CD
- ●DVD-RAM
- ●DVD-Audio
- ●PD
- ●HD DVD
- ●CD-I
- ●CD-G(CDグラフィクス)
- ●CVD
- ●HD Rec規格で記録されたDVD
- ●SACD(ハイブリッドディスクで通常のオーディオCD層に記録された音は再生することができます。スーパーオーディオCD層に記録された音は再生することができません)
- ●ハート形など特殊な形状のディスク

※8cmアダプター(音楽用CD用)は使わないでください。故障の原因となります。

※記録領域が少ないディスク(直径55mm以下)は再生できない場合があります。

※ファイナライズ済みのCD-R、CD-RWディスクの再生は可能ですが、書き込みスピード、書き込みソフト、メディアの質などにより読み込めないことがあります。必ずCD-DA規格のMP3、JPEGいずれかのフォーマットで書き込んでください。

※ファイナライズ済みのDVD-R／DVD+R／DVD-RW／DVD+RWディスクの再生は、一般的な範囲で使用可能です。書き込みソフト、編集方法、メディアの質などにより、さらに再生の確率が低下することがあります。必ずDVD VIDEO規格で書き込みファイナライズ処理を行ってください。

※DTS(Digital Theater Systems)でのみ録音されているディスクは再生できません。

本機は3D映像の再生には対応しておりません。

ディスクの構成について

BD DVD

BDやDVDのディスクは「タイトル」と「チャプター」に区切り構成されています。

・「タイトル」とは、例えば複数の映画が入っているDVDビデオディスクで各映画ごとを指します。

・「チャプター」とは、タイトルをさらに細かく分けたものです。

(例) タイトル1				タイトル2	
チャプター1	チャプター2	チャプター3	チャプター4	チャプター1	チャプター2

BDのBD-LIVE機能について

BD-LIVE機能に対応したBDの場合は、USBフラッシュメモリーと併用することで、インターネットを経由してダウンロードした特典映像を見たり、ゲームやチャットを楽しむことができます(操作できる機能はディスクによって異なります)。詳細はP.54を参照してください。

CPRM対応のDVD-R、DVD-RWを再生することができます。

CPRMとは、コピー制限のあるテレビ番組を記録するときに使われている著作権保護技術のことです。

デジタル放送は著作権保護のためにコピー制限があります(例：「ダビング10」=録画した番組を、他のデジタル機器に9回までコピー(ダビング)することが可能で、10回目はムーブ※(移動)のみ可能な方式。ただし、すべての番組がダビング10で放送されているわけではありません)。

DVDに番組を記録する場合は、CPRMに対応しているDVDレコーダー(HDD搭載モデルを含む)とCPRMに対応したDVDメディアを使うことで初めてコピー制限のある放送をDVDメディアに録画することができるようになります。

また、再生機器もCPRMに対応している必要があり、CPRM対応DVDメディアに記録した映像を他のDVDプレーヤーで再生する場合は、CPRM対応製品である必要があります。本機はCPRM対応製品です。

※他のデジタル機器やメディアにコピーすると、元映像が消去され、画像が移動したかのように見えるので、これを「ムーブ」と呼んでいます。

コピー制限の著作権保護がかけられたデジタル放送は、VRモードでしかメディアに記録できません。

ビデオモード、VRモードとは?

ビデオモード、VRモードとは、ともにDVDの記録方式のことで、次の違いがあります。

ビデオモード	市販の映画ソフトなどの「DVDビデオ」に似た記録方式で、いろいろなDVD機器で再生することを目的としたモードです(互換性=高)。
VRモード	ビデオレコーディングモードの略で主にディスク内で編集するためのモードです。

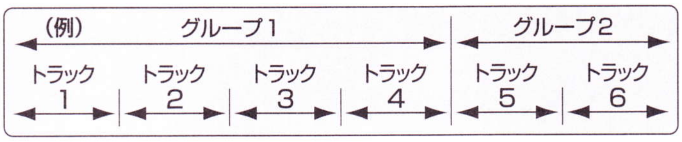
DVDにおいてはCPRMへの対応はVRモードしか認められていないため、結果的にCPRMに対応しているDVDメディアは必ずVRモードにも対応していることになります。

音楽用CD

音楽用CDは、「トラック」で区切られて構成されています。
・「トラック(ファイル)」とは、例えば複数の音楽が入っているCDで各曲ごとを指します。

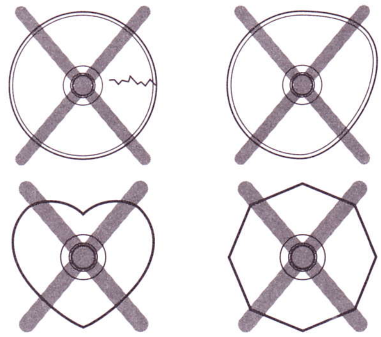
●現在発売されている「コピーコントロールCD」と呼ばれる著作権保護技術付音楽ディスクは、コンパクトディスク(CD)規格に準拠しない特殊ディスクであり、本製品における再生にあたっては、動作や音質の保証はいたしかねます。
音楽ディスクパッケージの表示をよくお読みください。なお、「コピーコントロールCD」の詳細については、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

CD-R/CD-RW (JPEG)



JPEGファイル形式のデータは「グループ(フォルダー)」と「トラック(ファイル)」に区切られて構成されています。
・「トラック(ファイル)」とは、例えば複数の写真を収めたCD内の、一枚一枚の写真を指します。
・「グループ(フォルダー)」とは、いくつかのトラック(ファイル)をまとめたものを指します。

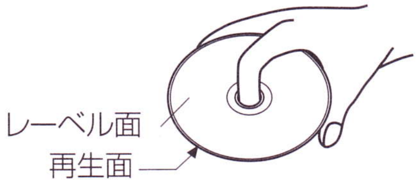
ディクス使用上での注意点



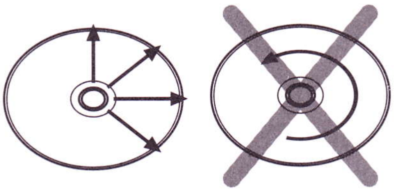
ひびやそりのあるディスクや特殊形状のディスクは絶対に使わないでください。

ひびや割れや変形したディスク、テープや接着剤で補修したディスク、特殊形状のディスクなどは絶対に使用しないでください。機器の故障の原因となります。

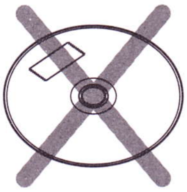
●再生面に触れないように持ってください。



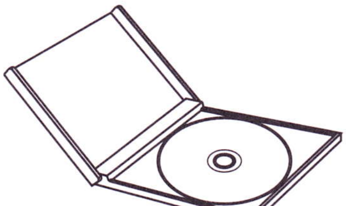
●ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽く拭き取ってください。



●再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

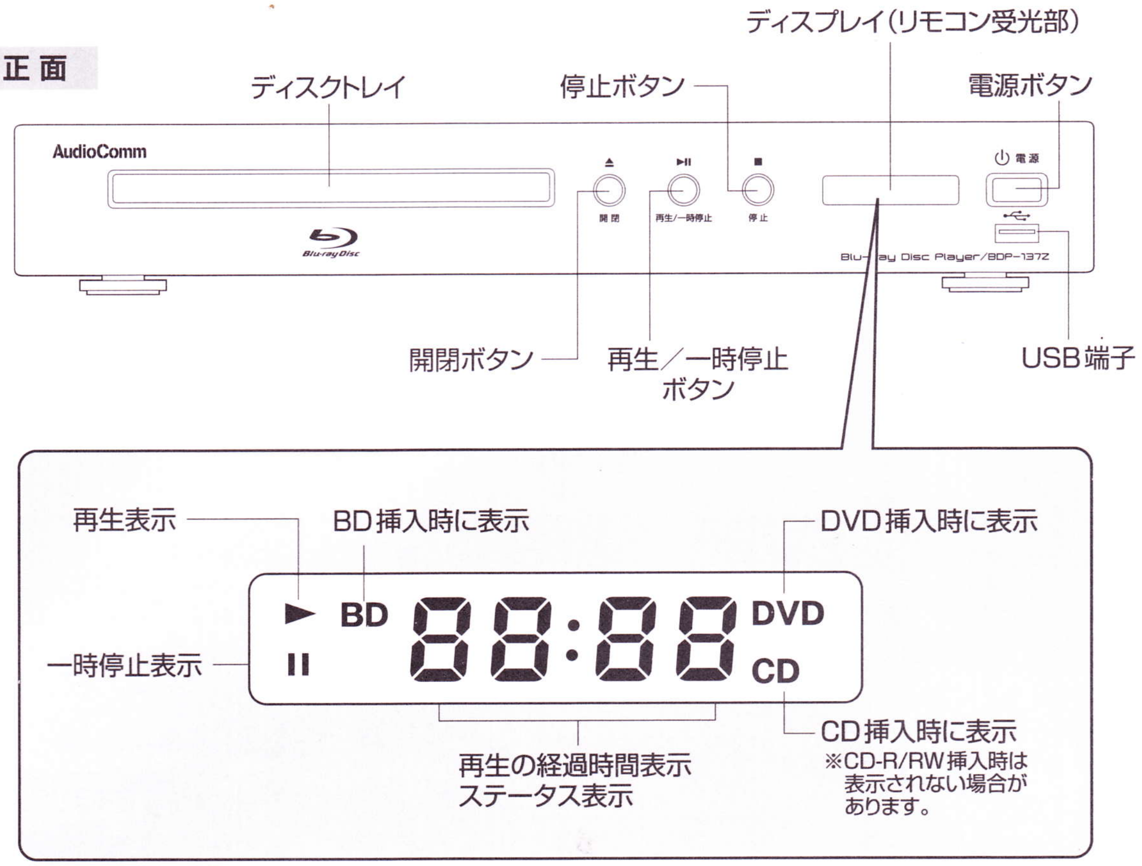


●長い時間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。



各部の名称（本機）

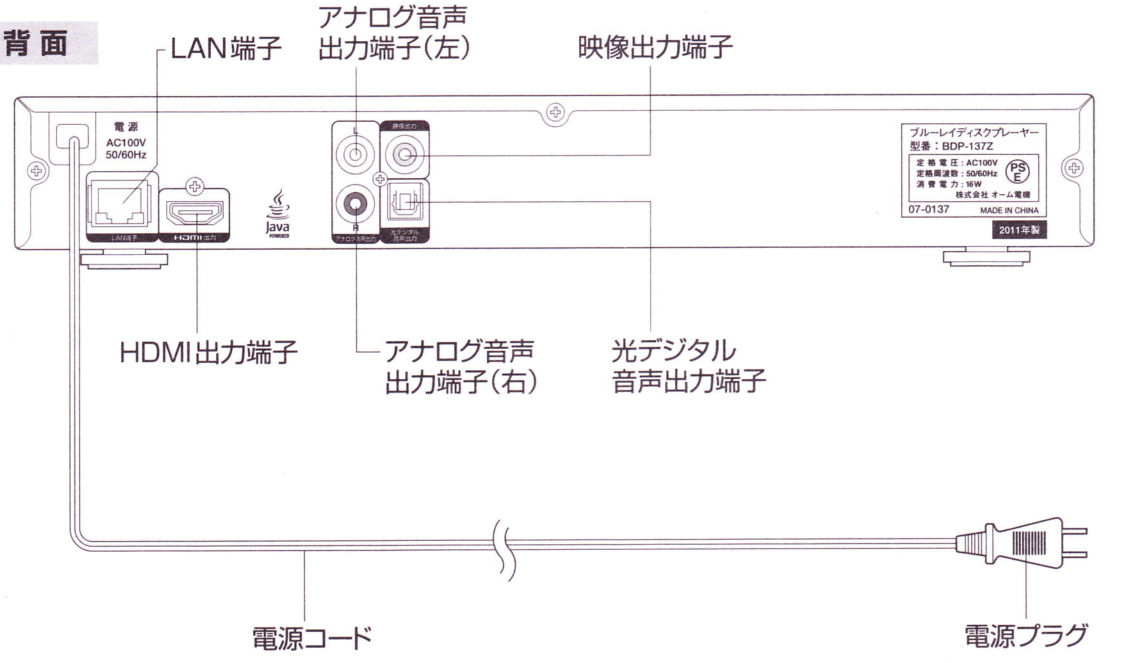
正 面



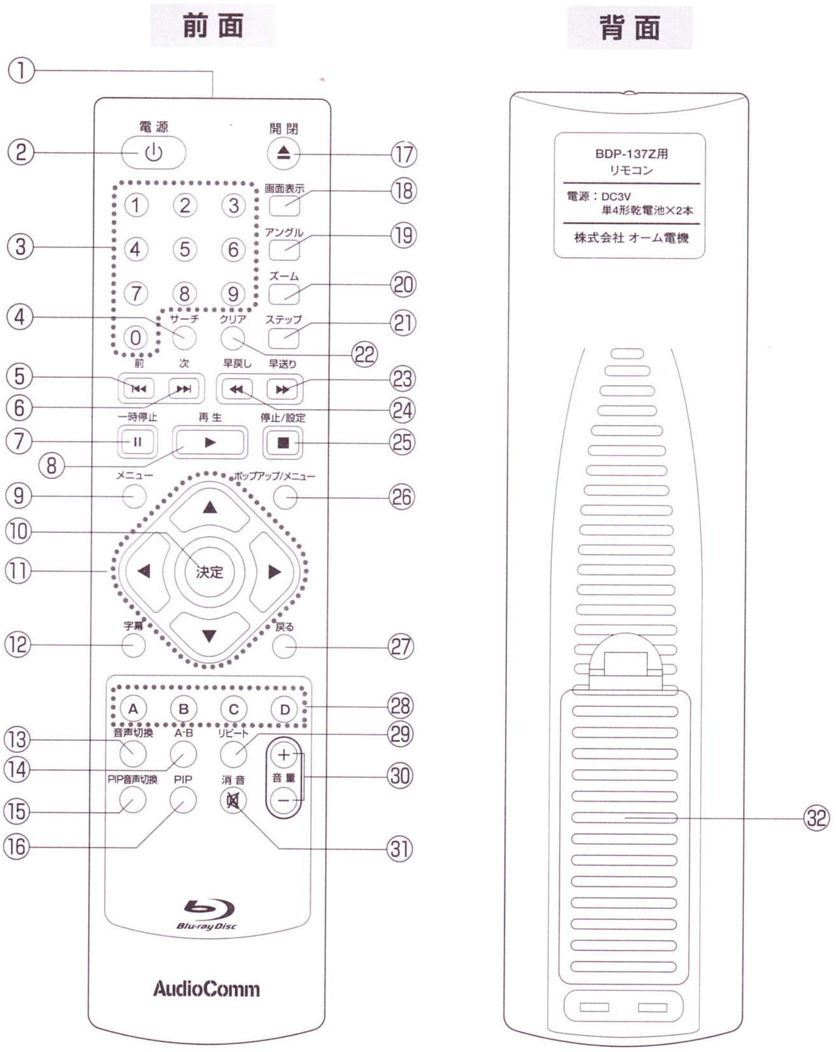
ご注意

再生時の経過時間表示は「59:59」まで表示され、1時間を超えると「00:00」に戻ってカウントされます（1時間を超える「時」は表示されません）。

背 面



各部の名称(リモコン)



①信号送信部
この部分を本機のリモコン受光部に向けて操作してください。

②電源ボタン
電源の入／切を行います。

③数字ボタン
数字を入力するときに使います。

④サーチボタン
観たい場面を指定して再生します。

⑤スキップボタン(⏮)
再生中または一時停止中に押すとそのチャプター(トラック)の最初に戻って再生します。その後、2秒以内にもう一度押すと、一つ前のチャプター(トラック)に戻って再生を始めます。

⑥スキップボタン(⏭)
再生中または一時停止中に押すと、次のチャプター(トラック)にジャンプして再生を始めます。

⑦一時停止ボタン
再生を一時停止します。一時停止を解除するには再生ボタンを押します。

⑧再生ボタン
再生をします。

⑨メニューボタン
タイトルメニューを表示します
(対応ディスクのみ)。

⑩決定ボタン
選択を確定させるときに押します。

⑪カーソルボタン(▲▼▶◀)
画面に表示されている項目を選択する場合など、カーソルを移動させるときに使います。

⑫字幕ボタン
字幕を切り換えます(対応ディスクのみ)。

⑬音声ボタン
お好みの音声言語を選択します(対応ディスクのみ)。

⑭A-Bボタン
任意の2点間の映像や音楽を繰り返し再生します(対応ディスクのみ)。

⑮PIP音声ボタン
PIP(ピクチャーインピクチャー)オン時に音声を切り換えます(対応ディスクのみ)。

⑯PIPボタン
PIP(ピクチャーインピクチャー)をオン／オフします(対応ディスクのみ)。

⑰開閉ボタン
ディスクトレイを開閉します。

⑱画面表示ボタン
再生しているタイトルやチャプターの情報を表示します。表示内容はディスクにより異なります。

⑲アングルボタン
アングルを切り換えます
(対応ディスクのみ)。

⑳ズームボタン
映像や画像の拡大表示を切り換えます
(対応ディスクのみ)。

㉑ステップボタン
押すたびに映像をコマ送りします。

㉒クリアボタン
数字ボタンで入力した数字を消去します。

㉓早送りボタン
早送りをします。押すたびに送るスピードが2倍から128倍まで変化します。

㉔早戻しボタン
早戻しをします。押すたびに戻すスピードが2倍から128倍まで変化します。

㉕停止／設定ボタン
再生を停止し、設定画面を表示します(表示される画面は選択中のメディアやファイルタイプによって異なります)。

㉖ポップアップ／メニューボタン
タイトルメニューを表示します
(対応ディスクのみ)。

㉗戻るボタン
再生中に押すと、タイトルメニューを表示します。もう一度押すと、押す前の場面から再生します(対応ディスクのみ)。
セットアップメニュー操作時は、ひとつ前の画面に戻ります。

㉘カラーボタン
各ボタンの機能や使用方法は、ディスクにより異なります。ディスク付属の取扱説明書等をご覧ください(対応ディスクのみ)。

㉙リピートボタン
リピートモードを切り換えます
(対応ディスクのみ)。

㉚音量ボタン
出力される音量を調節します。

㉛消音ボタン
一時的に音声を消します。もう一度押すと元に戻ります。

㉜電池カバー

リモコンの使い方

リモコンに乾電池を入れる

1. リモコン背面の電池カバーを外します(カバー上部のツメを押して外しながら手前に引き上げると、カバーを取り外せます：図１)。
2. 付属の単４形乾電池を極性(⊕⊖)に注意しながら図２のように２本続けて入れます。
3. 電池カバーを元通りにしっかりと閉めます。

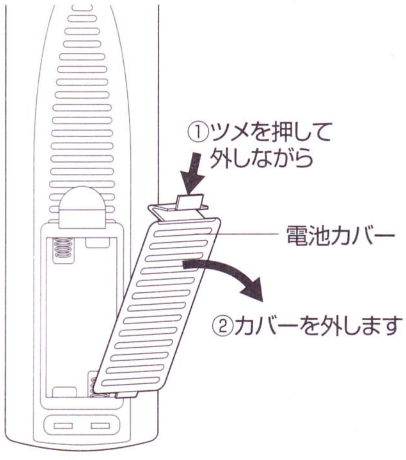


図１

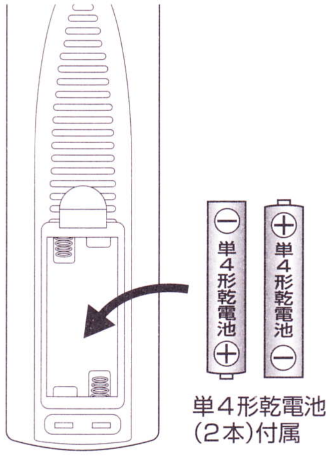
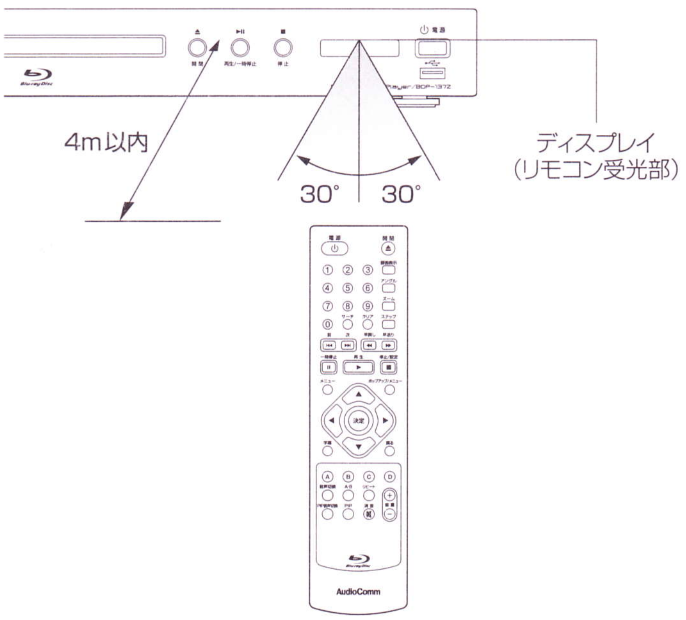


図２

リモコンによる操作

・リモコンの信号送信部を本機のディスプレイ(リモコン受光部)に向けて操作してください。
・使用範囲は、本機のリモコン受光部から上下左右30度以内、4m以内です。障害物があるとリモコンによる操作ができなくなったり、使用範囲がさらに狭くなることがあります。
・直射日光が当たる場所での使用は避けてください。誤作動したり、操作できなくなることがあります。



ご注意

リモコンは暖房器具付近、ダッシュボードの上、座席の上、ヒーターの噴出し口付近など高温になる場所や、直射日光の当たる場所に置かないでください。変形、動作不良、故障の原因になります。
※他社製品を動作／作用させる可能性がありますのでご注意ください。

乾電池についての安全上のご注意

使い方を誤ると、液漏れ、発熱、発火、破裂などにより、やけどや大けが、失明の原因になります。

⚠ 警告

●**乾電池が液漏れしたとき**
万一液が漏れたら、液をよく拭き取る。液が皮膚や衣服に付着した場合は、多量の水で洗い流してください。
液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師に相談してください。
●機器の表示に合わせて⊕と⊖を正しく入れてください。
●充電しないでください。
●火の中に入れないでください。
●ショートさせたり、分解、加熱しないでください。
●火のそばや直接日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
●水などで濡らさないでください。風呂場などの湿気の多いところで使わないでください。

⚠ 注意

●使いきった電池は取り外してください。また長時間使用しないときは取り外してください。
●新しい電池と古い電池、種類の異なる電池を混ぜて使わないでください。
●電池を携帯、保管するときは、金属製のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアピンなどと一緒にしないでください。ショートしたり、液漏れして損傷する原因となります。

使用済み乾電池を廃棄するとき

使用済みの乾電池は、各自治体の条例に従って廃棄してください。

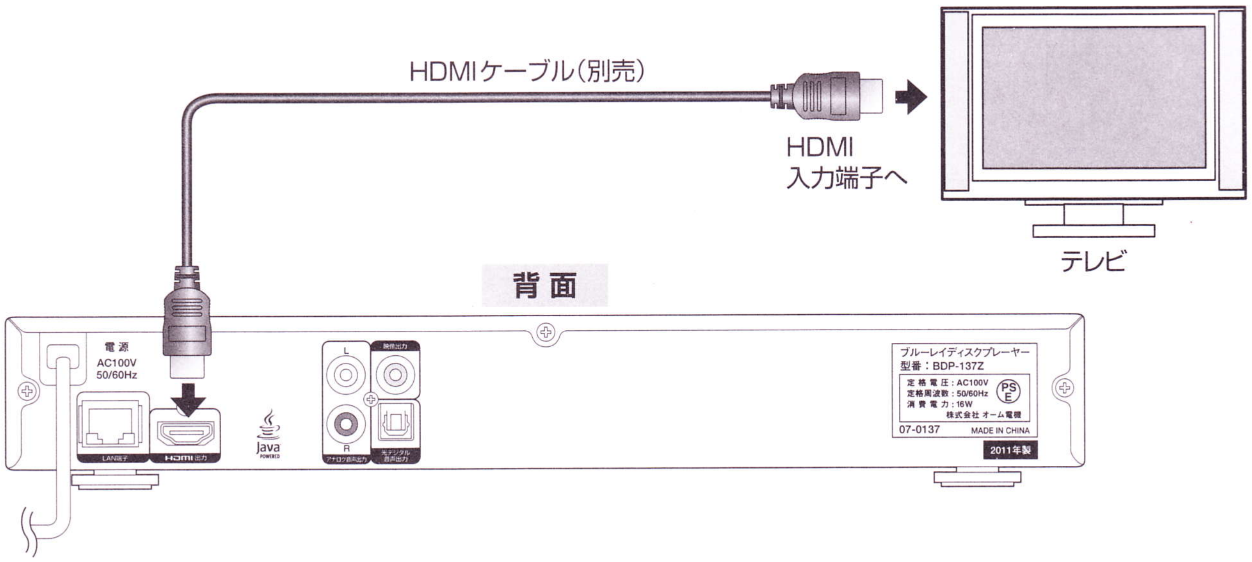
テレビ／オーディオ機器との接続方法

ご注意

- 接続するときは、必ずそれぞれの機器の電源を切って行ってください。
- 使用するときは、必ず外部機器の電源を先に入れてください。
- 接続する外部機器の取扱説明書もよくお読みになり、正しく接続してください。
- HDMIケーブルで接続し、解析度(P. 18)を高く設定した場合でも、テレビやディスクの規格等により、設定通りの再生ができないことがあります。

HDMIケーブル(別売)で接続する場合

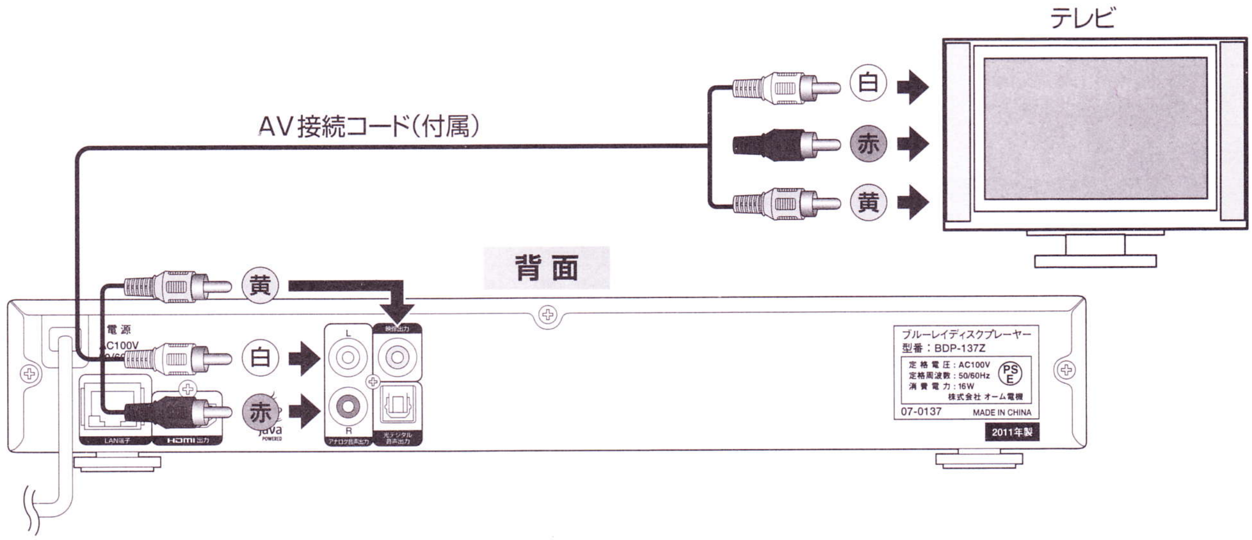
HDMIケーブルを使うと、1本の配線で、映像と音声双方とも劣化のないデジタル信号を伝達できます。本機での再生には、この接続方法を推奨します。HDMIケーブル(別売)を使って、本機背面のHDMI出力端子とテレビ側のHDMI入力端子を接続します。



AV接続コード(付属)で接続する場合

付属のAV接続コードを使って、赤色(右)・白色(左)・黄色(映像)のプラグを、本機背面の端子(アナログ音声出力端子・左右　映像出力端子)とテレビ側のビデオ入力端子(音声左・音声右・映像)に、それぞれ接続します。
AV接続コードで接続した場合、映像出力は480iのみとなります。

- 赤色のプラグは、本機、テレビ双方の音声右用端子(赤色の端子)に接続します。
- 白色のプラグは、本機、テレビ双方の音声左用端子(白色の端子)に接続します。
- 黄色のプラグは本機、テレビ双方の映像用端子(黄色の端子)に接続します。



映像をテレビ（モニター）で映し、音声をアナログオーディオ機器で聴く場合

【音声に関する接続】

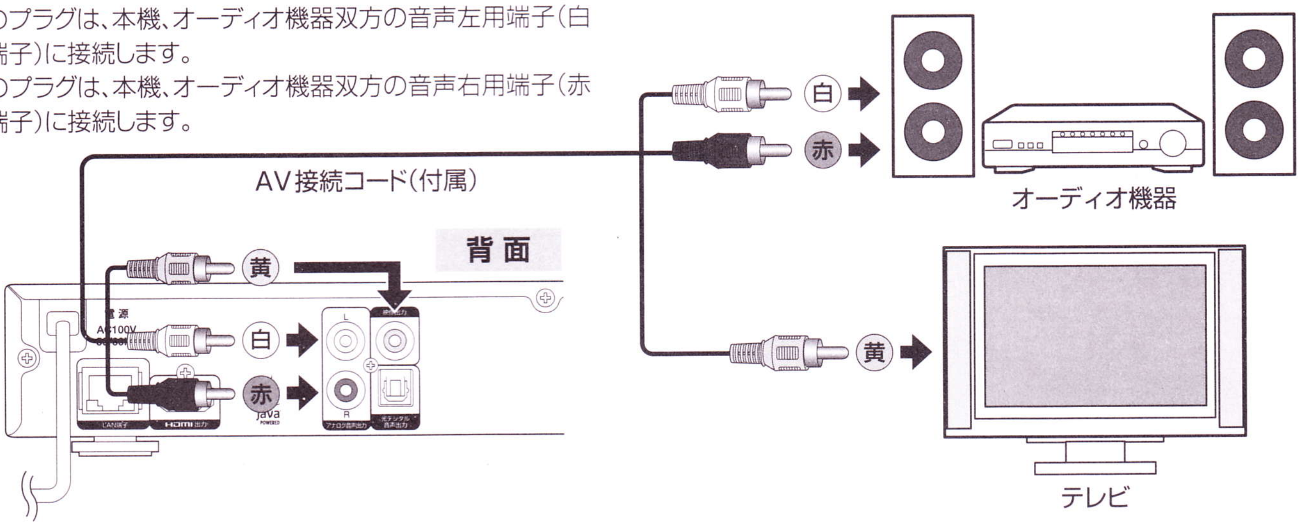
2チャンネルのオーディオ機器で聴く場合

AV接続コードを使って、赤色（右）と白色（左）のプラグを、本機のアナログ音声出力端子とオーディオ機器の音声入力端子にそれぞれ接続します。

- 白色のプラグは、本機、オーディオ機器双方の音声左用端子（白色の端子）に接続します。
- 赤色のプラグは、本機、オーディオ機器双方の音声右用端子（赤色の端子）に接続します。

【映像に関する接続】

AV接続コード（黄色のプラグ）を使って、本機の映像出力端子（黄色）とテレビまたはモニターの映像入力端子（黄色）にそれぞれ接続します。



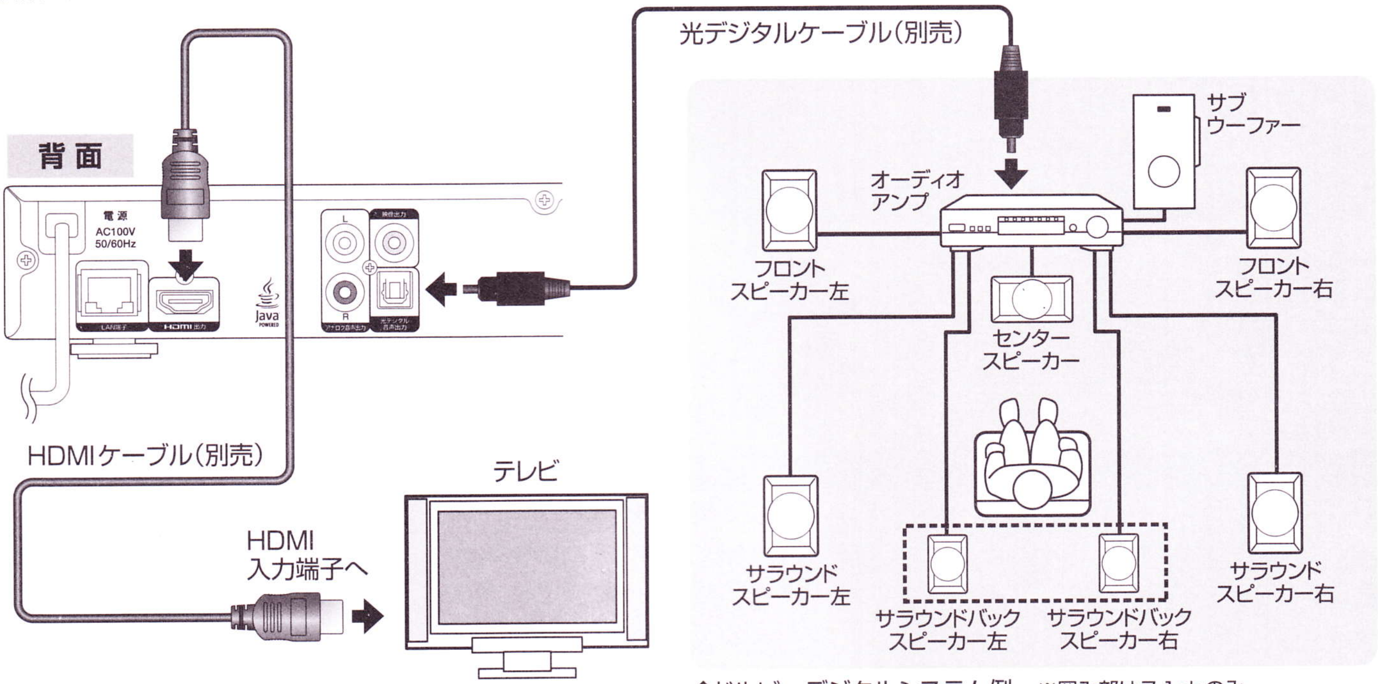
映像をテレビ（モニター）で映し、音声をドルビーデジタルシステム（5.1ch/7.1ch）対応機器で聴く場合

【音声に関する接続】

光デジタルケーブル（別売）を、本機の光デジタル音声出力端子と、ドルビーデジタルシステム（5.1chまたは7.1ch）対応オーディオ機器の光デジタル音声入力端子に接続します。

【映像に関する接続】

HDMIケーブル（別売）を使って、本機背面のHDMI出力端子とテレビ側のHDMI入力端子を接続します。



◆ドルビーデジタルシステム例　※囲み部は7.1chのみ。

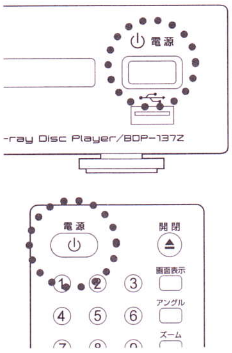
ヒント

5.1chとは、視聴者を囲むように設置された6つのスピーカーによって、音を再生する音響システム構成のことです。音の立体感が増し、臨場感にあふれた音響効果を楽しむことができます。前方正面、前方左右、後方左右のスピーカー、そして低音を強化するサブウーファーという6本のスピーカーで構成されます。このサブウーファーは低音のみを再生するため0.1チャンネルとカウントされ、合計で5.1チャンネルとなります。7.1chとは、5.1chのシステムにサラウンドバックスピーカー（左右）を加えた構成により、さらに臨場感に溢れた音響効果を生み出します。

LANケーブルを使ったネットワーク接続および設定については、P.52〜53をご覧ください。

電源のオン・オフについて

本機とテレビ間のケーブルや電源コードの接続を確実に行ってから、以下の操作をしてください。



【電源オン】

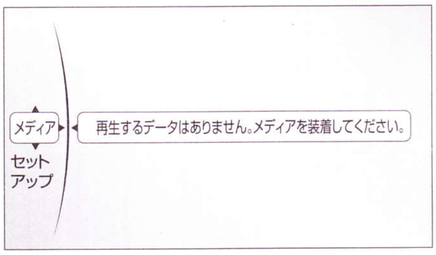
❶ テレビの電源を入れた後、本機の電源ボタンまたはリモコンの電源ボタンを押して電源を入れる

ご注意 電源を入れた後、本機が起動するまでに時間がかかる場合があります。特に電源プラグをコンセントに差し込んだ直後の場合は、約30秒待ってから電源ボタンを押してください。

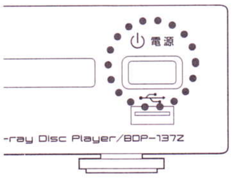
❷ テレビの入力切換を操作して、本機を接続した入力ソースに合わせる。

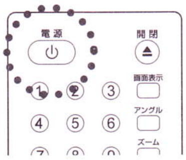
入力ソースの切換方法はテレビに付属している取扱説明書をご参照ください。

❸ テレビに表示されるトップ画面から、目的に応じてメニューを選び操作を続ける



初期画面では左図のように「再生するデータはありません。メディアを装着してください。」と表示されます。
セットアップメニューを操作する場合は、P.16～、BD・DVDを見る場合はP.37～、CDを聴く場合はP.45～、その他のメディア（USBフラッシュメモリーやCD-R/RWなど）を再生する場合はP.49～を参照して、操作してください。





【電源オフ】

各種メディアの再生を終了させ、BDなどのメディアを取り出した後、本機の電源ボタンまたはリモコンの電源ボタンを押して、電源を切ります。

ご注意
- テレビとの接続ケーブルを取り外す時は、必ず双方の電源を切ってから行ってください。
- テレビ側の電源だけをオフにしても、本機の電源は切れません。必ず本機の電源も切ってください。
- テレビをつけたまま本機の電源をオフにすると、テレビによっては画面が暗くなり、テレビも電源が切れたように見えます。引き続きテレビを見ない場合は、必ずテレビ側の電源もオフにしてください。

セットアップメニューの操作

セットアップメニューの概要

本機での映像・音声・画像の再生に関する様々な設定は「セットアップ」で行います。
※ディスクによっては記録されている内容が異なりますので、設定できない項目があります。

設定一覧

映像設定	掲載ページ	概　要	設定可能項目
放送方式	P.17	テレビの放送方式を設定します。	・NTSC・NTSC Japan・PAL・PAL M ・PAL N・PAL Nc
解像度	P.18	映像送出時の解像度を設定します。	・HDMI自動　・1080p　・1080i ・720p　・480p　・480i
TVアスペクト	P.18～19	出力映像のアスペクト比を設定します。	・16:9ワイド　・16:9ピラーボックス ・4:3パンスキャン　・4:3レターボックス
フィルムモード	—	※この項目は選択できません。	
Deep Color	P.20	HDMI出力時の色鮮やかさを設定します。	・オン　・オフ

音声設定	掲載ページ	概　要	設定可能項目
PCMダウンサンプリング	P.21	デジタル音声のサンプリング周波数を設定します。	・オフ　・96kHz　・48kHz
オーディオデジタル出力	P.22	デジタル音声の出力方式を設定します。	・PCMステレオ　・ビットストリームHD ・ビットストリーム　・ビットストリームミックス ・PCM5.1　・PCM7.1
ダイナミックレンジ	P.23	ドルビーデジタル音声のダイナミックレンジを調整します。	・オン　・オフ　・自動
ステレオダウンミックス	P.24	音声のダウンミックス方式を設定します。	・自動　・ステレオ(LoRo)　・サラウンド

言語設定	掲載ページ	概　要	設定可能項目
画面表示言語	P.25	セットアップメニューの表示言語を設定します。	・英語　・日本語
メニュー言語	P.26	ディスク再生時のメニュー言語を設定します。	※掲載ページを参照してください。
音声言語	P.27	ディスク再生時の音声言語を設定します。	※掲載ページを参照してください。
字幕言語	P.28	ディスク再生時の音字幕を設定します。	※掲載ページを参照してください。

視聴制限設定	掲載ページ	概　要	設定可能項目
視聴制限国	P.29	視聴制限国を設定します。	・アメリカ　・カナダ　・日本
視聴制限ロック設定	P.30	年齢制限をするかどうかを設定します。	・オン　・オフ
視聴制限レベル	P.31	制限レベルを設定します。	・1[Kid Safe]　・2[G]　・3[PG] ・4[PG-13]　・5[PG-R]　・6[R] ・7[NC-17]　・8[Adult]
パスワード	P.32	視聴制限のパスワードを変更します。	

システム設定	掲載ページ	概　要	設定可能項目
スクリーンセーバー設定	P.33	スクリーンセーバーの起動時間を設定します。	・オフ・5分・10分・20分・30分
自動電源オフ	P.34	自動的に電源が切れるまでの時間を設定します。	・オフ　・30分　・45分　・60分
設定初期化	P.35	各種設定を工場出荷時の状態に戻します。	
BD-Liveストレージの消去	P.35～36	BD-Live用USBフラッシュメモリーでのデータを消去します。	

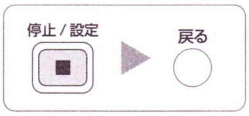
ネットワーク	掲載ページ
インターネットに接続するための設定をします。	P.52～53

情報	掲載ページ
本機のソフトウエアバージョンを表示します。	P.36

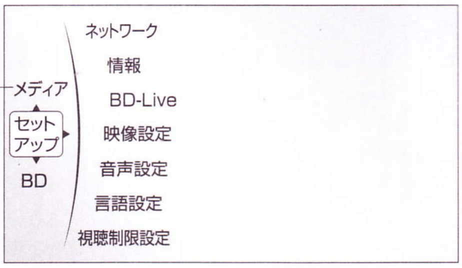
BD-Live	掲載ページ	概　要	設定可能項目
BD-Liveネットワーク接続	P.54	BD-Liveのアクセス制限を設定します。	・アクセス制限・アクセス制限なし・アクセス禁止
BD-Liveストレージ	P.54	BD-Live用USBフラッシュメモリーでのデータを消去します。	

ヒント **映像や音楽、画像を再生中に、セットアップメニューに戻るには…**

各種メディアの再生を中止して、セットアップメニューの設定を行う場合は、停止／設定ボタンを押した後、戻るボタンを数回押してセットアップのトップ画面まで戻ってください。



音楽CD以外のCDやUSBフラッシュメモリーなどは「メディア」として表示されます。

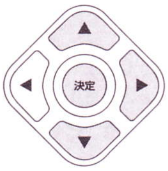


セットアップのトップ画面

放送方式の設定 ※この項目は必要がない限り設定を変更しないでください。

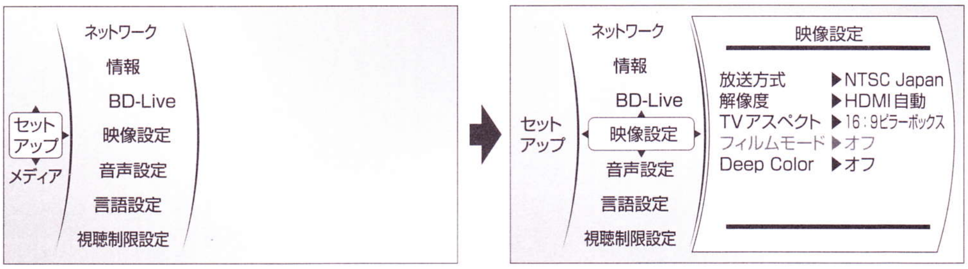
テレビの放送方式を設定します。

ご注意
- 日本のテレビはNTSC方式で、本機では「NTSC Japan」に初期設定されています。必要がない限り変更しないでください。
- 本機は日本国内でのみ使用可能です。
- PAL（PAL M等を含む）は日本国外で使用する場合の設定です。従って通常は、この設定を変更する必要はありません。PAL（PAL M等を含む）に切り換えると画面が上下に流れ続けて、元に戻すことが困難になる場合がありますのでご注意ください。



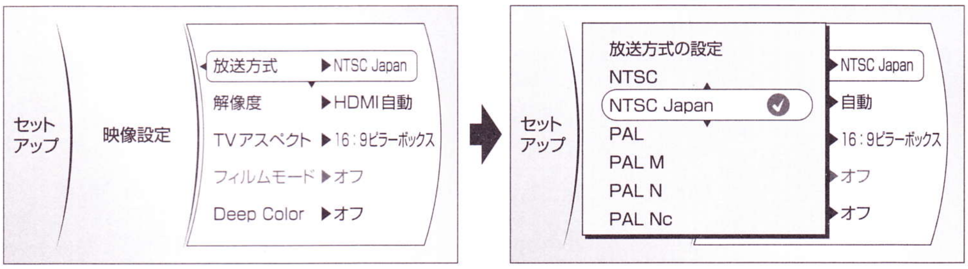
❶ セットアップが選ばれていることを確認して、決定ボタンまたはカーソルボタン（▶）を押す

☞ディスクが挿入されている場合は、カーソルボタン（▲／▼）でセットアップを選んで、決定ボタンまたはカーソルボタン（▶）を押す

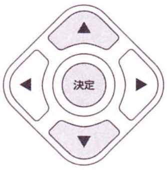


映像設定の内容一覧が表示されます。

❷ 映像設定が選ばれていることを確認して、決定ボタンを2回押す



放送方式の選択画面が表示されます。



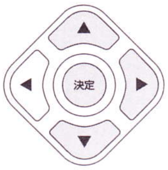
❸ カーソルボタン（▲／▼）で放送タイプを選び、決定ボタンを押す

決定ボタンを押すと、設定が確定し、ひとつ前の画面に戻ります。さらに戻るには、戻るボタンを数回押します。

解像度の設定

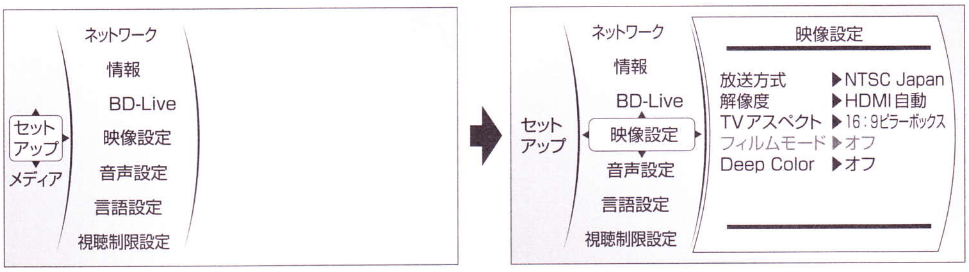
HDMIケーブルを使って接続した際の映像送出解像度を設定します。

ご注意 ●HDMI接続時のみ有効です。数値が大きいほど緻密なデータを送出しますが、テレビやDVDディスクの規格等により、設定通りの再生ができない場合があります。



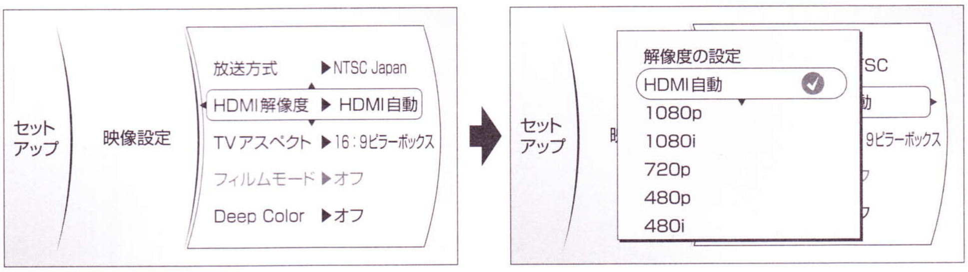
❶ セットアップが選ばれていることを確認して、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す

☞ディスクが挿入されている場合は、カーソルボタン(▲／▼)でセットアップを選んで、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す



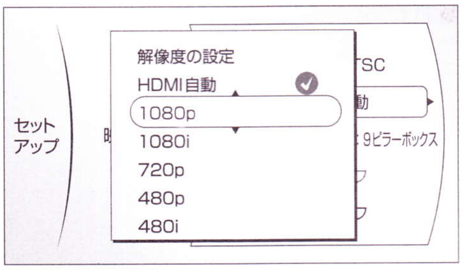
映像設定の内容一覧が表示されます。

❷ 決定ボタンを押した後、カーソルボタン(▼)で解像度を選び、もう一度決定ボタンを押す



解像度の内容一覧が表示されます。

❸ カーソルボタン(▲／▼)でテレビに合わせた解像度を選び、決定ボタンを押す



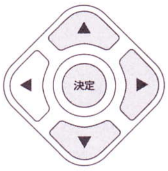
決定ボタンを押すと設定が確定し、ひとつ前の画面に戻ります。さらに戻るには、戻るボタンを数回押します。

HDMI自動	フルHDテレビと接続する際に、テレビに最も適した解像度で映像を送出します。
1080p	HDテレビ(1080p対応)との接続時に選びます。
1080i	1080iのみに対応したHDテレビとの接続時に選びます。
720p	720pのみに対応したHDテレビとの接続時に選びます。
480p	480pに対応した従来型テレビとの接続時に選びます。
480i	480iに対応した従来型テレビとの接続時に選びます。

設定

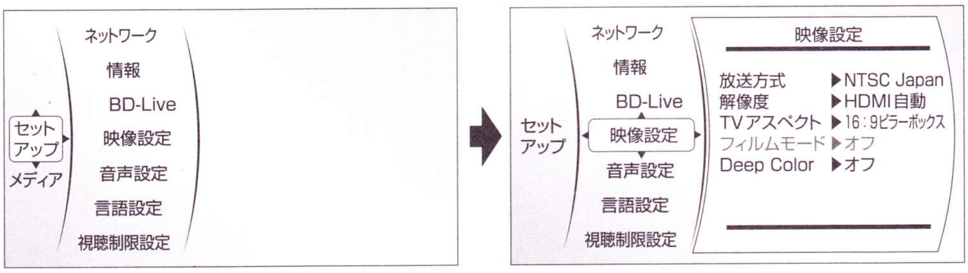
TVアスペクトの設定

出力映像のアスペクト比を設定します。



❶ セットアップが選ばれていることを確認して、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す

☞ディスクが挿入されている場合は、カーソルボタン(▲／▼)でセットアップを選んで、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す



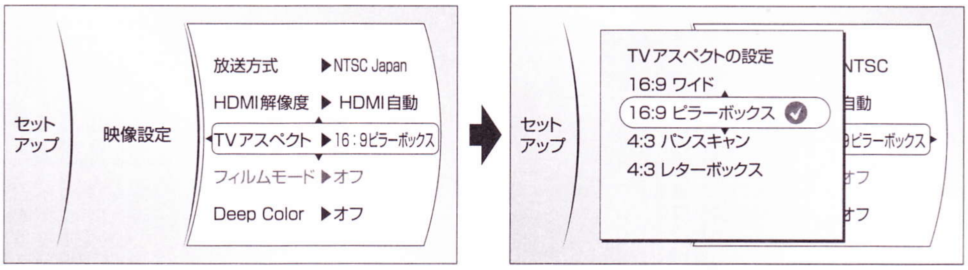
映像設定の内容一覧が表示されます。

次ページへ続く>>

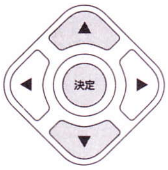
ヒント 途中でセットアップを中止するには、戻るボタンを押し、セットアップのトップ画面まで戻ってください。

TVアスペクトの設定(つづき)

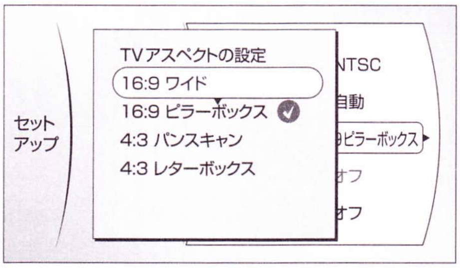
❷ 決定ボタンを押した後、カーソルボタン(▼)でTVアスペクトを選び、もう一度決定ボタンを押す



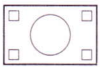
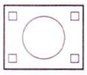
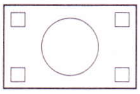
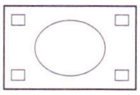
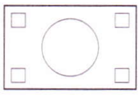
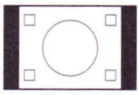
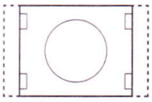
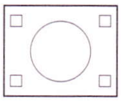
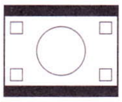
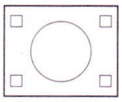
TVアスペクトの内容一覧が表示されます。



❸ カーソルボタン(▲／▼)でテレビに合わせた画面モードを選び、決定ボタンを押す



決定ボタンを押すと設定が確定し、ひとつ前の画面に戻ります。さらに戻るには、戻るボタンを数回押します。

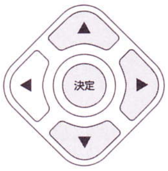
お使いのテレビタイプ	本機の推奨選択モード	16:9の映像を見ると… 	4:3の映像を見ると… 
ワイドテレビを使用	16:9 ワイド	 ○	 上下が圧縮された映像になります。
	16:9 ピラーボックス	 ○	 左右に黒帯が入った映像になります。
従来型テレビ	4:3 パンスキャン	 左右が切り取られた映像になります。	 ○
	4:3 レターボックス	 上下に黒帯が入った映像になります。	 ○

ご注意
- ●ワイドテレビの画面設定は、「フル」(ズーム、ワイドなど、機種により呼称が異なる場合があります)で説明しています。
- ●テレビの画面設定やBD、DVDの記録方式により、実際の見え方が上記と異なる場合があります。映像を見ながら最適なモードを選んでください。
- ●再生方式があらかじめディスク側で設定されている場合、本機で設定したアスペクト比で再生されない場合があります。
- ●テレビに付属する取扱説明書もあわせてご確認ください。

Deep Colorの設定

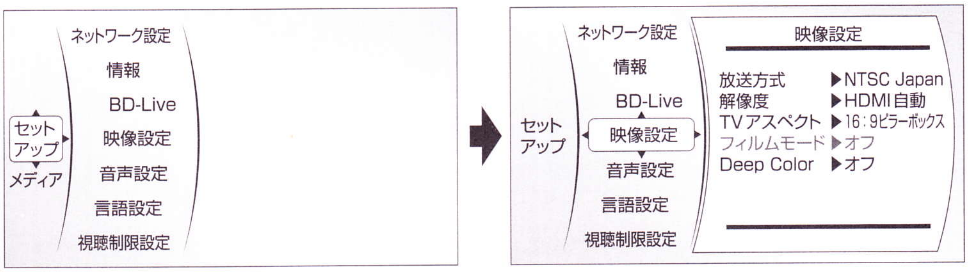
通常のブルーレイディスクはRGB各色8ビット・合計24ビットカラーで記録されていますが、本機では最大36ビットまでのDeep Color出力に対応しています。

ご注意 ●HDMI接続（1.3以上）で、テレビ側が対応している場合に限り有効です。

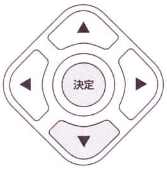


❶ セットアップが選ばれていることを確認して、決定ボタンまたはカーソルボタン（▶）を押す

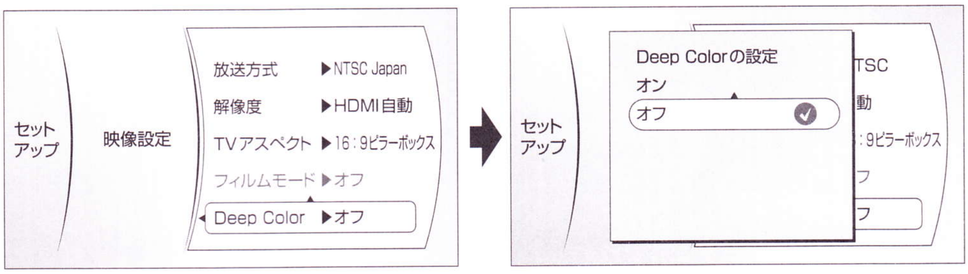
☞ディスクが挿入されている場合は、カーソルボタン（▲／▼）でセットアップを選んで、決定ボタンまたはカーソルボタン（▶）を押す



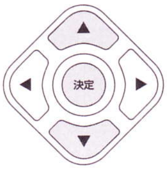
映像設定の内容一覧が表示されます。



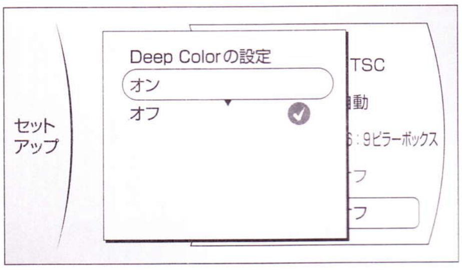
❷ 決定ボタンを押した後、カーソルボタン（▼）でDeep Colorを選び、もう一度決定ボタンを押す



解像度の内容一覧が表示されます。



❸ カーソルボタン（▲／▼）でオン／オフを選び、決定ボタンを押す

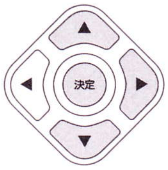


決定ボタンを押すと設定が確定し、ひとつ前の画面に戻ります。さらに戻るには、戻るボタンを数回押します。

ヒント 途中でセットアップを中止するには、戻るボタンを押し、セットアップのトップ画面まで戻ってください。

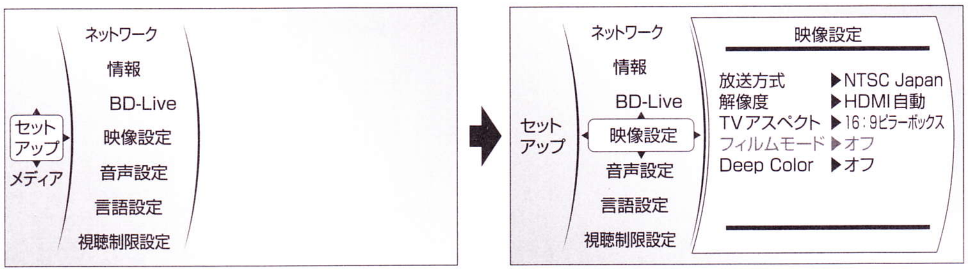
PCMダウンサンプリングの設定

デジタル音声のサンプリング周波数を設定します。AV機器と光デジタルケーブルで接続する場合は、AV機器側でサポートしている最も高いPCMサンプリングレートを選択してください。

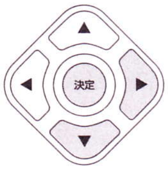


❶ セットアップが選ばれていることを確認して、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す

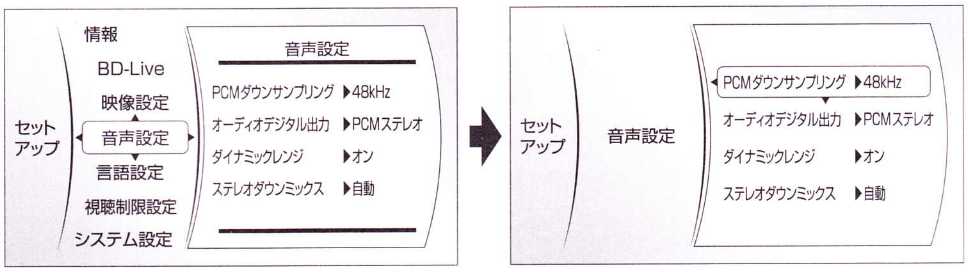
☞ディスクが挿入されている場合は、カーソルボタン(▲／▼)でセットアップを選んで、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す



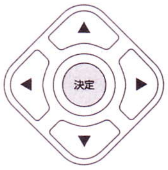
映像設定の内容一覧が表示されます。



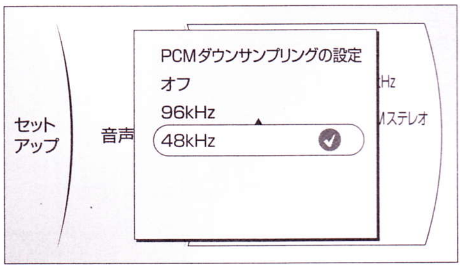
❷ カーソルボタン(▼)を押して音声設定を選び、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す

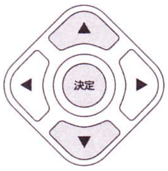


音声設定の内容一覧が表示されます。

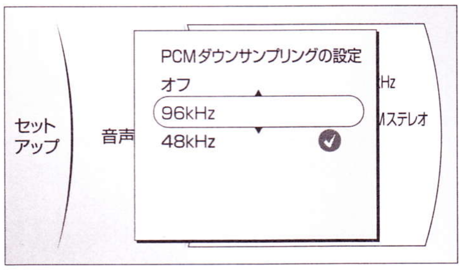


❸ PCMダウンサンプリングが選ばれていることを確認し、決定ボタンを押す





❹ カーソルボタン(▲／▼)でサンプリングレートを選び、決定ボタンを押す



決定ボタンを押すと設定が確定し、ひとつ前の画面に戻ります。さらに戻るには、戻るボタンを数回押します。

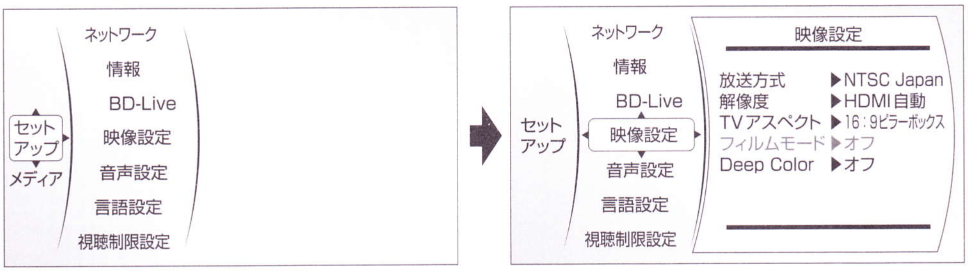
オフ	サンプリングレートを変換しません。
96kHz	96kHzで音声出力します(96kHzに対応しているデジタル機器に接続している場合のみ有効)
48kHz	48kHzで音声出力します。通常はこの設定でご使用ください。

オーディオデジタル出力の設定

デジタル音声の出力方式を設定します。

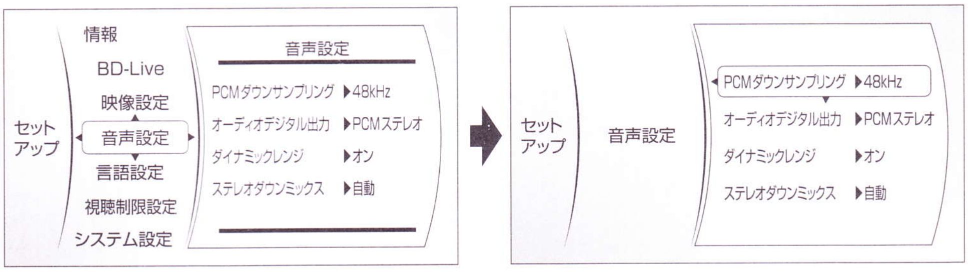
❶ セットアップが選ばれていることを確認して、決定ボタンまたはカーソルボタン（▶）を押す

☞ディスクが挿入されている場合は、カーソルボタン（▲／▼）でセットアップを選んで、決定ボタンまたはカーソルボタン（▶）を押す



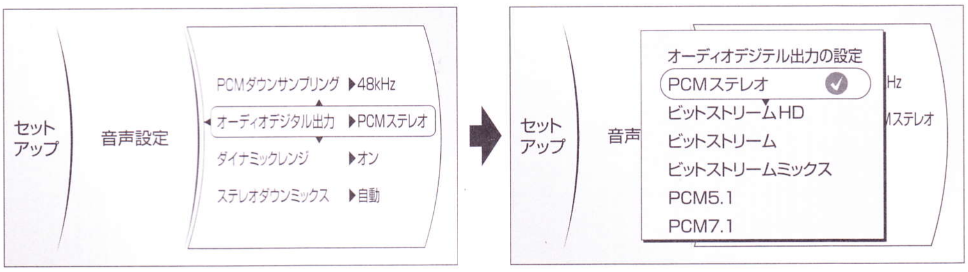
映像設定の内容一覧が表示されます。

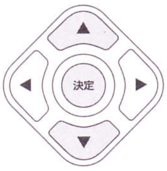
❷ カーソルボタン（▼）を押して音声設定を選び、決定ボタンまたはカーソルボタン（▶）を押す



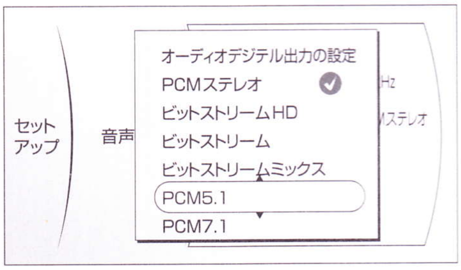
音声設定の内容一覧が表示されます。

❸ カーソルボタン（▼）を押してオーディオデジタル出力を選び、決定ボタンを押す





❹ カーソルボタン（▲／▼）で出力方式を選び、決定ボタンを押す



決定ボタンを押すと設定が確定し、ひとつ前の画面に戻ります。さらに戻るには、戻るボタンを数回押します。

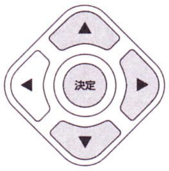
PCMステレオ	2チャンネルのステレオ機器に接続している時に選びます（HDMI接続）。
ビットストリームHD	ドルビー TrueHDまたはDTS-MAに対応した機器に接続している時に選びます（HDMI接続）。
ビットストリーム	DTSまたはドルビーデジタル音声をビットストリーム出力します（BDのPIP音声は非対応）。
ビットストリームミックス	DTSオーディオをミックスして出力します（PIP音声にも対応）
PCM5.1	5.1チャンネルのサラウンド音声を出力します（HDMI接続）。
PCM7.1	7.1チャンネルのサラウンド音声を出力します（HDMI接続）。

設定

ヒント 途中でセットアップを中止するには、戻るボタンを押し、セットアップのトップ画面まで戻ってください。

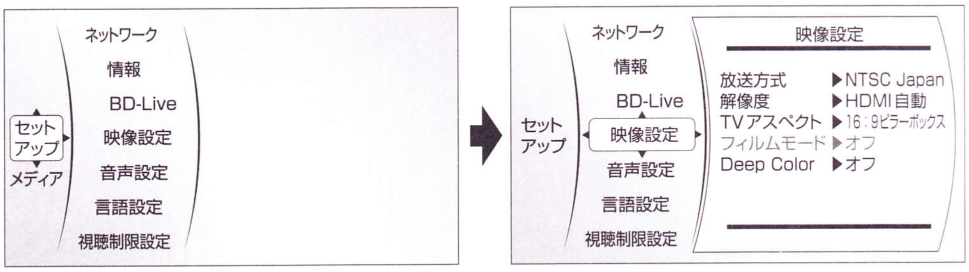
ダイナミックレンジの設定

ダイナミックレンジを調整します(ドルビーデジタル音声のみ有効です)。

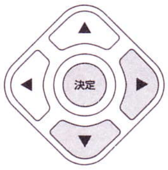


❶ セットアップが選ばれていることを確認して、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す

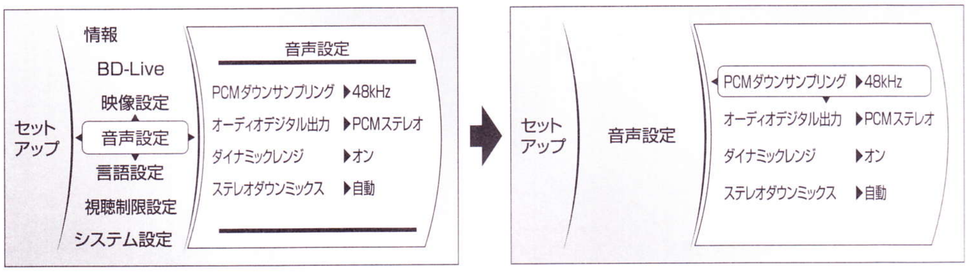
☞ディスクが挿入されている場合は、カーソルボタン(▲/▼)でセットアップを選んで、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す



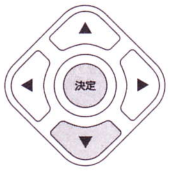
映像設定の内容一覧が表示されます。



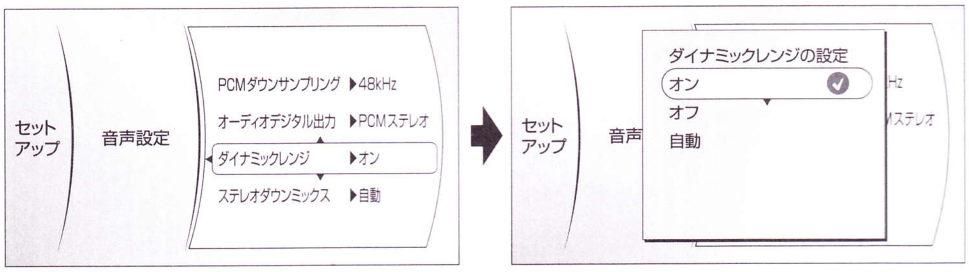
❷ カーソルボタン(▼)を押して音声設定を選び、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す

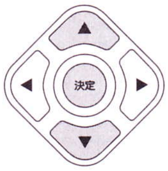


音声設定の内容一覧が表示されます。

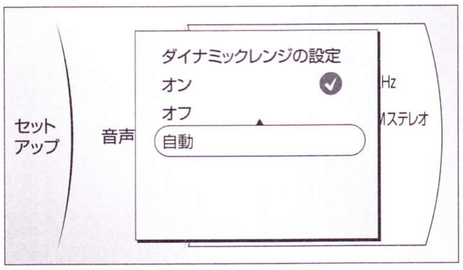


❸ カーソルボタン(▼)を押してダイナミックレンジを選び、決定ボタンを押す





❹ カーソルボタン(▲/▼)で設定項目を選び、決定ボタンを押す

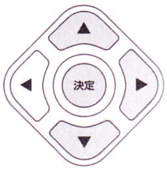


決定ボタンを押すと設定が確定し、ひとつ前の画面に戻ります。さらに戻るには、戻るボタンを数回押します。

オン	大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生します。
オフ	DRC(ダイナミックレンジコントロール)機能をオフにします。
自動	自動でDRCを調整します(BDの再生音声として、ドルビー TrueHDを選んだ場合、ディスクに設定された音声部分のみDRCがオンになります)。

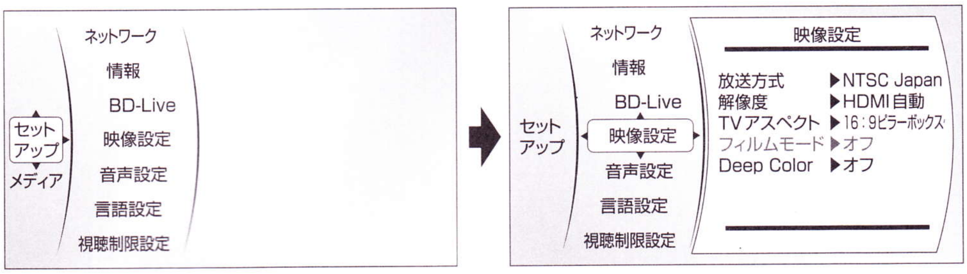
ステレオダウンミックスの設定

マルチチャネルの音声を2チャンネルのステレオにダウンミックスする際の方式を設定します。

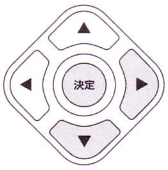


❶ セットアップが選ばれていることを確認して、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す

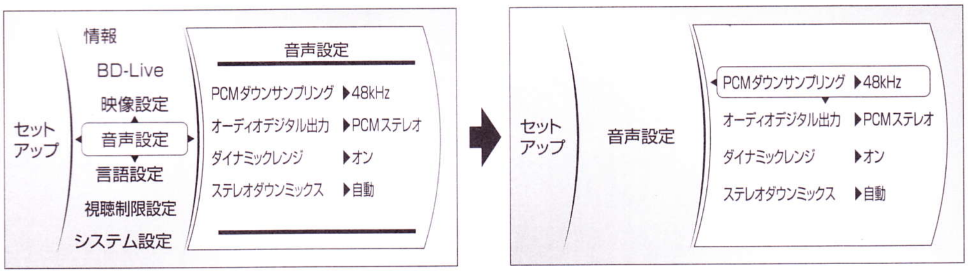
☞ディスクが挿入されている場合は、カーソルボタン(▲／▼)でセットアップを選んで、
決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す



映像設定の内容一覧が表示されます。

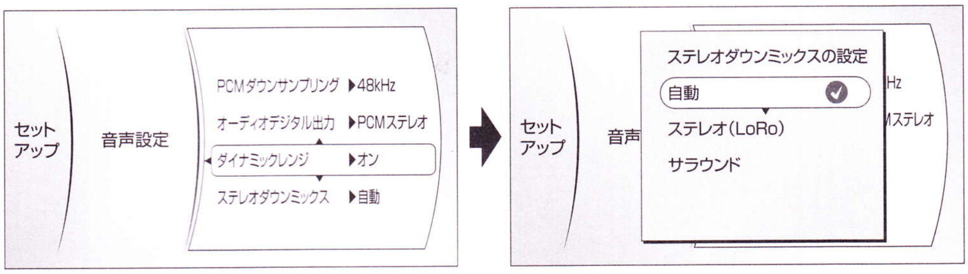


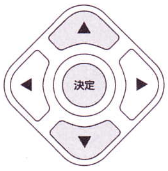
❷ カーソルボタン(▼)を押して音声設定を選び、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す



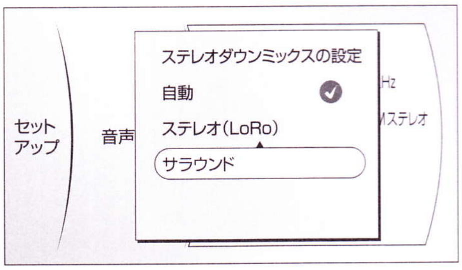
音声設定の内容一覧が表示されます。

❸ カーソルボタン(▼)を押してステレオダウンミックスを選び、決定ボタンを押す





❹ カーソルボタン(▲／▼)でダウンミックス方式を選び、決定ボタンを押す



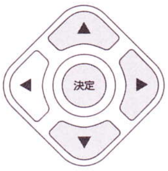
決定ボタンを押すと設定が確定し、ひとつ前の画面に戻ります。さらに戻るには、戻るボタンを数回押します。

自動	自動でダウンミックスを行います。
ステレオ(LoRo)	左右のメイン音声のみを出力します。
サラウンド	左右それぞれのサラウンド音声を含め、ミックスしてステレオ出力します。

ヒント 途中でセットアップを中止するには、戻るボタンを押し、セットアップのトップ画面まで戻ってください。

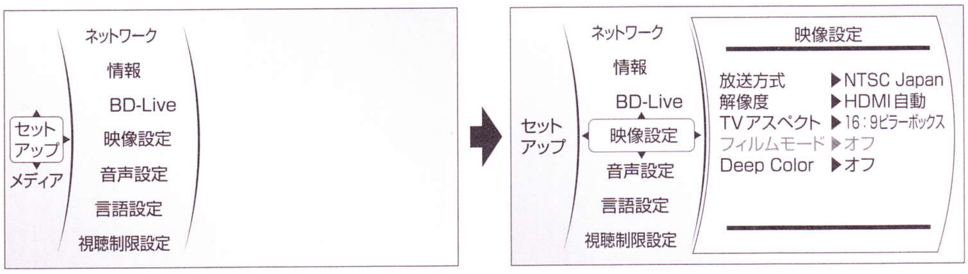
画面表示言語の設定

セットアップメニューの表示言語を設定します。

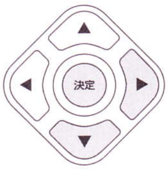


❶ セットアップが選ばれていることを確認して、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す

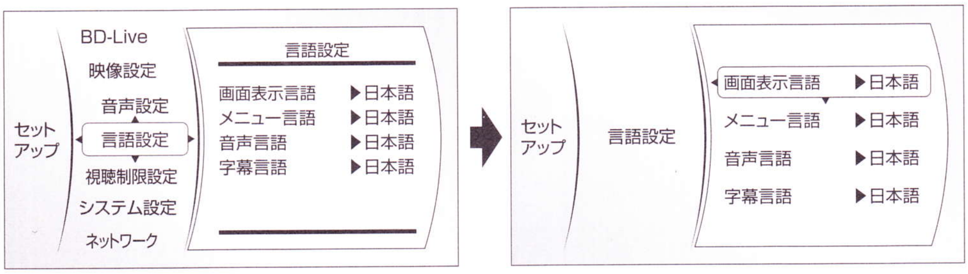
☞ディスクが挿入されている場合は、カーソルボタン(▲／▼)でセットアップを選んで、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す



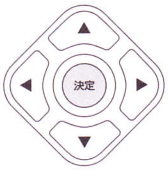
映像設定の内容一覧が表示されます。



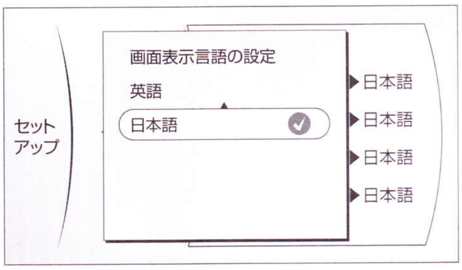
❷ カーソルボタン(▼)を押して言語設定を選び、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す



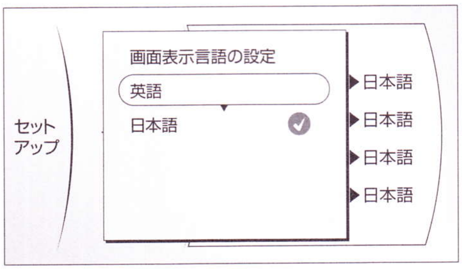
言語設定の内容一覧が表示されます。



❸ 画面表示言語が選ばれていることを確認し、決定ボタンを押す



❹ カーソルボタン(▲／▼)で言語を選び、決定ボタンを押す



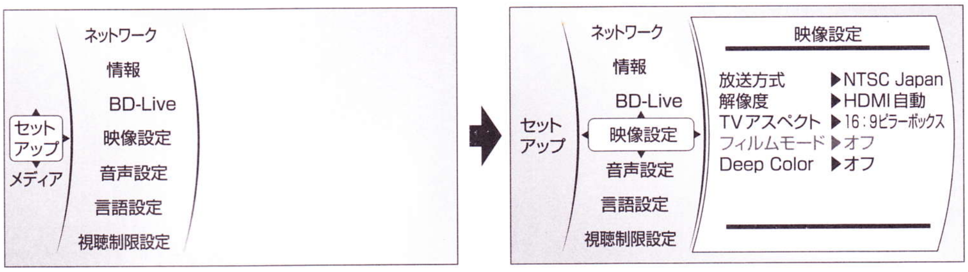
決定ボタンを押すと設定が確定し、ひとつ前の画面に戻ります。さらに戻るには、戻るボタンを数回押します。

メニュー言語の設定

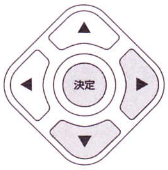
ディスク再生時のメニュー言語を設定します。ただし、ディスクに多言語設定がない場合、この設定は無効です。

❶ セットアップが選ばれていることを確認して、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す

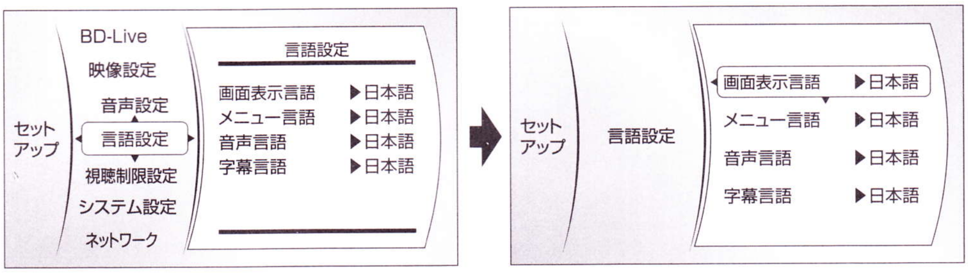
☞ディスクが挿入されている場合は、カーソルボタン(▲／▼)でセットアップを選んで、
決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す



映像設定の内容一覧が表示されます。

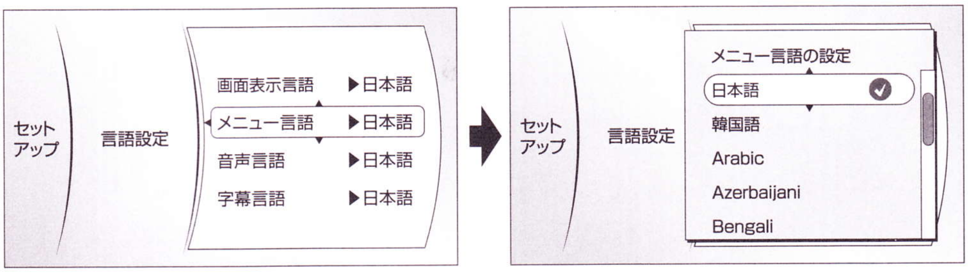


❷ カーソルボタン(▼)を押して言語設定を選び、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す

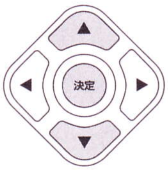


言語設定の内容一覧が表示されます。

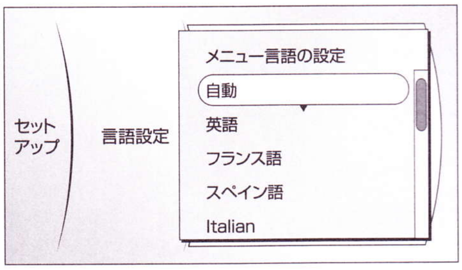
❸ カーソルボタン(▼)を押してメニュー言語を選び、決定ボタンを押す



スクロールバーは上下に未表示の選択項目があることを示しています。カーソルボタン(▲／▼)を数回押してカーソルを移動させてください。



❹ カーソルボタン(▲／▼)で言語を選び、決定ボタンを押す



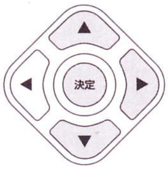
決定ボタンを押すと設定が確定し、ひとつ前の画面に戻ります。さらに戻るには、戻るボタンを数回押します。

選択可能言語(選択した言語にディスクが対応している場合に限り有効です)
自動　英語　フランス語　スペイン語　イタリア語　ドイツ語　ポルトガル語　ロシア語　中国語　日本語　韓国語 Arabic　Azerbaijani　Bengali　Bulgarian　Burmese　Croatian　Czech　Danish　Dutch　Greek Gujarati　Hausa　Hebrew　Hindi　Hungarian　Irish　Javanese　Kannada　Latvian　Lithuanian Malay　Malayalam　Maltese　Marathi　Norwegian　Oriya　Panjabi　Persian　Polish　Romanian Serbian　Sindhi　Slovak　Slovenian　Sunda　Swedish　Tamil　Telugu　Thai　Turkish　Ukrainian Urdu　Vietnamese　Yoruba

ヒント 途中でセットアップを中止するには、戻るボタンを押し、セットアップのトップ画面まで戻ってください。

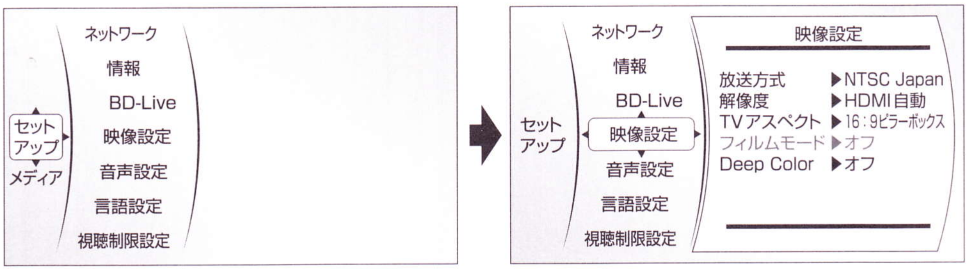
音声言語の設定

ディスク再生時の音声メニュー言語を設定します。ただし、ディスクに多言語音声設定がない場合、この設定は無効です。また、ディスクによっては、本機ではなくディスクメニューで操作するタイプもあります。その場合はディスク付属の取扱説明書を参照してください。



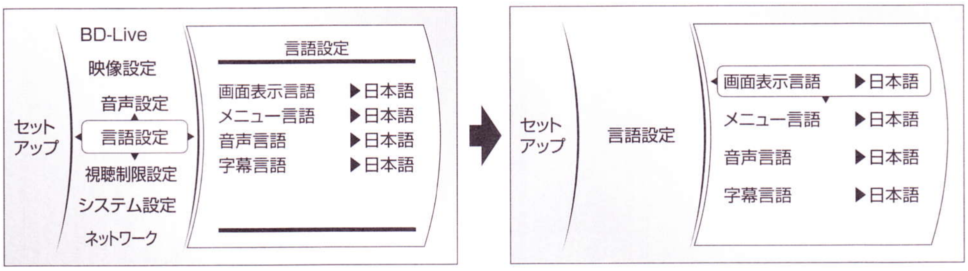
❶ セットアップが選ばれていることを確認して、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す

☞ディスクが挿入されている場合は、カーソルボタン(▲／▼)でセットアップを選んで、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す



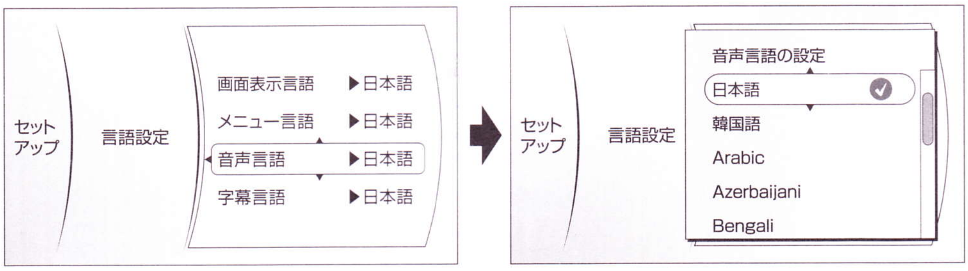
映像設定の内容一覧が表示されます。

❷ カーソルボタン(▼)を押して言語設定を選び、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す



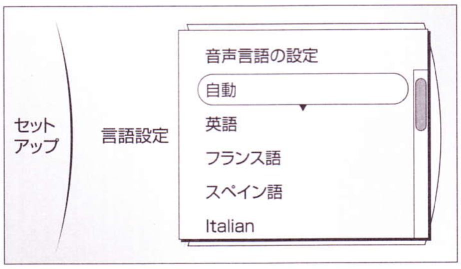
言語設定の内容一覧が表示されます。

❸ カーソルボタン(▼)を押して音声言語を選び、決定ボタンを押す



スクロールバーは上下に未表示の選択項目があることを示しています。カーソルボタン(▲／▼)を数回押してカーソルを移動させてください。

❹ カーソルボタン(▲／▼)で言語を選び、決定ボタンを押す

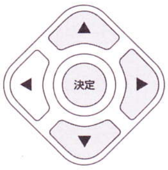


決定ボタンを押すと設定が確定し、ひとつ前の画面に戻ります。さらに戻るには、戻るボタンを数回押します。

選択可能言語(選択した言語にディスクが対応している場合に限り有効です)
自動　英語　フランス語　スペイン語　イタリア語　ドイツ語　ポルトガル語　ロシア語　中国語　日本語　韓国語 Arabic　Azerbaijani　Bengali　Bulgarian　Burmese　Croatian　Czech　Danish　Dutch　Greek Gujarati　Hausa　Hebrew　Hindi　Hungarian　Irish　Javanese　Kannada　Latvian　Lithuanian Malay　Malayalam　Maltese　Marathi　Norwegian　Oriya　Panjabi　Persian　Polish　Romanian Serbian　Sindhi　Slovak　Slovenian　Sunda　Swedish　Tamil　Telugu　Thai　Turkish　Ukrainian Urdu　Vietnamese　Yoruba

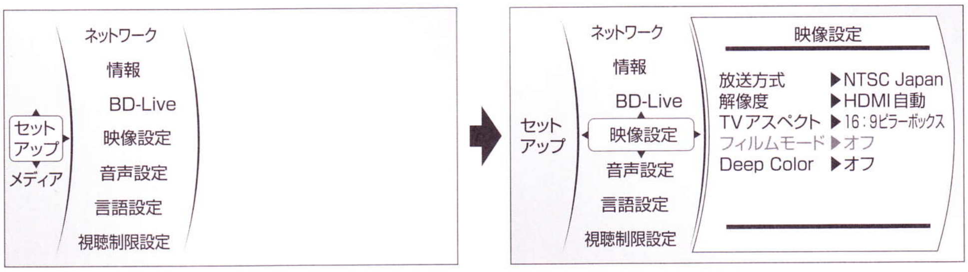
字幕言語の設定

ディスク再生時の字幕言語を設定します。ただし、ディスクに字幕設定がない場合、この設定は無効です。また、ディスクによっては、本機ではなくディスクメニューで操作するタイプもあります。その場合はディスク付属の取扱説明書を参照してください。



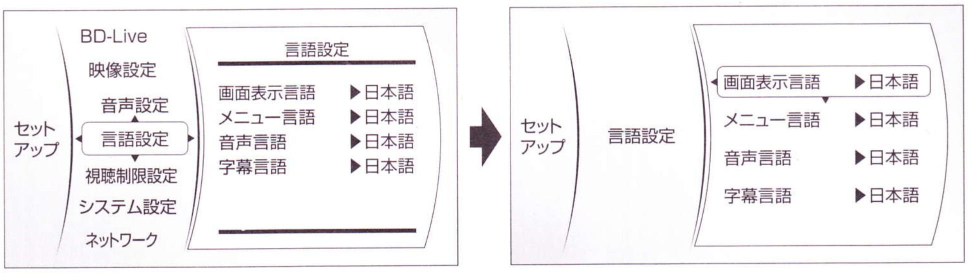
❶ セットアップが選ばれていることを確認して、決定ボタンまたはカーソルボタン（▶）を押す

☞ディスクが挿入されている場合は、カーソルボタン（▲／▼）でセットアップを選んで、決定ボタンまたはカーソルボタン（▶）を押す



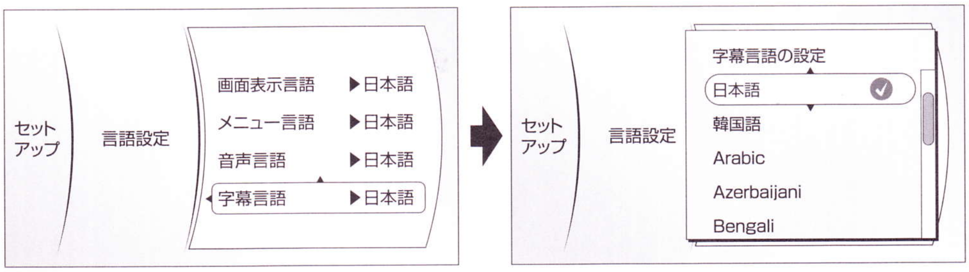
映像設定の内容一覧が表示されます。

❷ カーソルボタン（▼）を押して言語設定を選び、決定ボタンまたはカーソルボタン（▶）を押す

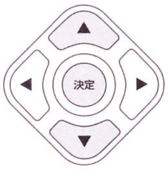


言語設定の内容一覧が表示されます。

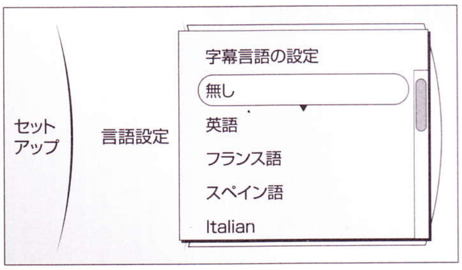
❸ カーソルボタン（▼）を押して字幕言語を選び、決定ボタンを押す



スクロールバーは上下に未表示の選択項目があることを示しています。カーソルボタン（▲／▼）を数回押してカーソルを移動させてください。



❹ カーソルボタン（▲／▼）で言語を選び、決定ボタンを押す



決定ボタンを押すと設定が確定し、ひとつ前の画面に戻ります。さらに戻るには、戻るボタンを数回押します。

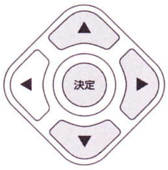
選択可能言語（選択した言語にディスクが対応している場合に限り有効です）

無し 英語 フランス語 スペイン語 イタリア語 ドイツ語 ポルトガル語 ロシア語 中国語 日本語 韓国語
Arabic Azerbaijani Bengali Bulgarian Burmese Croatian Czech Danish Dutch Greek
Gujarati Hausa Hebrew Hindi Hungarian Irish Javanese Kannada Latvian Lithuanian
Malay Malayalam Maltese Marathi Norwegian Oriya Panjabi Persian Polish Romanian
Serbian Sindhi Slovak Slovenian Sunda Swedish Tamil Telugu Thai Turkish Ukrainian
Urdu Vietnamese Yoruba

ヒント 途中でセットアップを中止するには、戻るボタンを押し、セットアップのトップ画面まで戻ってください。

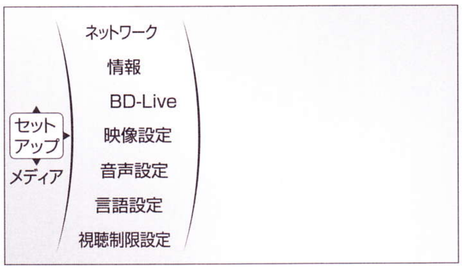
視聴制限国の設定

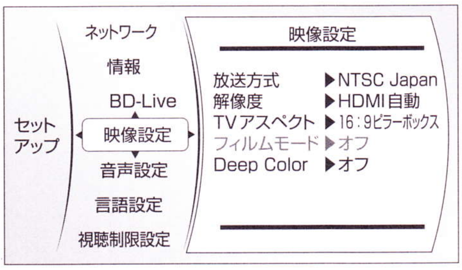
ディスクによっては、視聴年齢制限（パレンタルコントロール）の設定について複数の国に対応している場合があります。その場合はご使用の国を設定してください。年齢制限ロックの設定（P.30）がオンの時は、視聴制限に関する設定を変更する際、パスワードの入力が必要になります（パスワードの入力方法等は、P.30・P32をご参照ください）。



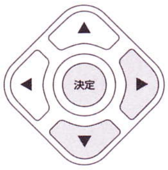
1 セットアップが選ばれていることを確認して、決定ボタンまたはカーソルボタン（▶）を押す

☞ディスクが挿入されている場合は、カーソルボタン（▲／▼）でセットアップを選んで、
決定ボタンまたはカーソルボタン（▶）を押す

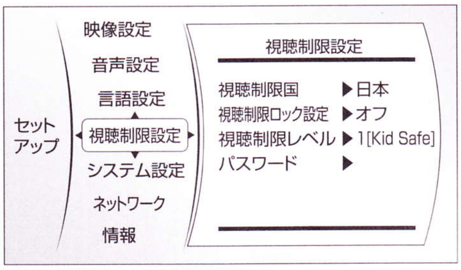


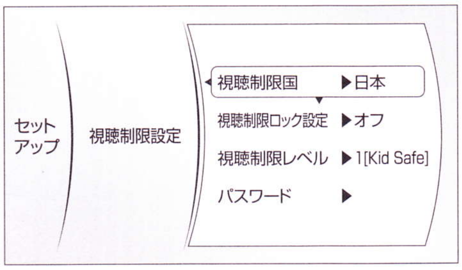


映像設定の内容一覧が表示されます。



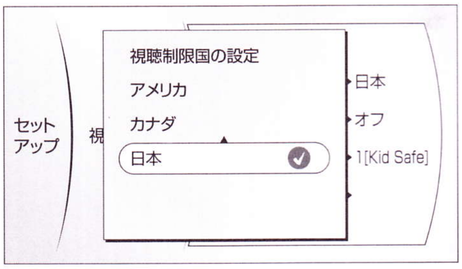
2 カーソルボタン（▼）を押して視聴制限設定を選び、決定ボタンまたはカーソルボタン（▶）を押す

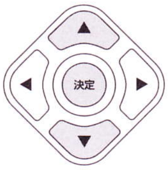




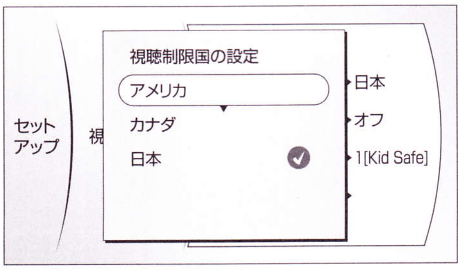
視聴制限設定の内容一覧が表示されます。

3 視聴制限国が選ばれていることを確認し、決定ボタンを押す





4 カーソルボタン（▲／▼）で国名を選び、決定ボタンを押す

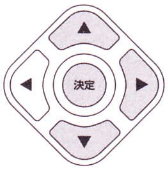


決定ボタンを押すと設定が確定し、ひとつ前の画面に戻ります。さらに戻るには、戻るボタンを数回押します。

設定

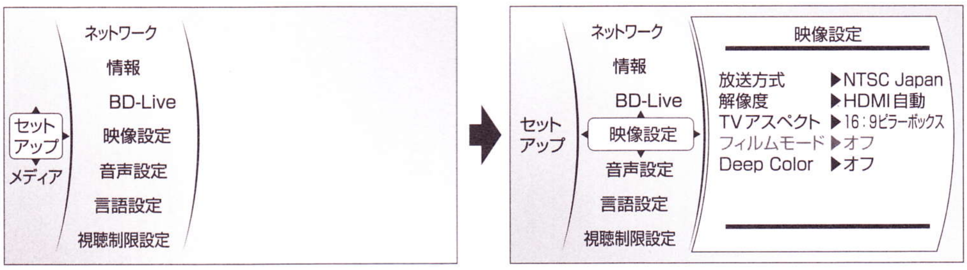
視聴制限ロックの設定

視聴制限に関する設定を変更する際、パスワードの入力を必要とするかどうかの設定をします。パスワードの詳細は、P.32もあわせてご参照ください。

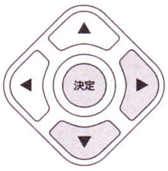


❶ セットアップが選ばれていることを確認して、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す

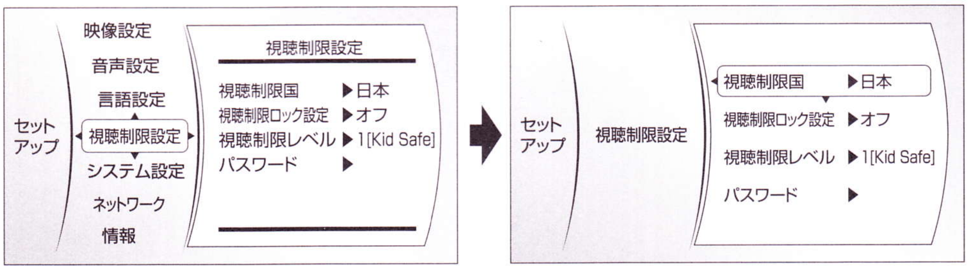
☞ディスクが挿入されている場合は、カーソルボタン(▲／▼)でセットアップを選んで、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す



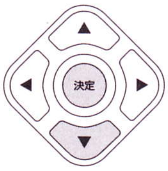
映像設定の内容一覧が表示されます。



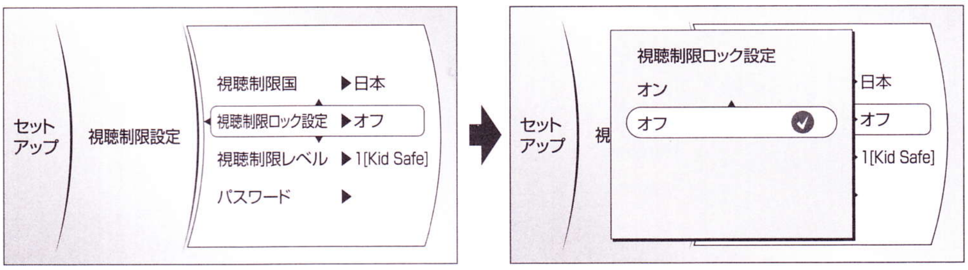
❷ カーソルボタン(▼)を押して視聴制限設定を選び、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す

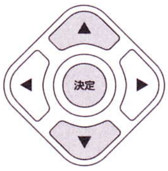


視聴制限設定の内容一覧が表示されます。

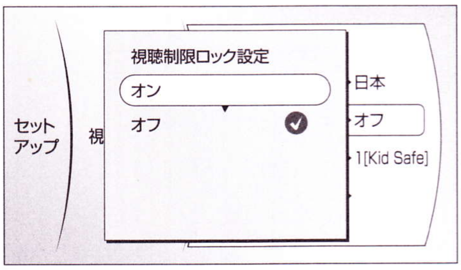


❸ カーソルボタン(▼)を押して視聴制限ロック設定を選び、決定ボタンを押す





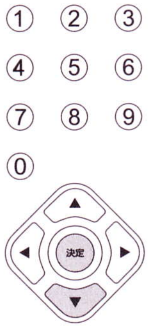
❹ カーソルボタン(▲／▼)でオン／オフを選び、決定ボタンを押す



決定ボタンを押すと設定が確定し、ひとつ前の画面に戻ります。さらに戻るには、戻るボタンを数回押します。

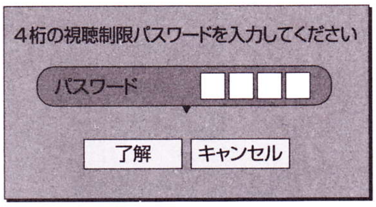
「4桁の視聴制限パスワードを入力してください」の画面が出たら…

視聴制限ロック設定を「オン」にした後、再度、セットアップから視聴制限設定を行う場合は、パスワードの入力を求められます。



❶ 数字ボタンを押してパスワードを入力する

工場出荷時のパスワードは「0000」です。
入力時に間違えた場合は、カーソルボタン(◀)で戻って入力し直してください。



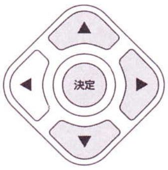
❷ カーソルボタン(▼)を押し、了解が選ばれていることを確認して決定ボタンを押す

ヒント 途中でセットアップを中止するには、戻るボタンを押し、セットアップのトップ画面まで戻ってください。

設定

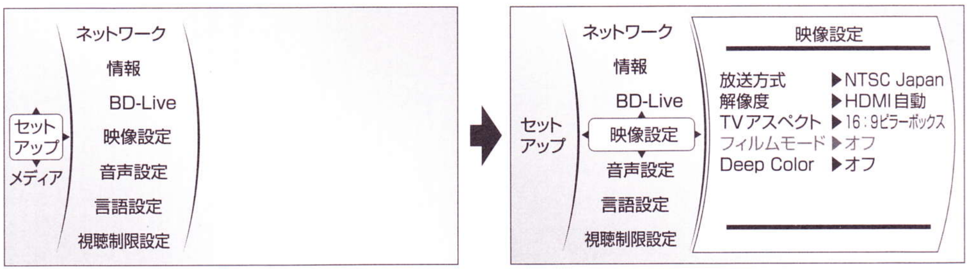
視聴制限レベルの設定

視聴年齢制限によって視聴不可にするレベルを設定します。BDやDVDに視聴制限が設定されている場合、この機能によって、レベルが判断されます。視聴制限ロック設定がオンの時は、視聴年齢制限に関する設定を変更する際、パスワードの入力が必要になります(パスワードの入力方法等は、前ページをご参照ください)。

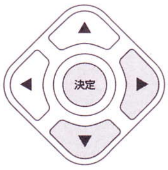


❶ セットアップが選ばれていることを確認して、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す

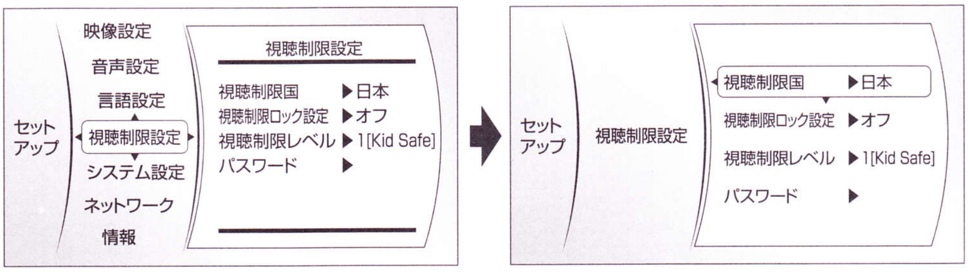
☞ディスクが挿入されている場合は、カーソルボタン(▲/▼)でセットアップを選んで、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す



映像設定の内容一覧が表示されます。

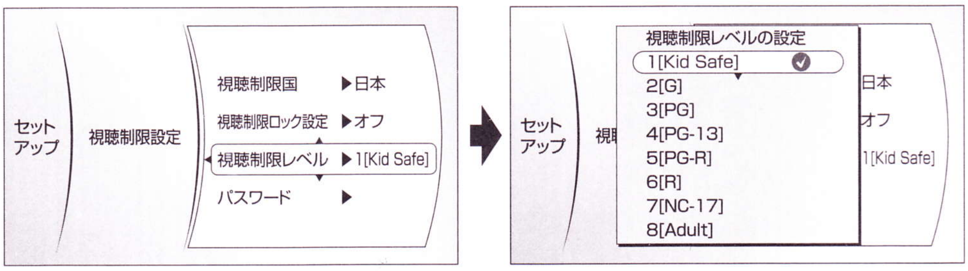


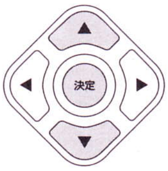
❷ カーソルボタン(▼)を押して視聴制限設定を選び、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す



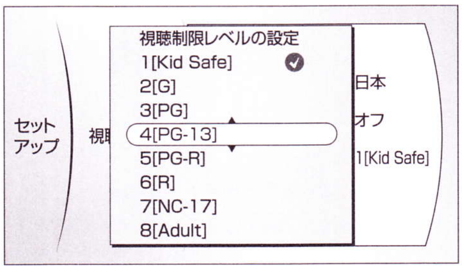
視聴制限設定の内容一覧が表示されます。

❸ カーソルボタン(▼)を押して制限レベルを選び、決定ボタンを押す





❹ カーソルボタン(▲/▼)で制限レベルを選び、決定ボタンを押す

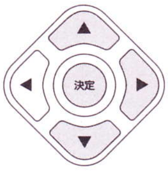


決定ボタンを押すと設定が確定し、ひとつ前の画面に戻ります。さらに戻るには、戻るボタンを数回押します。

1[Kid Safe]	子供向け
2[G]	一般向け
3[PG]	親と一緒なら子供視聴可能
4[PG-13]	親と一緒なら13歳以下視聴可能
5[PG-R]	成人と一緒なら視聴可能
6[R]	親、成人と一緒なら17歳以下視聴可能
7[NC-17]	17歳以下は視聴不可
8[Adult]	成人向け

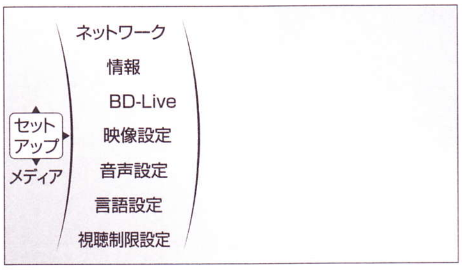
パスワード変更

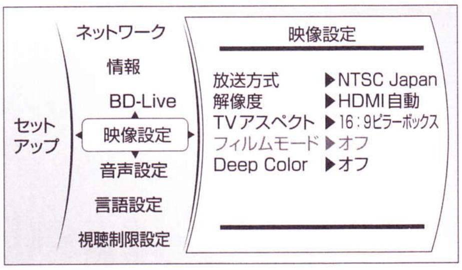
視聴制限のためのパスワードを変更します。工場出荷時は「0000」ですが、お子様や未成年者がいらっしゃるご家庭は定期的に変更することをお勧めします。視聴制限ロック設定がオンの時は、視聴年齢制限に関する設定を変更する際、パスワードの入力が必要になります。



1 セットアップが選ばれていることを確認して、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す

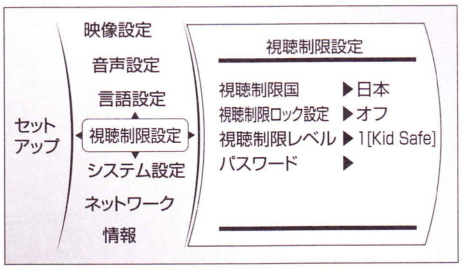
☞ディスクが挿入されている場合は、カーソルボタン(▲／▼)でセットアップを選んで、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す

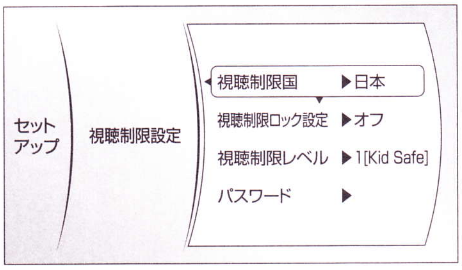




映像設定の内容一覧が表示されます。

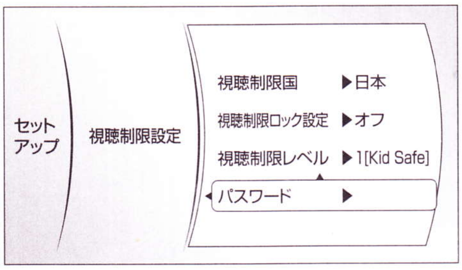
2 カーソルボタン(▼)を押して視聴制限設定を選び、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す



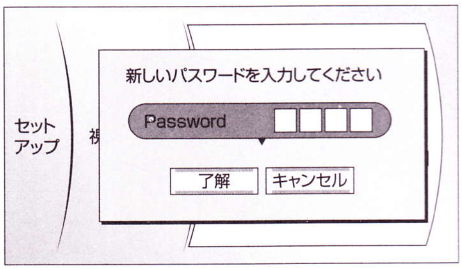


視聴制限設定の内容一覧が表示されます。

3 カーソルボタン(▼)を押してパスワードを選び、決定ボタンを押す

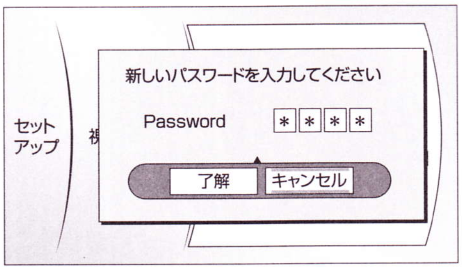


4 数字ボタンを押して新しいパスワードを入力する



入力時に間違えた場合は、クリアボタンを押すか、カーソルボタン(◀)で戻って入力し直してください。

5 カーソルボタン(▼)を押し、了解が選ばれていることを確認して決定ボタンを押す



決定ボタンを押すと設定が確定し、ひとつ前の画面に戻ります。さらに戻るには、戻るボタンを数回押します。

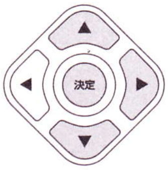
ご注意 ●本機を初期化すると、変更したパスワードは無効になり、工場出荷時の「0000」に戻ります。

設定

ヒント 途中でセットアップを中止するには、戻るボタンを押し、セットアップのトップ画面まで戻ってください。

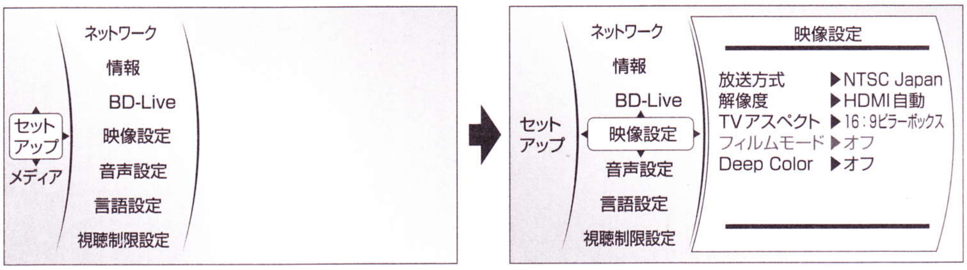
スクリーンセーバー設定

スクリーンセーバーの起動時間を設定します。テレビ画面の焼き付きを防ぐためにも、「オフ」以外でのご使用をお勧めします。



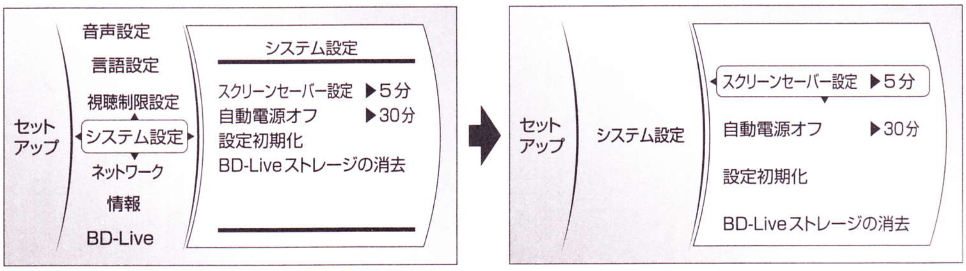
❶ セットアップが選ばれていることを確認して、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す

☞ディスクが挿入されている場合は、カーソルボタン(▲／▼)でセットアップを選んで、
決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す



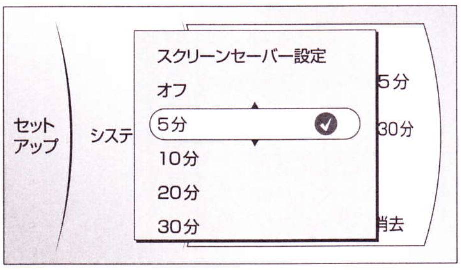
映像設定の内容一覧が表示されます。

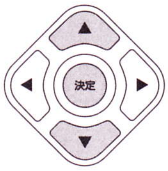
❷ カーソルボタン(▼)を押してシステム設定を選び、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す



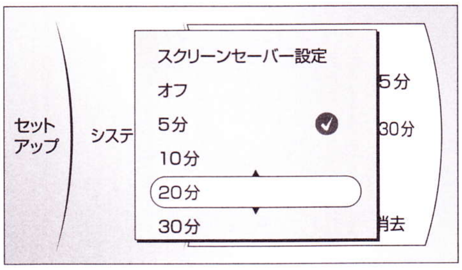
システム設定の内容一覧が表示されます。

❸ スクリーンセーバー設定が選ばれていることを確認し、決定ボタンを押す





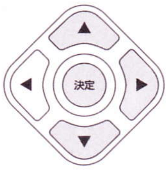
❹ カーソルボタン(▲／▼)で時間を選び、決定ボタンを押す



決定ボタンを押すと設定が確定し、ひとつ前の画面に戻ります。さらに戻るには、戻るボタンを数回押します。

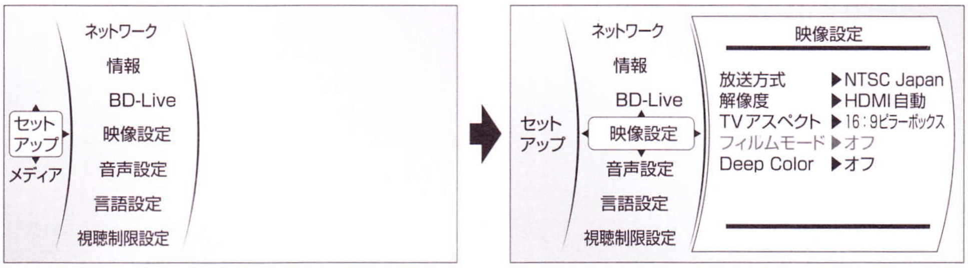
自動電源オフ

一定時間、何もしないと自動で本機の電源を切るように設定します。テレビの電源オフはできません。消し忘れを防ぐ意味でも「オフ」以外でのご使用をお勧めします。



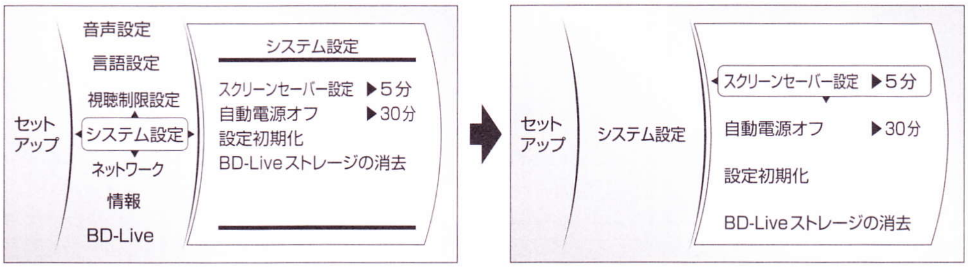
❶ セットアップが選ばれていることを確認して、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す

☞ディスクが挿入されている場合は、カーソルボタン(▲／▼)でセットアップを選んで、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す



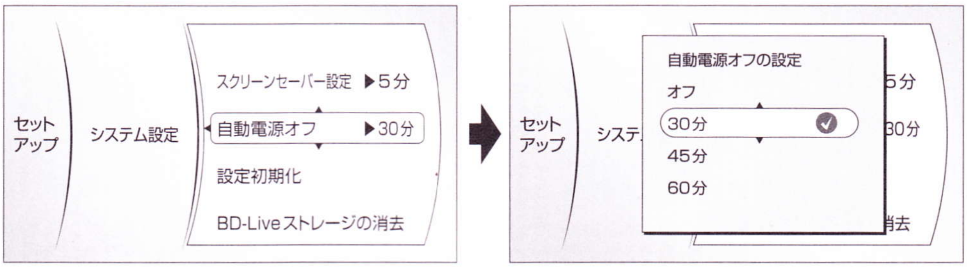
映像設定の内容一覧が表示されます。

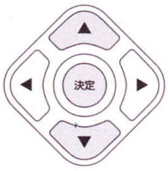
❷ カーソルボタン(▼)を押してシステム設定を選び、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す



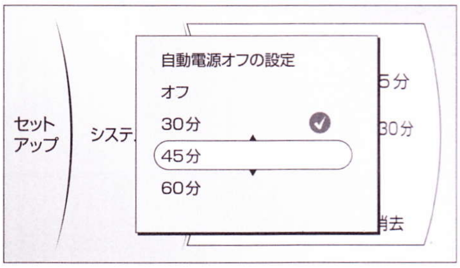
システム設定の内容一覧が表示されます。

❸ カーソルボタン(▼)を押して自動電源オフを選び、決定ボタンを押す





❹ カーソルボタン(▲／▼)でオン／オフを選び、決定ボタンを押す



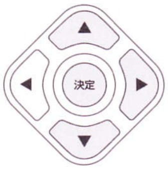
決定ボタンを押すと設定が確定し、ひとつ前の画面に戻ります。さらに戻るには、戻るボタンを数回押します。

ヒント 途中でセットアップを中止するには、戻るボタンを押し、セットアップのトップ画面まで戻ってください。

設定初期化

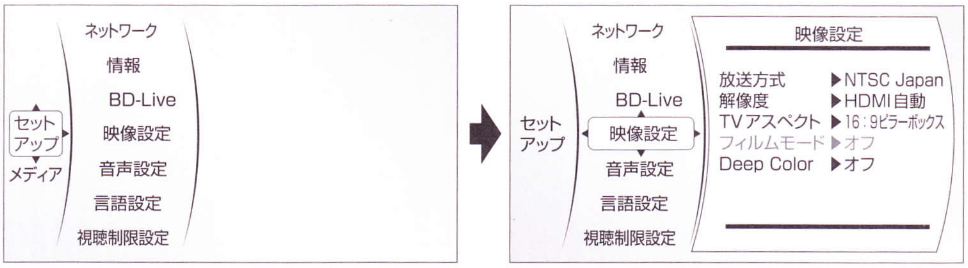
本機を工場出荷時の状態に戻します。

ご注意 ●セットアップで設定した内容がすべて初期化されます。初期化を行うと、それまでの設定は復元できませんのでご注意ください（再設定が必要です）。

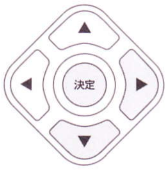


❶ セットアップが選ばれていることを確認して、決定ボタンまたはカーソルボタン（▶）を押す

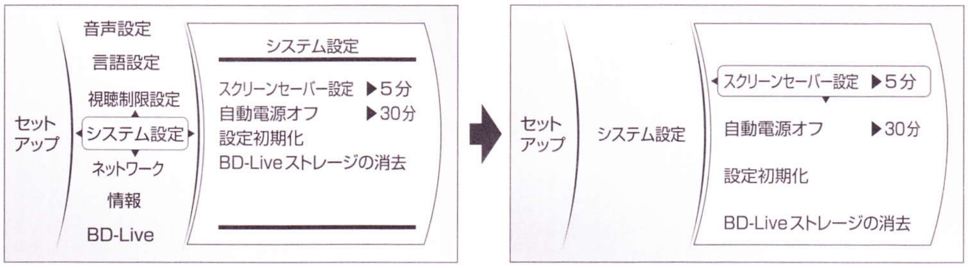
☞ディスクが挿入されている場合は、カーソルボタン（▲／▼）でセットアップを選んで、決定ボタンまたはカーソルボタン（▶）を押す



映像設定の内容一覧が表示されます。

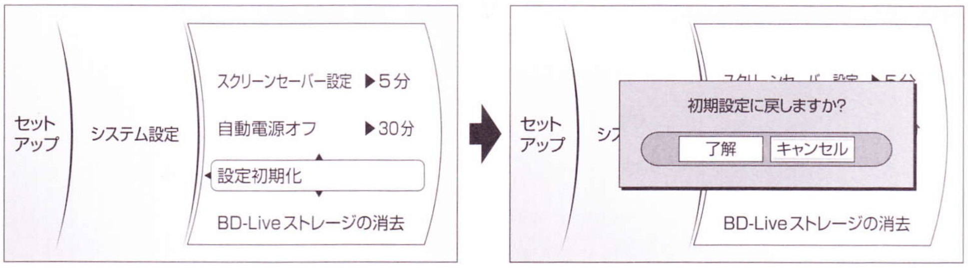


❷ カーソルボタン（▼）を押してシステム設定を選び、決定ボタンまたはカーソルボタン（▶）を押す



システム設定の内容一覧が表示されます。

❸ カーソルボタン（▼）を押して設定初期化を選び、決定ボタンを押す。
さらに、了解が選ばれていることを確認し、決定ボタンを押す

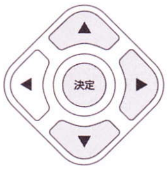


初期化しない場合はカーソルボタン（▶）でキャンセルを選んで決定ボタンを押してください。
決定ボタンを押すと初期化され、ひとつ前の画面に戻ります。さらに戻るには、戻るボタンを数回押します。

BD-Liveストレージの消去

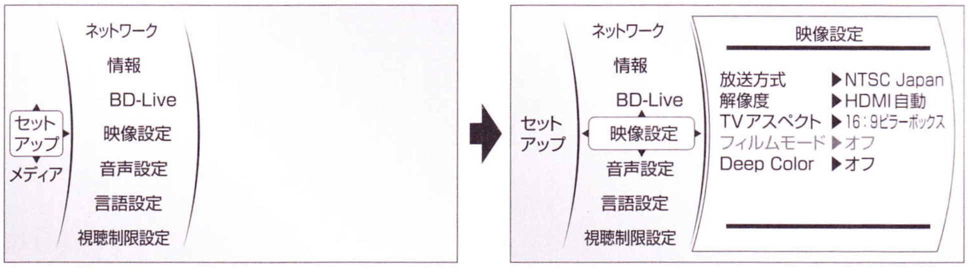
BD-Live用にUSBフラッシュメモリーを接続している場合、USBフラッシュメモリー内のBD-Liveデータを消去します。

ヒント ●本機にUSBフラッシュメモリーを接続すると、メモリー内にデータ保存用として「lstor」フォルダーが作成され、「BD-Liveストレージの消去」では、このフォルダー内のデータを消去します。フォルダー自体はパソコン等にて消去しない限り、削除されません。



❶ セットアップが選ばれていることを確認して、決定ボタンまたはカーソルボタン（▶）を押す

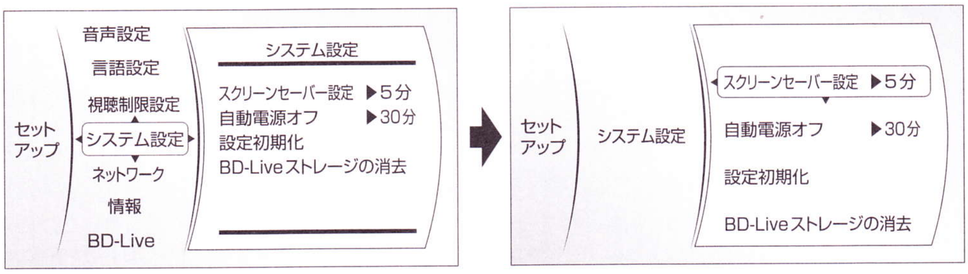
☞ディスクが挿入されている場合は、カーソルボタン（▲／▼）でセットアップを選んで、決定ボタンまたはカーソルボタン（▶）を押す



映像設定の内容一覧が表示されます。

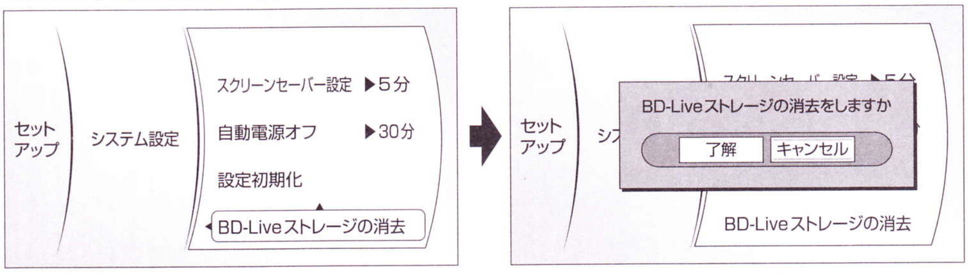
ヒント ネットワークの接続設定方法やBD-Liveの機能については、それぞれP.52～54をご覧ください。

❷ カーソルボタン(▼)を押してシステム設定を選び、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す



システム設定の内容一覧が表示されます。

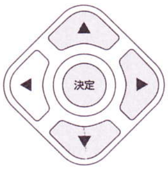
❸ カーソルボタン(▼)を押してBD-Liveストレージの消去を選び、決定ボタンを押す。さらに、了解が選ばれていることを確認し、決定ボタンを押す



消去しない場合はカーソルボタン(▶)でキャンセルを選んで決定ボタンを押してください。
決定ボタンを押すと初期化され、ひとつ前の画面に戻ります。さらに戻るには、戻るボタンを数回押します。

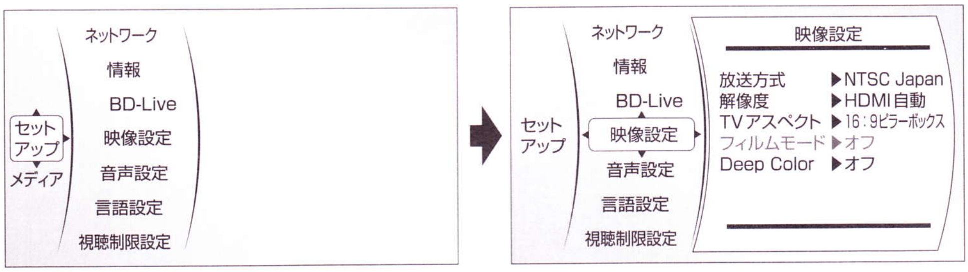
情報の表示

本機のソフトウェアバージョンを表示します。



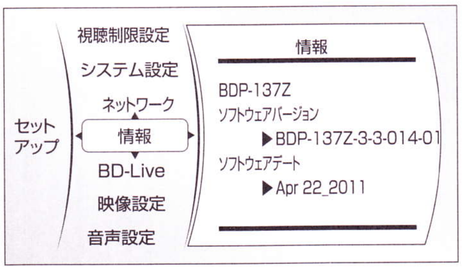
❶ セットアップが選ばれていることを確認して、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す

☞ディスクが挿入されている場合は、カーソルボタン(▲／▼)でセットアップを選んで、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す



映像設定の内容一覧が表示されます。

❷ カーソルボタン(▼)を押して情報を選ぶ



表示内容は機器により異なります。

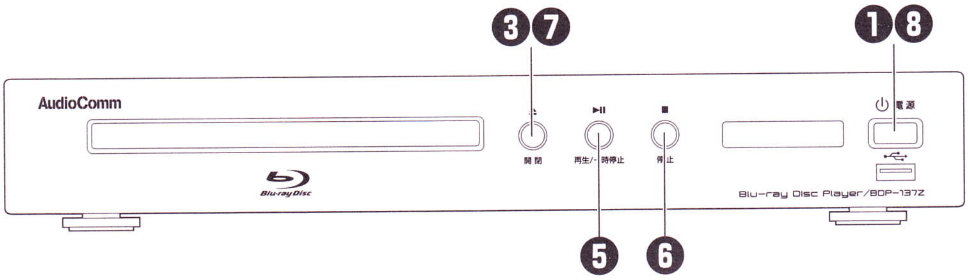
設定

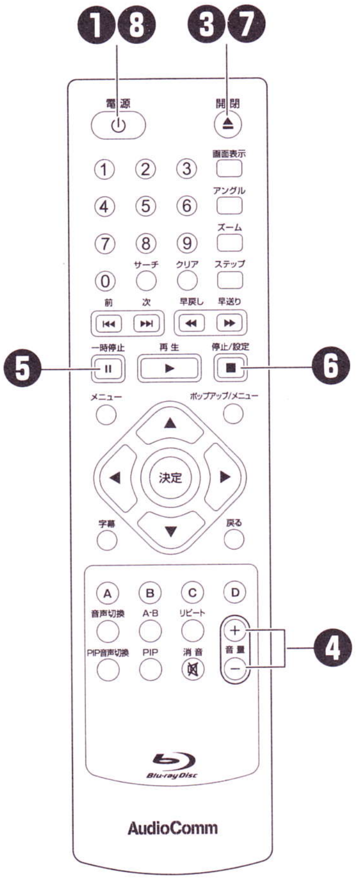
ヒント 途中でセットアップを中止するには、戻るボタンを押し、セットアップのトップ画面まで戻ってください。

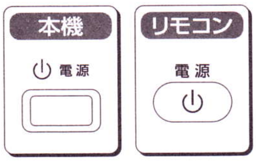
BD・DVDの基本操作

P.12～14を参照し、リモコンの準備、本機とテレビ等との接続（家庭用コンセントへの接続を含む）を正しく行ってから以下の操作をしてください。

ご注意
- ディスクに汚れやキズがあると、画像が歪んで見えたり、再生が停止したりすることがあります。このような場合は、まずディスクを取り出して清掃してください。その後、本機の電源を切り、電源プラグをいったん抜いて差し直してから再生してみてください。
- ディスクによって再生等の操作方法が異なる場合があります。その場合はディスク付属の取扱説明書に従って操作してください。
- 本機での再生に適していないディスクを挿入した場合、ディスクトレイが開き、再生に至らない場合があります。ディスクの損傷の有無や、ディスクタイプ、ファイル形式をご確認のうえ、本機での再生に適したものをご使用ください。
- 再生プログラムが備わっているBDやDVDの場合は、最初のタイトルから再生が始まらない場合があります。
- 携帯電話を本機やテレビの近くで使用しないでください。音声に異音が入ったり、テレビにノイズは出たりする場合があります。
- 長期間使わない場合は、必ず電源を切り、家庭用コンセントから電源プラグを抜いてください。





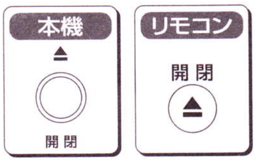


❶ 本機またはリモコンの電源ボタンを押す

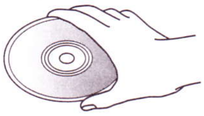
コンセントに電源プラグを差し込んだ直後の場合は、約30秒ぐらい経ってから、本体の電源ボタンかリモコンの電源ボタンを押して電源を入れてください。
電源が入ると本機のディスプレイに「H1」と表示され、ディスクの検索が始まります。ディスクがない場合は「no」と表示されます。

❷ 接続しているテレビやモニターの電源を入れ、接続に応じた入力モードに切り換える

HDMIケーブルで接続した場合や、AV接続コードで接続した場合など、それぞれに応じた入力モードをテレビ（モニター）側で設定してください。
正しく接続されるとセットアップ画面が表示されます。



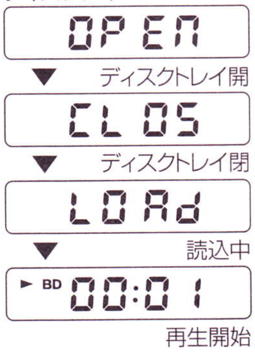
❸ 本機またはリモコンの開閉ボタンを押してディスクトレイを開け、ディスクをセットする

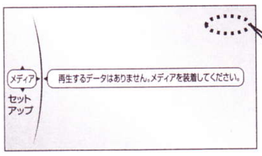


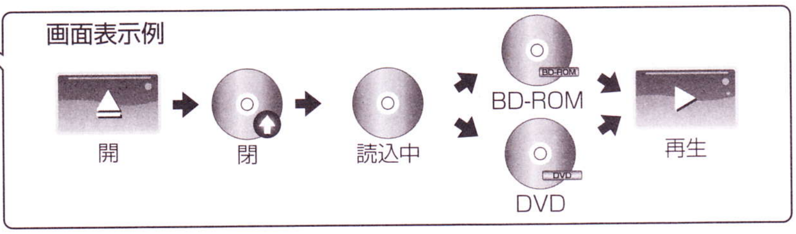
ディスクはレーベル面を上にしてセットしてください。

- セットが終わったら、もう一度本機またはリモコンの開閉ボタンを押して、ディスクトレイを閉めてください。
- トレイが閉まると、ディスプレイに「LOAd」と表示され、読み込みが終わると自動的に再生が始まります。

ディスプレイ





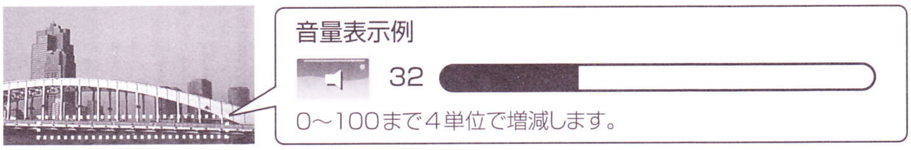


ヒント
- ディスクによっては、最初にメニュー画面が表示されることがあります。その場合は、お好みの内容をカーソルボタン（▲／▼／▶／◀）で選択し、決定ボタンを押して再生を開始してください。
- 2層ディスクの再生中に映像が一瞬止まることがあります。これはディスクの1層と2層が切り換わるために起こるもので故障ではありません。ディスク付属の説明書もあわせてご覧ください。

4 **音量ボタン(＋／－)で音量を調節する**

0〜100まで4ステップで調節できます。

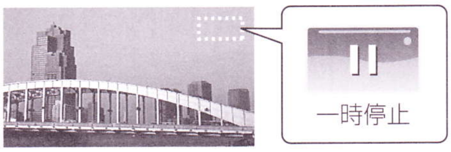
ヒント
- 音量ボタンは、本機からテレビやモニターへ送り出す音声信号を調節するものです。
- 接続機器側の音量レベルが低いと、それ以上の音量にはなりません。
- 本機の音量レベルを少し高めに設定し、主として音量調整は外部の接続機器側で行うことをおすすめします。

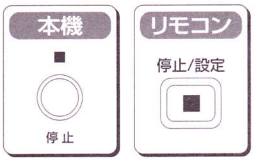


5 **再生中に一時停止するには**

本機の再生／一時停止ボタン、またはリモコンの一時停止ボタンを押す

再生が一時停止します。一時停止を解除するには、本機の再生／一時停止ボタンをもう一度押すか、リモコンの再生ボタンを押します。



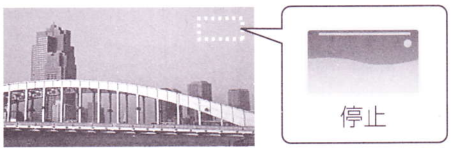


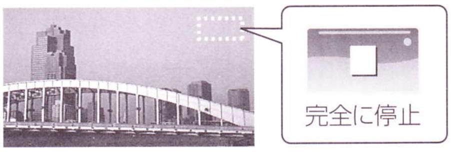
6 **再生を停止するには**

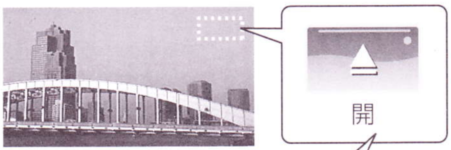
本機の停止ボタンまたはリモコンの停止／設定ボタンを押す

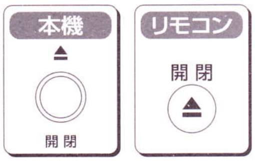
- 停止ボタンを1回押すと、再生が停止し、トップ画面になります。この状態で本機の再生／一時停止ボタン(リモコンの場合は再生ボタン)を押すと、停止したときの続きから再生を始めます。
- 停止ボタンを2回続けて押すと完全に停止した状態になります。この状態で再生ボタンを押すと、ディスクの最初から再生を始めます。

※BDの場合は、ディスクにより、停止ボタンを1回押すことで完全に停止するものもあります。







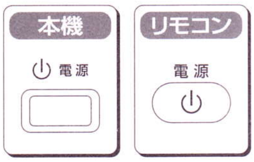


7 **ディスクを取り出すには**

本機またはリモコンの開閉ボタンを押す

トレイが完全に手前に出てきたらディスクを持ち上げて取り出します。

ヒント
- ボタン操作によって画面右上に表示される再生、停止等のアイコンは約3秒後に消えます。



8 **本機またはリモコンの電源ボタンを押して電源を切る**

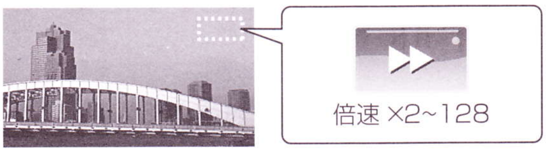
ご注意
- テレビ側の電源だけをオフにしても、本機の電源は切れません。必ず本機の電源も切ってください。
- テレビをつけたまま本機の電源をオフにすると、テレビによっては画面が暗くなり、テレビも電源が切れたように見えます。引き続きテレビを見ない場合は、必ずテレビ側の電源もオフにしてください。

早送り・早戻し

早送り

再生中に早送りボタンを押すと、早送りができます。
- ボタンを押すごとに早送りスピードが2倍、4倍、8倍、16倍、32倍、64倍、128倍となります。
- 通常の再生に戻るには、本機の再生／一時停止ボタン、またはリモコンの再生ボタンを押します。

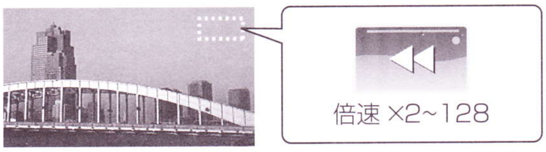
※早送り中は音声は出ません。
※タイトルをまたぐ早送りはできません。



早戻し

再生中に早戻しボタンを押すと、早戻しができます。
- ボタンを押すごとに早戻しスピードが2倍、4倍、8倍、16倍、32倍、64倍、128倍となります。
- 通常の再生に戻るには、本機の再生／一時停止ボタン、またはリモコンの再生ボタンを押します。

※早戻し中は音声は出ません。
※タイトルをまたぐ早戻しはできません。

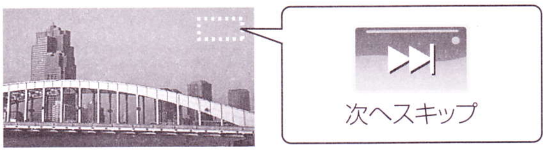


次ページへ続く>>

スキップ（⏭／⏮）

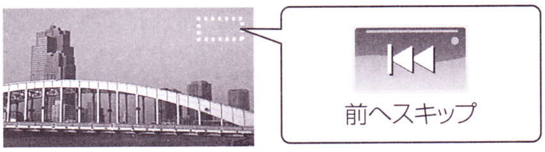
スキップ（⏭）

再生中にスキップボタン（⏭）を押すと、次のチャプターに進んで再生します。



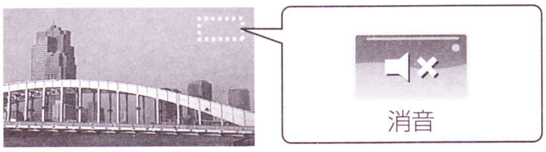
スキップ（⏮）

再生中にスキップボタン（⏮）を押すと、そのチャプターの先頭に戻って再生します。2回続けて押すと、ひとつ前のチャプターに戻って再生します。



消音

再生中に消音ボタンを押すと、一時的に音声出力を中断します。音声を元に戻すには、もう一度消音ボタンを押してください。



ご注意

消音アイコンは約３秒で画面から消えます。再生中にも関わらず音声が出力されない場合は、消音モードになっていないかご確認ください。

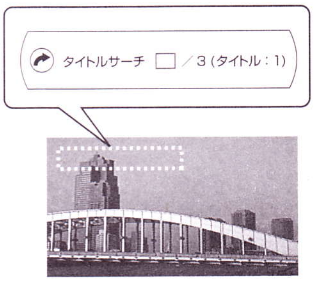
サーチ

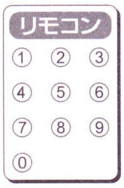
サーチ機能を使うと好きな場面を指定して再生することができます。再生中、一時停止中または停止中に操作できますが、完全に停止時（停止ボタンを２回続けて押した時）は操作できません。

❶ サーチボタンを押す

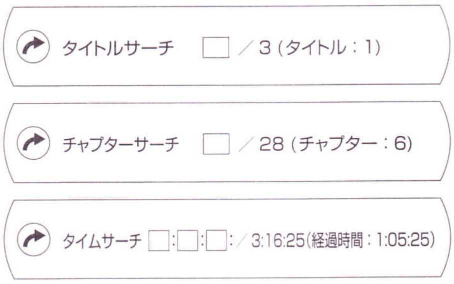
サーチボタンを押す回数によって、サーチ方法が異なりますので、お好みで選択してください。

１回押す…タイトルサーチ：タイトル番号を指定してジャンプします。
２回押す…チャプターサーチ：チャプター番号を指定してジャンプします。
３回押す…タイムサーチ：再生時間を指定してジャンプします。





❷ 数字ボタンを使って数字（タイトル番号、チャプター番号、時間など）を入力する



タイトル番号を入力します。収録されているタイトル数を超えた数字を入力することはできません。

チャプター番号を入力します。収録されているチャプター数を超えた数字を入力することはできません。

時→分→秒の順番に番号を入力します（56分35秒を入力する時は、005635と入力します。収録されている時間を超えた数字を入力することはできません。

❸ 決定ボタンを押す

指定した場所から再生が始まります。

ヒント

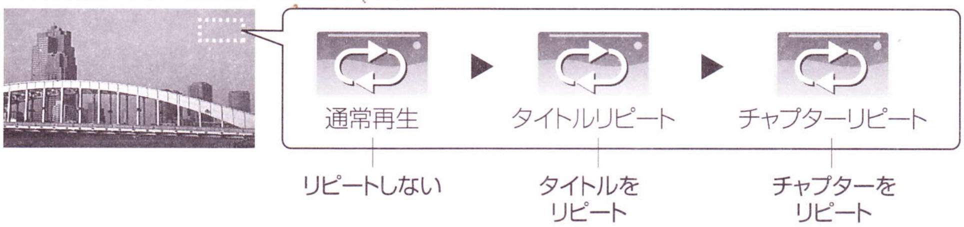
●サーチの設定操作を途中で中止するには、サーチ画面が消えるまで、サーチボタンを数回押します。
●ステップ２で入力中の数字を消すには、クリアボタンを押します。

ご注意

●何も操作しない時間が約８秒間続くと設定操作がキャンセルされます。その場合は最初からやり直してください。
●ディスクにより機能しない場合があります。

リピート

リピートボタンを押すと、現在見ているタイトルやチャプターを繰り返し再生することができます。リピートボタンを押す回数によって、リピートモードを指定できます。再生中、一時停止中または停止中に操作できますが、完全に停止時（停止ボタンを2回続けて押した時）は操作できません。

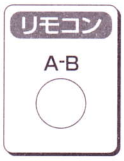


ヒントとご注意

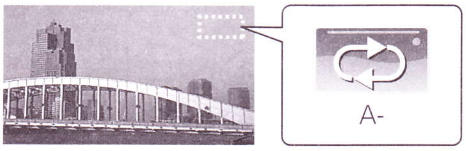
●リピートを解除するには、「通常再生」と表示されるまで、リピートボタンを数回押します。
●多くのBDの場合、リピートは利用できません。

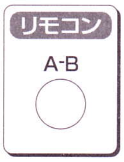
A-Bリピート

A-Bボタンを操作すると、現在見ているシーンの２点間を指定して、繰り返し再生することができます。再生中に操作してください。



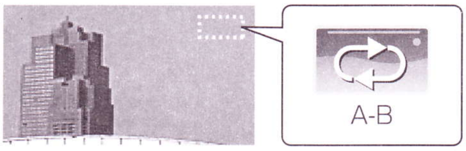
❶ A-Bリピートの開始点でA-Bボタンを押す





❷ 終了したいところでもう一度A-Bボタンを押す

指定したA-B間でリピート再生が始まります。



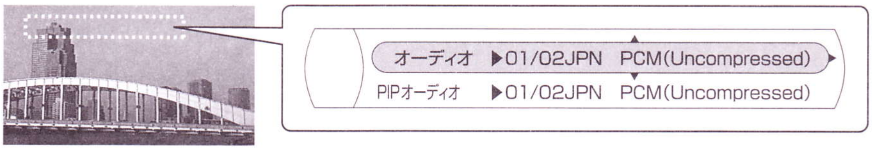
ヒントとご注意

●A-Bリピートを中止するには、もう一度A-Bボタンを押します（「通常再生」と表示され、通常の再生に戻ります）。
●ステップ１とステップ２の間隔が短いと、終了点を設定できない場合があります。ステップ１の「A-」のアイコンが消えた後、もう一度A-Bボタンを押してください。
●多くのBDの場合、A-Bリピートは利用できません。

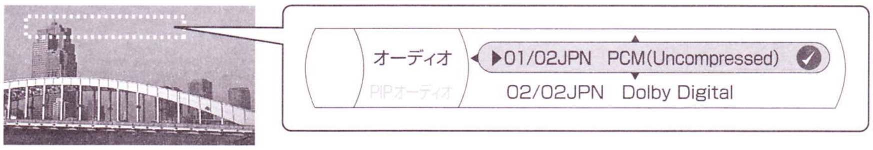
音声の選択

多重音声が収録されているディスクの場合は音声ボタンを操作することで、好みの音声に切り換えることができます。

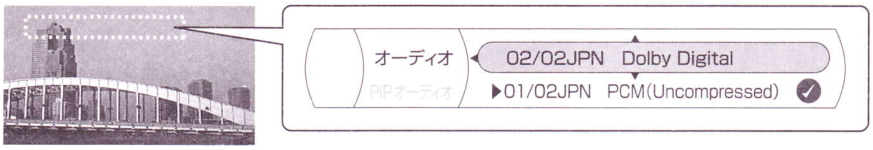
❶ 音声切換ボタンを押す



❷ 音声が選ばれていることを確認し、カーソルボタン（▶）または決定ボタンを押す



❸ カーソルボタン（▲／▼）でお好みの音声を選択し、決定ボタンを押す



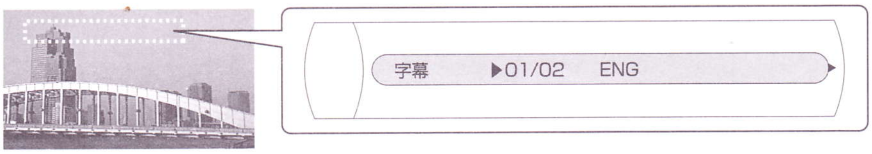
ご注意

●何も操作しない時間が約８秒間続くと設定操作がキャンセルされます。その場合は最初からやり直してください。
●この機能は対応ディスクのみ有効です。また収録されている音声の種類はディスクにより異なり、パッケージのマークにその数が表示されています。（音声言語数が２の場合：②）
●ディスクにより機能しない場合があります。
●電源を切りコンセントから電源プラグを抜くと、セットアップメニューの「音声設定」>「音声言語」で選択されている音声に戻ります。
●二重音声を含んだDVD-R ／ DVD-RW（VRモード）の場合は主音声と副音声が切り換わります。

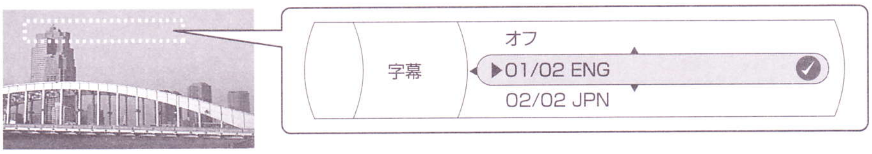
字幕

ディスクに収録された字幕を表示・選択することができます。

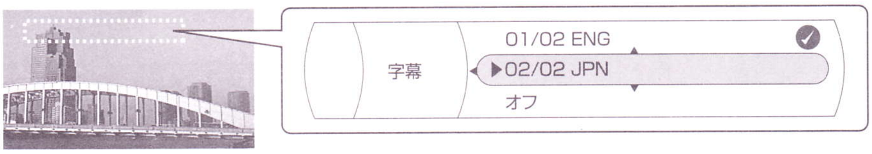
1 字幕ボタンを押す



2 カーソルボタン(▶)または決定ボタンを押す



3 カーソルボタン(▲／▼)で字幕言語を選択し、決定ボタンを押す



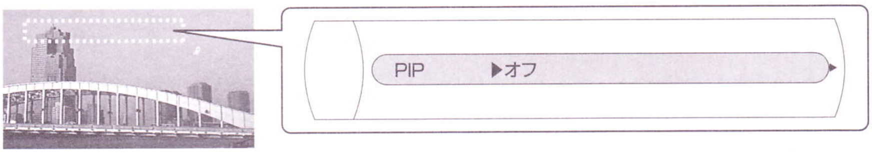
ご注意

- 設定操作中に何も操作しない時間が約8秒間続くとキャンセルされます。その場合は最初からやり直してください。
- ディスクによっては自動表示されるものもあり、画面から消すことはできません。
- この機能は対応ディスクのみ有効です。また、字幕言語数はディスクにより異なり、パッケージのマークに字幕内容が表示されています(字幕が2種類の場合：2)。
- DVDによっては、ディスク内に収録されているメニューで字幕の設定をするものもあり、操作方法が異なります。DVDに付属の取扱説明書をご確認ください。
- 電源を切ると、セットアップメニューの「言語設定」>「字幕言語」で選択されている字幕言語に戻ります。
- この機能は字幕を含んだディスクのみ有効です。また、選択された言語がディスクに含まれていないときは、ディスクに入っている言語が選ばれます。
- 変更した字幕(言語)が表示されるまでに多少時間がかかる場合があります。

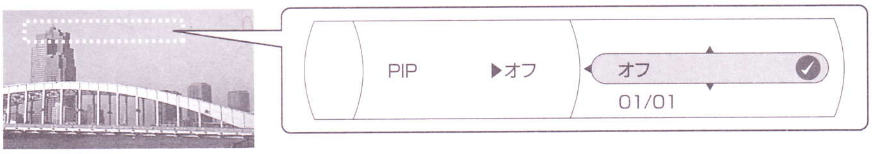
PIP(ピクチャー・イン・ピクチャー)

PIP(ピクチャー・イン・ピクチャー)モードでの再生が可能なBDの場合は、PIPボタンを押すことで、PIPのオン・オフが設定できます。

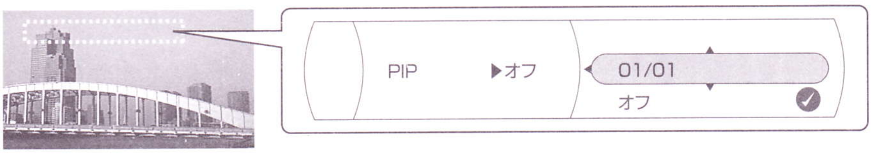
1 PIPボタンを押す



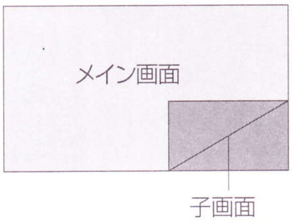
2 カーソルボタン(▶)または決定ボタンを押す



3 カーソルボタン(▲／▼)で設定したい項目を選択し、決定ボタンを押す



PIPモードでは下のように画面内に小さな子画面が表示されます。



※子画面の表示内容や位置はディスクにより異なります。

ヒント

- 途中で操作を中止するには、もう一度PIPボタンを押します。

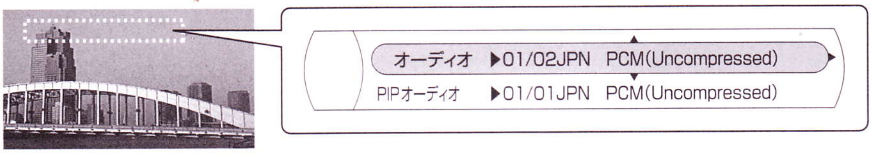
ご注意

- 何も操作しない時間が約8秒間続くと設定操作がキャンセルされます。その場合は最初からやり直してください。
- この機能はPIPモードを含んだBDのみ有効です。
- ディスクにより機能しない場合があります。

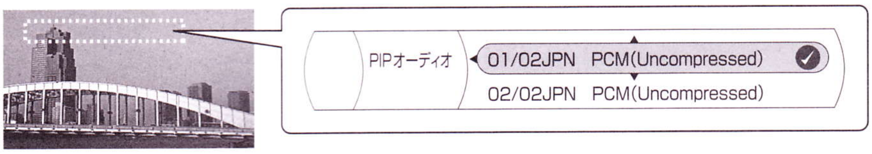
PIP音声の選択

子画面用音声言語を含んだPIP対応のBDを再生している時は、PIP音声ボタンで、子画面の音声を切り換えることができます。

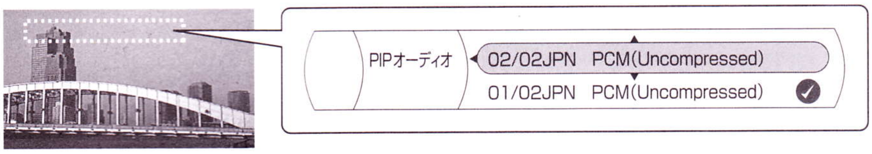
❶ PIP音声切換ボタンを押す



❷ カーソルボタン(▲／▼)でPIPオーディオを選び、カーソルボタン(▶)または決定ボタンを押す



❸ カーソルボタン(▲▼)でお好みの音声を選択し、決定ボタンを押す



ヒント

●途中で操作を中止するには、もう一度PIP音声切換ボタンを押します。

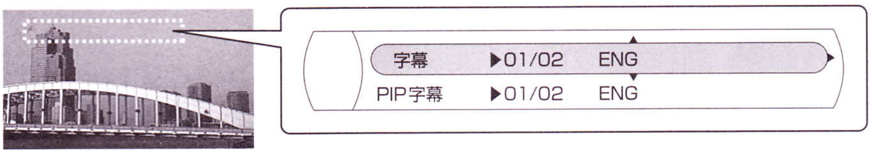
ご注意

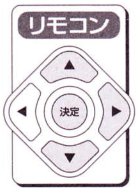
●何も操作しない時間が約８秒間続くと設定操作がキャンセルされます。その場合は最初からやり直してください。
●この機能はPIPモードを含み、かつPIP内に複数の音声が設定されたBDのみ有効です。
●ディスクにより機能しない場合があります。

PIP字幕の選択

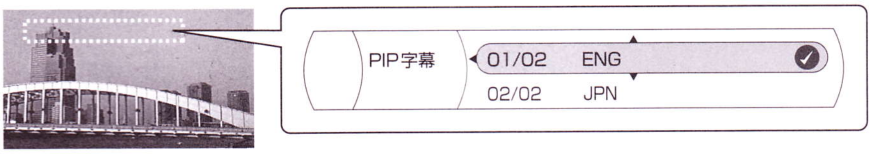
子画面用字幕言語を含んだPIP対応のBDを再生している時は、字幕ボタンで、子画面の字幕を切り換えることができます。

❶ 字幕ボタンを押す

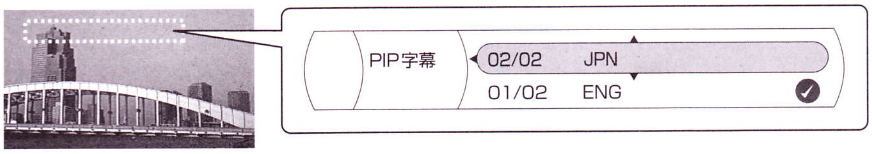




❷ カーソルボタン(▲▼)でPIP字幕を選び、カーソルボタン(▶)または決定ボタンを押す



❸ カーソルボタン(▲▼)でPIP字幕の言語を選択し、決定ボタンを押す

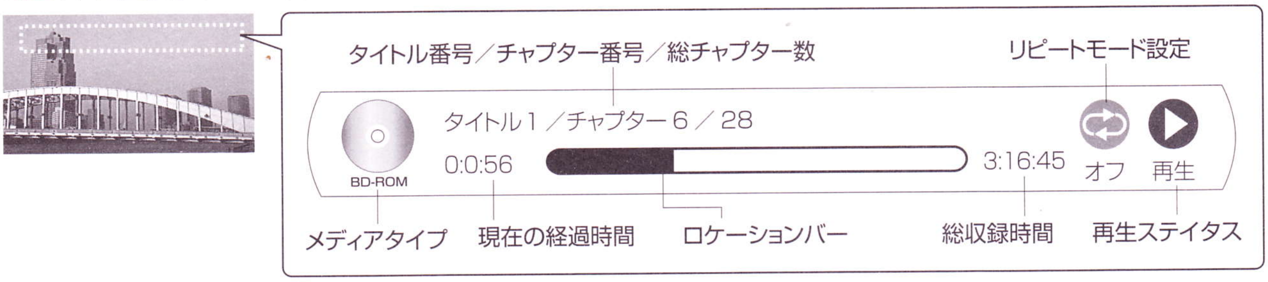


ご注意

●設定操作中に何も操作しない時間が約８秒間続くとキャンセルされます。その場合は最初からやり直してください。
●ディスクによっては自動表示されるものもあり、画面から消すことはできません。
●この機能は対応ディスクのみ有効です。
●BDによっては、ディスク内に収録されているメニューで字幕の設定をするものもあり、操作方法が異なります。BDに付属の取扱説明書をご確認ください。
●この機能はPIP内に字幕を含んだディスクのみ有効です。また、本機で設定した言語がディスクに含まれていないときは、ディスクに入っている言語が選ばれます。
●変更した字幕(言語)が表示されるまでに多少時間がかかる場合があります。

画面表示

再生中に画面表示ボタンを押すと、そのディスクに関する様々な情報を表示することができます。

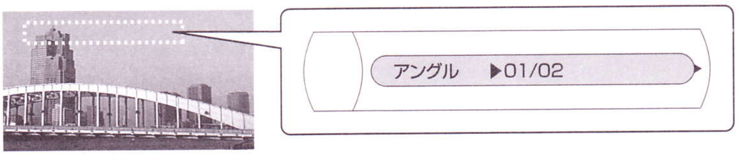


ヒント
●メディアの種類によって表示内容が異なる場合があります。
●画面表示を消すには、もう一度画面表示ボタンを押します。

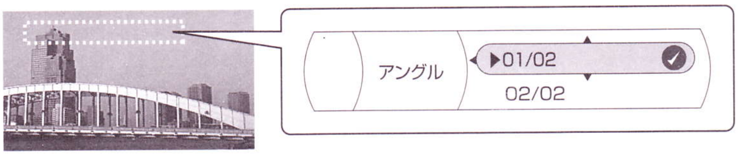
アングル

複数のカメラアングルでの映像が収録されているディスクの場合、アングルボタンを押すことで、別アングルからの映像を楽しむことができます。

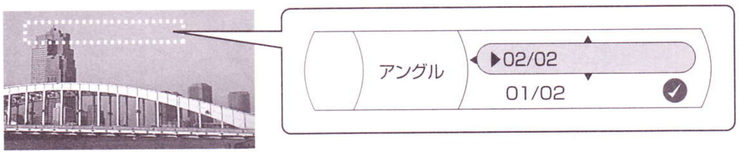
❶ アングルボタンを押す



❷ カーソルボタン(▶)または決定ボタンを押す



❸ カーソルボタン(▲／▼)でアングル番号を選択し、決定ボタンを押す

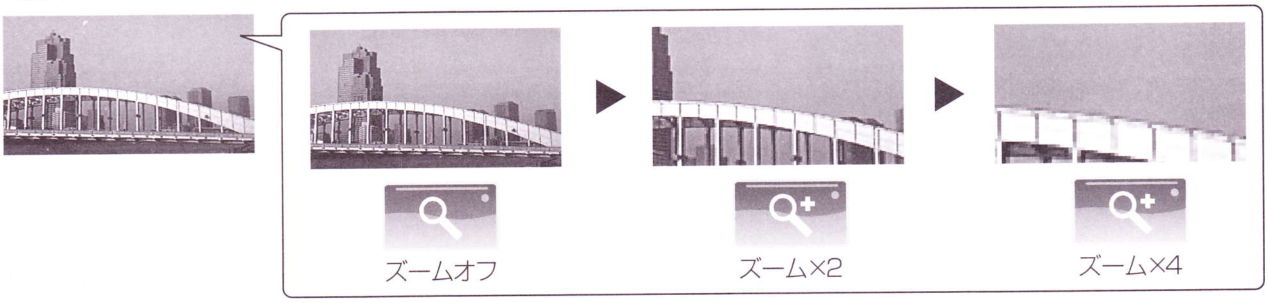


ヒント
●途中で操作を取り消すには、もう一度アングルボタンを押します。

ご注意
●この機能は対応ディスクのみ有効です。また収録されているアングル数はディスクにより異なり、パッケージのマークにその数が表示されています(アングル数が2の場合：2)。
●アングルボタンを押した時に、無効マーク(⊘)が表示された場合は、カメラアングルを変更することはできません。
●ディスクにより、別アングルからの映像の表示方法は異なります。アングルマーク(例／)を表示するものもあります。
●ディスクによっては別アングル映像の収録が部分的であったり、アングルの切り換えができない場合があります。

ズーム

再生中にリモコンのズームボタンを押すと、映像を拡大表示されます。押すたびにズームオフ、2倍、4倍と変化します。

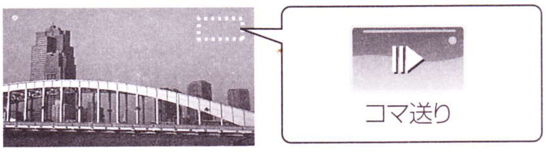


ヒントとご注意
●映像は画面の中央を中心点にして拡大されます。
●ズームを解除するには、ズームオフと表示されるまで、数回ズームボタンを押してください。
●多くのBDの場合、ズーム機能は利用できません。

ステップ(コマ送り)

リモコン
ステップ

再生中にステップボタンを押すと、押すたびに映像のコマが送られます。



ヒント

●通常の再生に戻すには、本機の再生／一時停止ボタン、またはリモコンの再生ボタンを押します。

メニュー

リモコン
メニュー

再生中または一時停止中にメニューボタンを押すと、ディスクメニューを表示します。この機能はディスクメニューが収録されているディスクのみ有効です。

●表示されたディスクメニューを見ながら、カーソルボタン(▲／▼／▶／◀)でお好みのメニューを選び、決定ボタンを押すと選択が確定します。

●ディスクによってはさらに次の階層へとメニューが展開しているものもあります。

ヒント

●ディスクメニューの画面内容や操作方法は、ディスクによって異なります。詳しくはディスクに付属している取扱説明書等をご参照ください。

ポップアップ／メニュー

リモコン
ポップアップ/メニュー

再生中または一時停止中にポップアップ／メニューボタンを押すと、ディスクのポップアップメニューまたはタイトルメニューを表示します。この機能はディスクにポップアップメニューやタイトルメニューが収録されているディスクのみ有効です。

●表示されたディスクメニューを見ながら、カーソルボタン(▲／▼／▶／◀)でお好みのメニューを選び、決定ボタンを押すと選択が確定します。

●ディスクによってはさらに次の階層へとメニューが展開しているものもあります。

ヒント

●ディスクメニューの画面内容や操作方法は、ディスクによって異なります。詳しくはディスクに付属している取扱説明書等をご参照ください。

レジューム機能について

本機
電源

リモコン
電源

DVDを再生中に本機またはリモコンの電源ボタンを押して電源を切った場合、次回電源を入れた際は、前回見ていたところから再生が始まります。

ご注意

●ほとんどのBDでは、この機能は使えません。

●ディスクによっては、電源を再度入れた際に、前回とは異なる音声モードで再生が始まる場合があります。

●停止中や一時停止中に電源を切った場合、ディスクトレイの開閉を行った後に電源を切った場合は、レジューム機能は使えません。

CDを聴く

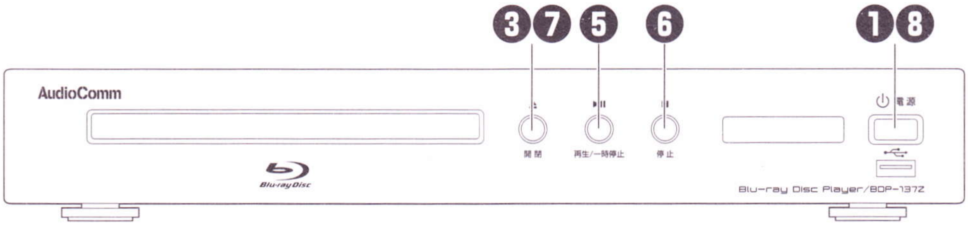
CDの基本操作

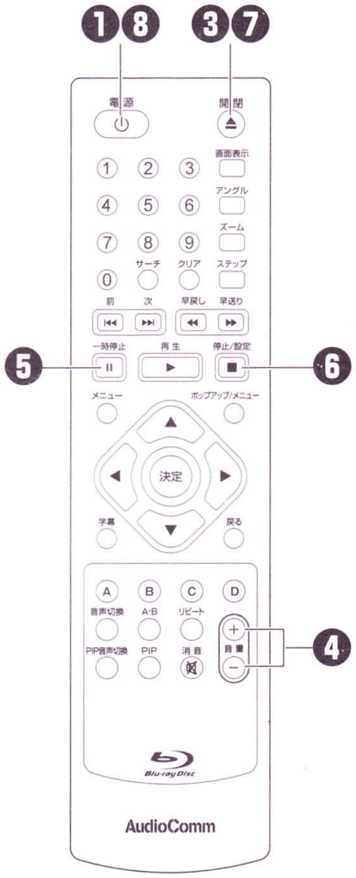
P.12～14を参照し、リモコンの準備、本機とテレビ・オーディオ機器等との接続（家庭用コンセントへの接続を含む）を正しく行ってから以下の操作をしてください。

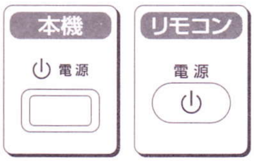
市販されている音楽ディスクと、CD-R/RWを使ってご自身で作成されたMP3等のディスクでは、操作できる内容や表示内容が異なります。P49～の「その他のメディア」も合わせてご参照ください。

ご注意

- ディスクに汚れやキズがあると、画像が歪んで見えたり、再生が停止したりすることがあります。このような場合は、まずディスクを取り出して清掃してください。その後、本機の電源を切り、電源プラグをいったん抜いて差し直してから再生してみてください。
- 本機での再生に適していないディスクを挿入した場合、ディスクトレイが開き、再生に至らない場合があります。ディスクの損傷の有無や、ディスクタイプ、ファイル形式をご確認のうえ、本機での再生に適したものをご使用ください。
- 携帯電話を本機やテレビの近くで使用しないでください。音声に異音が入ったり、テレビにノイズは出たりする場合があります。
- 長期間使わない場合は、必ず電源を切り、家庭用コンセントから電源プラグを抜いてください。





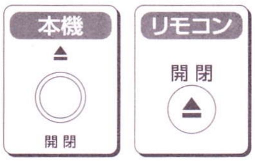


❶ 本機またはリモコンの電源ボタンを押す

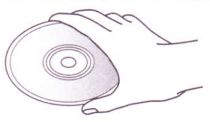
コンセントに電源プラグを差し込んだ直後の場合は、約30秒ぐらい経ってから、本体の電源ボタンかリモコンの電源ボタンを押して電源を入れてください。
電源が入ると本機のディスプレイに「H1」と表示され、ディスクの検索が始まります。ディスクがない場合は「no」と表示されます。

❷ 接続しているテレビやモニターの電源を入れ、接続に応じた入力モードに切り換える

HDMIケーブルで接続した場合や、AV接続コードで接続した場合など、それぞれに応じた入力モードをテレビ（モニター）側で設定してください。
正しく接続されるとセットアップ画面が表示されます。



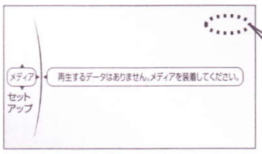
❸ 本機またはリモコンの開閉ボタンを押してディスクトレイを開け、ディスクをセットする



ディスクはレーベル面を上にしてセットしてください。

- セットが終わったら、もう一度本機またはリモコンの開閉ボタンを押して、ディスクトレイを閉めてください。
- トレイが閉まると、ディスプレイに「LOAd」と表示され、読み込みが終わると自動的に再生が始まります。

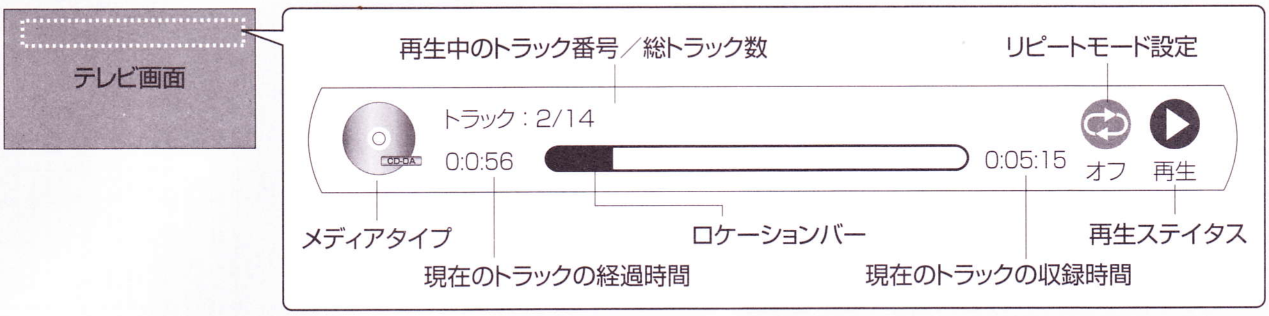
ディスプレイ



画面表示例

再生中の画面表示

※CD-R/RWの場合は表示内容が異なります。



ヒント

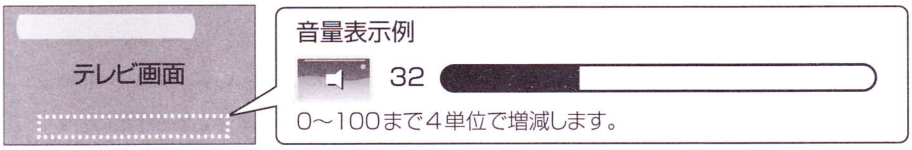
- メディアの種類によって表示内容が異なる場合があります。
- 上記の画面が表示されない場合は、リモコンの画面表示ボタンを押してください。画面表示ボタンで、表示のオンオフができます。

4 音量ボタン(＋／－)で音量を調節する

0～100まで4ステップで調節できます。

ヒント

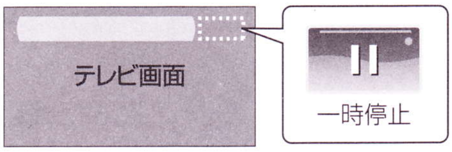
- 音量ボタンは、本機からテレビやモニターへ送り出す音声信号を調節するものです。
- 接続機器側の音量レベルが低いと、それ以上の音量にはなりません。
- 本機の音量レベルを少し高めに設定し、主として音量調整は外部の接続機器側で行うことをおすすめします。



5 再生中に一時停止するには

本機の再生／一時停止ボタン、またはリモコンの一時停止ボタンを押す

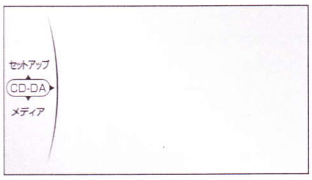
再生が一時停止します。一時停止を解除するには、本機の再生／一時停止ボタンをもう一度押すか、リモコンの再生ボタンを押します。

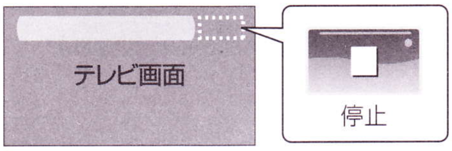


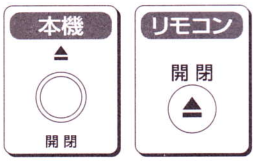
6 再生を停止するには

本機の停止ボタンまたはリモコンの停止／設定ボタンを押す

- 停止ボタンを押すと、トップ画面になります。



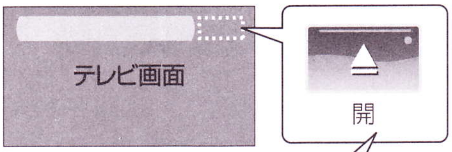


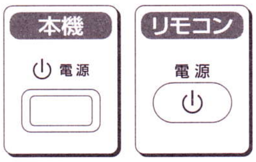


7 ディスクを取り出すには

開閉ボタンを押す

トレイが完全に手前に出てきたらディスクを持ち上げて取り出します。





8 電源を切る時は、本機またはリモコンの電源ボタンを押して切る

ヒント

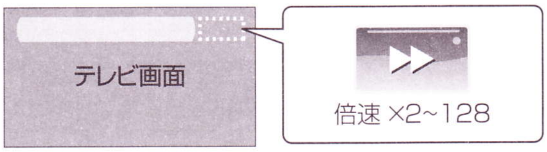
- ボタン操作によって画面右上に表示される再生、停止等のアイコンは約3秒後に消えます。

早送り・早戻し

リモコン
早送り

早送り

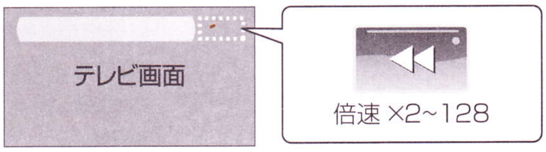
再生中に早送りボタンを押すと、早送りができます。
●ボタンを押すごとに早送りスピードが2倍、4倍、8倍、16倍、32倍、64倍、128倍となります。
●通常の再生に戻るには、本機の再生／一時停止ボタン、またはリモコンの再生ボタンを押します。
※早送り中も断片的に小さく再生音が出ます。



リモコン
早戻し

早戻し

再生中に早戻しボタンを押すと、早戻しができます。
●ボタンを押すごとに早戻しスピードが2倍、4倍、8倍、16倍、32倍、64倍、128倍となります。
●通常の再生に戻るには、本機の再生／一時停止ボタン、またはリモコンの再生ボタンを押します。
※早戻し中も断片的に小さく再生音が出ます。

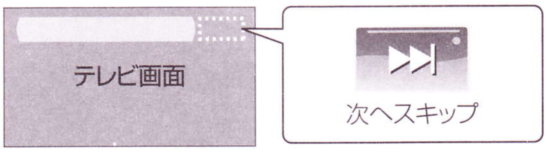


スキップ（⏭／⏮）

リモコン
次

スキップ（⏭）

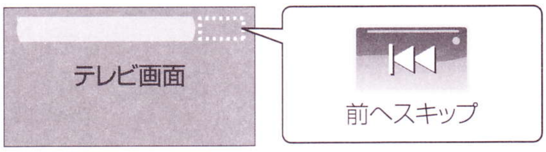
再生中にスキップボタン（⏭）を押すと、次のトラックに進んで再生します。



リモコン
前

スキップ（⏮）

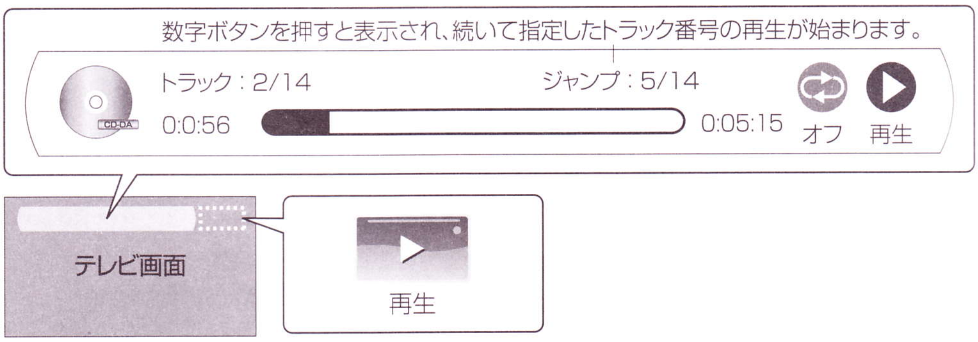
再生中にスキップボタン（⏮）を押すと、前のトラックに戻って再生します。



ジャンプ

リモコン
① ② ③
④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨
⓪

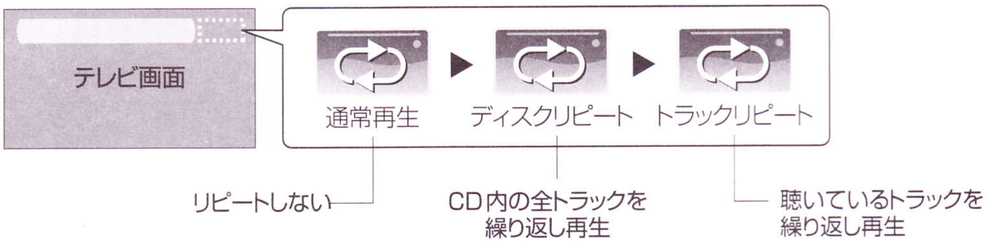
再生中または一時停止中に数字ボタンを使って任意のトラック番号を押すと、そのトラックにジャンプします。一時停止中に押した場合は、本機の再生／一時停止ボタンまたはリモコンの再生ボタンを押して、再生を再開してください。



リピート

リモコン
リピート

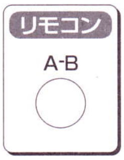
リピートボタンを押すと、現在聴いているトラックを繰り返し再生することができます。リピートボタンを押す回数によって、リピートモードを指定できます。再生中、一時停止中に操作してください



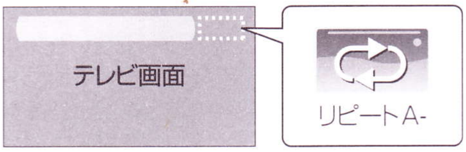
ヒント
リピートを解除するには、「通常再生」と表示されるまで、リピートボタンを数回押します。

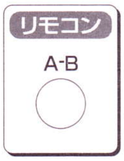
A-Bリピート

A-Bボタンを操作すると、現在聴いているトラックの２点間を指定して、繰り返し再生することができます。再生中に操作してください。



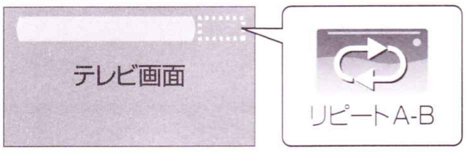
❶ A-Bリピートの開始点でA-Bボタンを押す





❷ 終了したいところでもう一度A-Bボタンを押す

指定したA-B間でリピート再生が始まります。

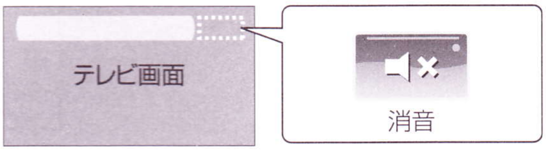


ヒントとご注意

- A-Bリピートを中止するには、もう一度A-Bボタンを押します(「通常再生」と表示され、通常の再生に戻ります)。
- ステップ１とステップ２の間隔が短いと、終了点を設定できない場合があります。ステップ１の「A-」のアイコンが消えた後、もう一度A-Bボタンを押してください。

消音

再生中に消音ボタンを押すと、一時的に音声出力を中断します。音声を元に戻すには、もう一度消音ボタンを押してください。



その他のメディア

CD-R/RWやUSBフラッシュメモリーに収録された映像・画像・音楽等のファイルを再生する場合にご参照ください。

ご注意

- ディスクタイプのメディアに汚れやキズがあると、画像が歪んで見えたり、再生が停止したりすることがあります。このような場合は、まずディスクを取り出して清掃してください。その後、本機の電源を切り、電源プラグをいったん抜いて差し直してから再生してみてください。
- 本機での再生に適していないメディアを挿入した場合、読み込みが続き再生に至らない場合があります。メディアの損傷の有無やタイプ、ファイル形式をご確認のうえ、本機での再生に適したものをご使用ください。
- 携帯電話を本機やテレビの近くで使用しないでください。音声に異音が入ったり、テレビにノイズは出たりする場合があります。
- データを損傷する恐れがあるため、USBフラッシュメモリーを抜き差しする際は、必ず本機の電源を切ってから行ってください。
- 長期間使わない場合は、必ず電源を切り、家庭用コンセントから電源プラグを抜いてください。

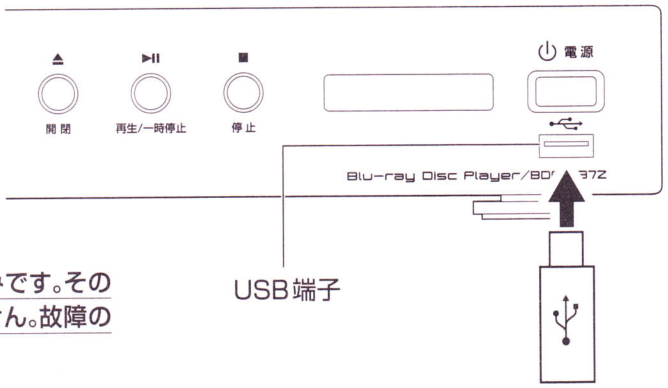
セッティング・接続方法

CD-R/RWなどのディスクタイプのもの → P.45を参照して、ディスクトレイにディスクをセットします。

USBフラッシュメモリーの場合

↓

本機正面のUSB端子に
USBフラッシュメモリーを差し込みます。

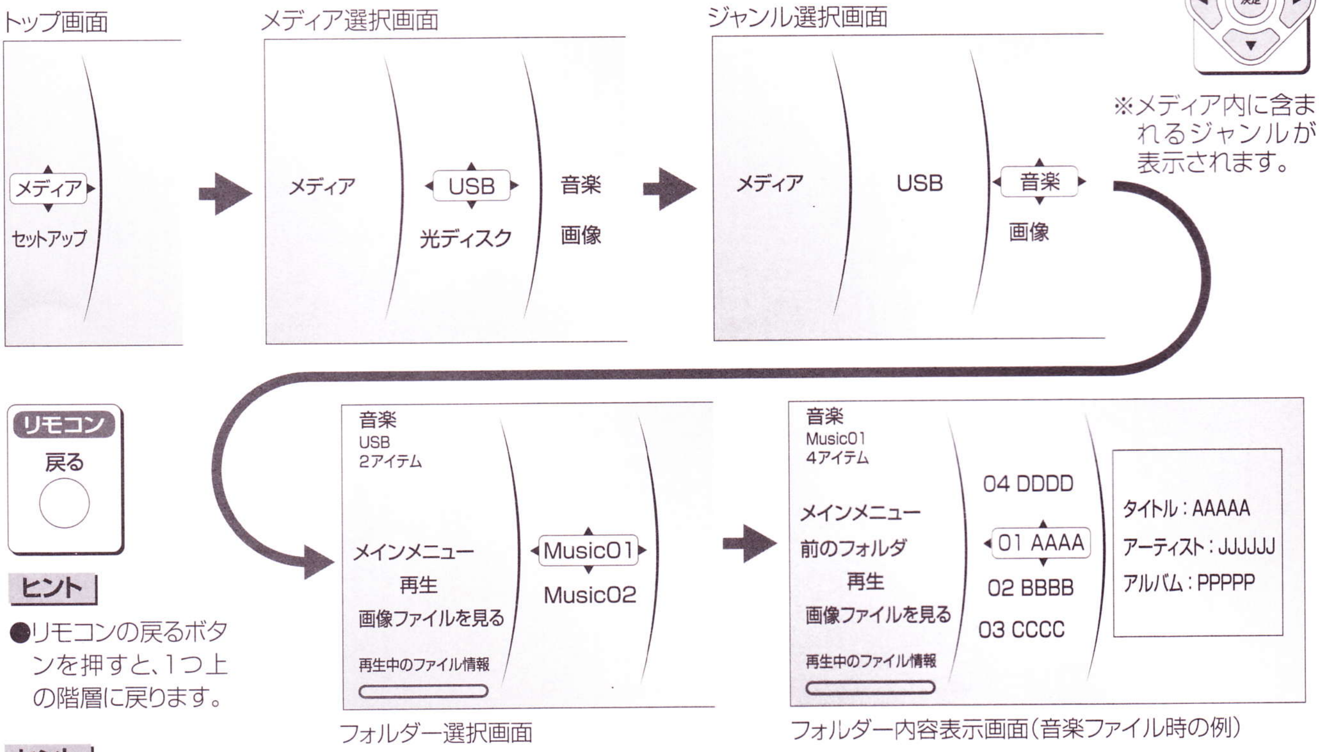


重要

USB端子に接続できるのはUSBフラッシュメモリーのみです。その他のUSB機器を接続した場合、動作の保証はいたしません。故障の原因になりますので、絶対にお止めください。

トップ画面（ホーム）の構成について

CD-R/RWやUSBフラッシュメモリー内のファイルは、トップ画面の「メディア」アイコンから、アクセスできるようになります。カーソルボタン（▲／▼／▶／◀）でカーソルを動かし、決定ボタンを押して選択してください。



ヒント

- リモコンの戻るボタンを押すと、1つ上の階層に戻ります。

ヒント

- フォルダーを選択時に ⊗ Emptyと表示されれ、ファイル選択時に「サポートされていないフォーマットです」と表示された場合は、ファイルがフォルダー内に存在しない、または存在する場合でも本機での再生に適さないファイルであることを示しています。

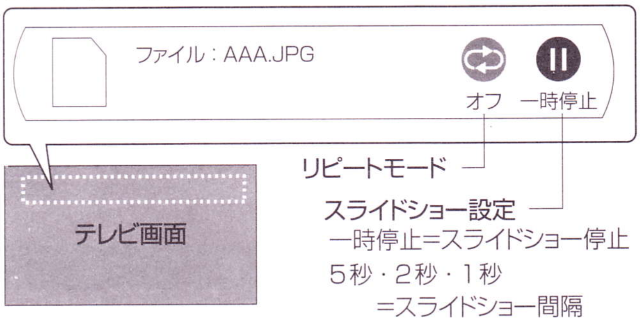
再生の基本操作

映像や音楽の再生操作は、基本的にBD・DVDや音楽CDと同じです。
「BD・DVDを見る」P.37～、「CDを聴く」P.45～をご参照ください。

画像の再生に関するボタン操作

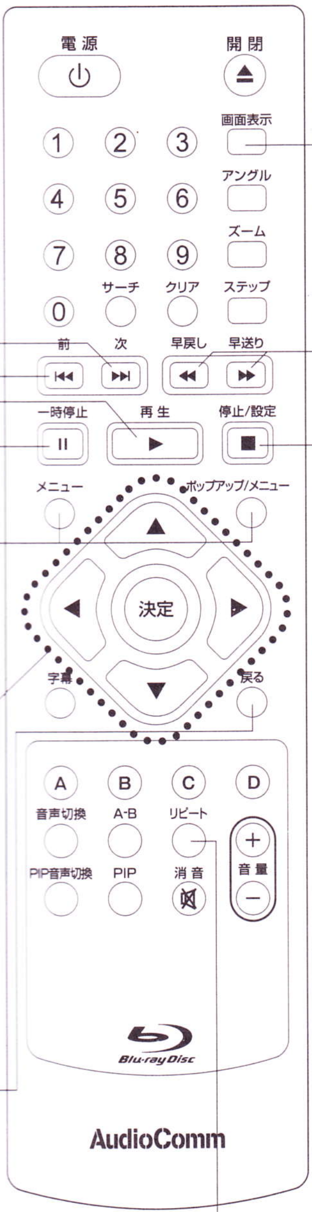
前ページの「トップ画面（ホーム）の構成について」を参照しながら、フォルダーや画像ファイルを選び、リモコンの決定ボタンを押すと、その画像が表示されます。

画面表示ボタン
ファイル情報を表示



リピートモード

スライドショー設定
一時停止=スライドショー停止
5秒・2秒・1秒
=スライドショー間隔



スキップ（⏭）ボタン
次の画像を表示

スキップ（⏮）ボタン
1つ前の画像を表示

再生ボタン
再生を開始

一時停止ボタン
スライドショーを開始／停止

メニューボタン
ポップアップ／メニューボタン
スライドショーの詳細設定

カーソルボタン（▲）
上の画像へ

カーソルボタン（▼）
下の画像へ

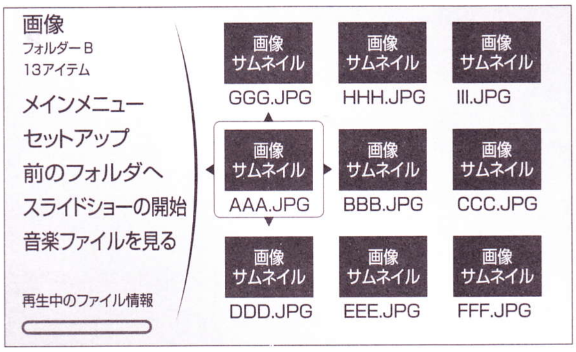
カーソルボタン（◀）
前の画像へ

カーソルボタン（▶）
次の画像へ

戻るボタン
- 画像表示を中止し、フォルダー内容表示画面に戻る
- 設定を中止する（スライドショーの詳細設定時）

早送り／早戻しボタン
スライドショー間隔を調整（オフ、1秒、2秒、5秒）

停止ボタン
画像表示を中止し、フォルダー内容表示画面に戻る



フォルダー内容表示画面では、カーソルボタン（▲／▼／▶／◀）で画像ファイルを選択できます。その後、決定ボタンを押すとその画像が表示されます。

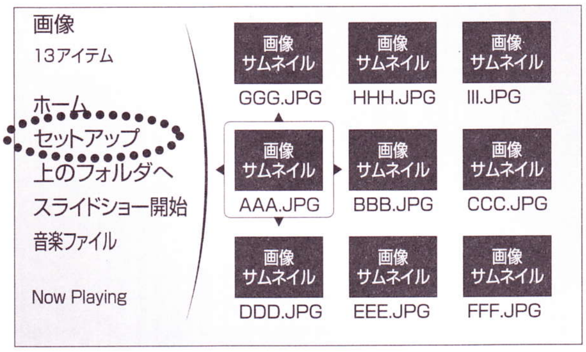
- **メインメニュー**…トップ画面に戻る
- **セットアップ**…スライドショーの設定をする
- **前のフォルダーへ**…1つ前のフォルダーに戻る
- **スライドショーの開始**…表示中のフォルダー内の画像をスライドショーで再生する
- **音楽ファイルを見る**…音楽ファイルの選択モードに移行する

リピートボタン
リピートモードの設定

ご注意

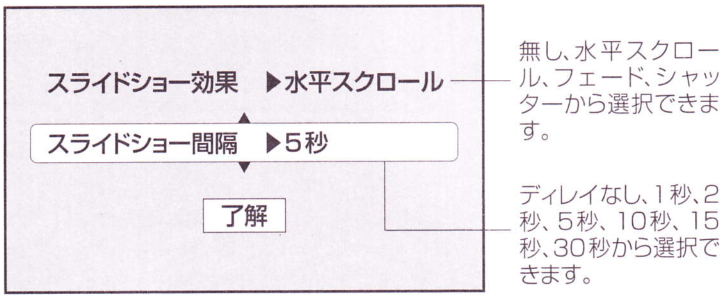
- スライドショー時やカーソルボタンによる画像の送り時間は、ファイルサイズ等によって時間がかかる場合があります。
- スライドショー時でもカーソルボタン（▶／◀）によって画像送りは可能ですが、押すタイミングによって意図通りに画像が送られない場合があります。
- 画像再生中にスライドショーに関する設定を変更しても、次ページで解説する「セットアップ」設定は変更されません。お好きな設定で常時スライドショー再生を行うには、次ページの「セッアップ」で設定を行ってください。

セットアップ（スライドショーの設定をする）



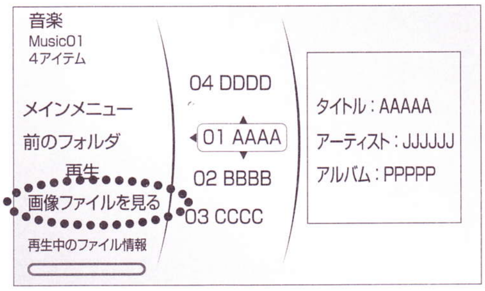
フォルダー内容表示画面の例

画像ジャンルのフォルダー選択画面またはフォルダー内容表示画面で、セットアップを選ぶと、スライドショーに関する設定ができます（リモコンのカーソルボタン（▲／▼／▶／◀）で項目を選択して、決定ボタンを押します）。各項目を設定したら、最後に「了解」を選んで決定ボタンを押すと確定します。



音楽を再生ながら画像を再生する

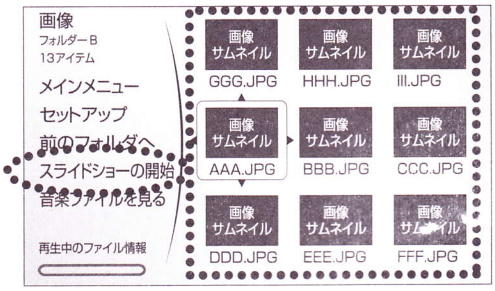
❶ 音楽再生中に戻るボタンを押す
音楽のフォルダー内容表示画面になります。この間も音楽の再生は続きます。



❷ リモコンのカーソルボタン（▲／▼／▶／◀）で「画像ファイルを見る」を選び、決定ボタンを押す

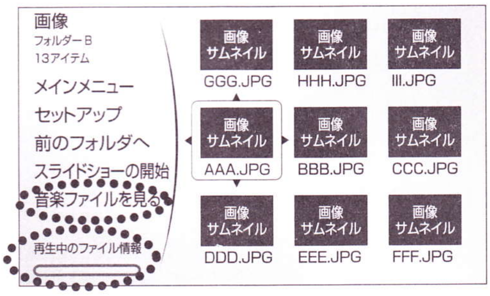
❸ リモコンのカーソルボタン（▲／▼／▶／◀）で再生したい画像ファイル、または「スライドショーの開始」を選び、決定ボタンを押す

- **画像ファイルを選んだ場合**…音楽を再生しながら、選んだ画像を表示します。
- **「スライドショーの開始」を選んだ場合**…セットアップでの設定に基づいてスライドショーを開始します。
  ※複数のフォルダーがメディア内に存在する場合は、再生したいフォルダーを選んだ後に「スライドショーの開始」を選択し、決定ボタンを押してください。



ヒント

●画像を再生中のボタン操作はすべて画像ファイルに対して有効になります。音楽ファイルを操作するには、戻るボタンを数回押して、フォルダー内容一覧表示画面まで戻り、「音楽ファイルを見る」または「再生中のファイル情報」を選択してから行ってください。



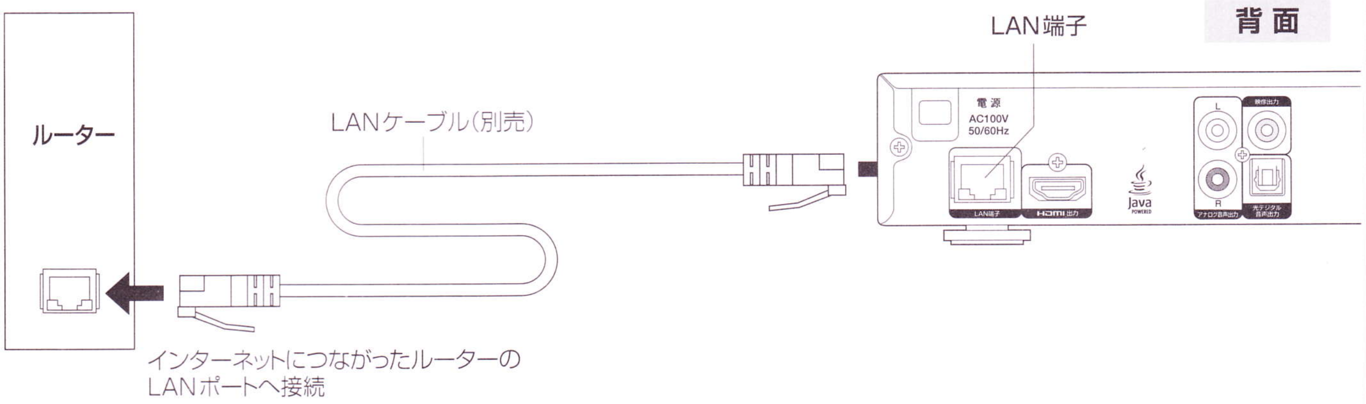
ネットワーク接続とBD-Live機能

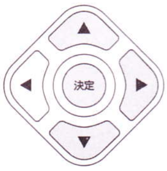
ネットワークへ接続する

ご家庭内のLANに接続することで、BDに付帯したBD-Liveなどのコンテンツを楽しめるようになります。

ご家庭にあるルーターと本機背面のLAN端子を、LANケーブル(別売)で接続する

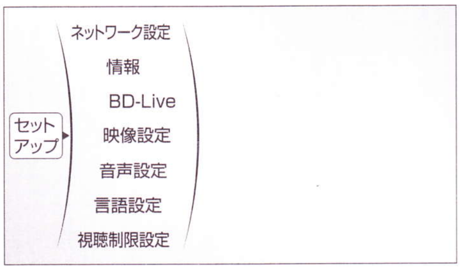
LANケーブルはカテゴリー5以上のタイプをご使用ください。

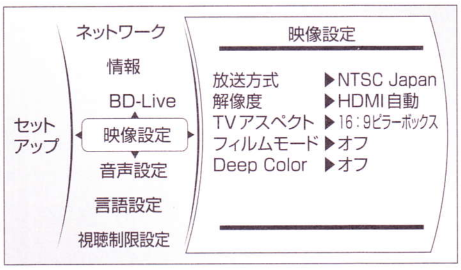




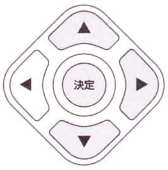
❶ セットアップが選ばれていることを確認して、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す

☞ディスクが挿入されている場合は、カーソルボタン(▲/▼)でセットアップを選んで、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す

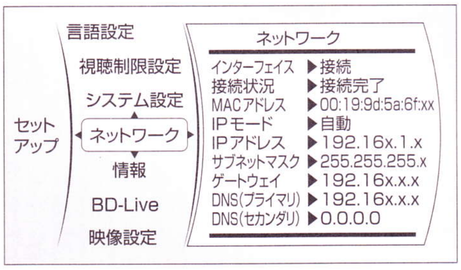


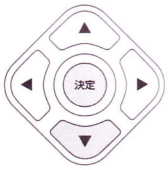


映像設定の内容一覧が表示されます。

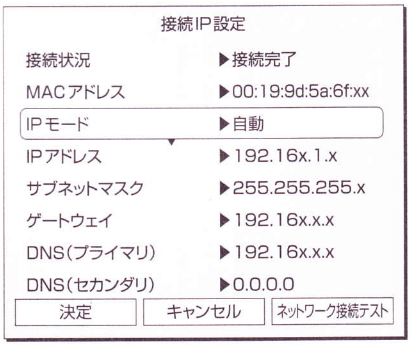


❷ カーソルボタン(▲/▼)を押してネットワークを選び、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押す





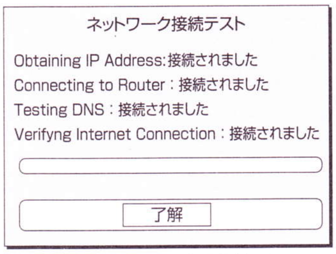
❸ 設定状況を確認した後、カーソルボタン(▼)を押して決定が選ばれていることを確認し、リモコンの決定ボタンを押す



決定ボタンを押すと、ネットワークへの接続テストが行われます。正常に接続されると、右の画面が表示されるので、リモコンの決定ボタンを押します(接続が完了し、ネットワークの画面に戻ります)。

ヒント

- 正しく接続できない場合は、次ページの手動による接続をお試しください。



ご利用のネットワーク環境によって、表示内容が異なる場合があります。

ネットワークへ接続する(つづき)

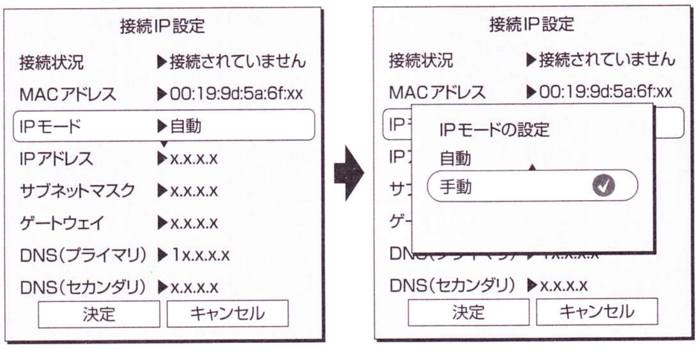
ヒント

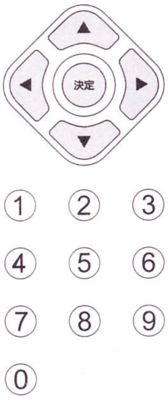
- 前ページのステップ2〜3で接続状況の表示が「接続されていません」と表示された場合は、接続が正しく行われていないことを意味します。その場合は、LANケーブルの接続やルーターの作動状況を確認した上で再試行してください。それでも正常に接続できない場合は、右で解説する「手動による接続方法」をお試しください。
- ネットワークへの接続テスト中に、「〜に接続できません」と表示された場合は、インターネットプロバイダーから提供されている各設定項目の情報やルーター等の取扱説明書をご確認の上、各設定項目を数字ボタンで入力して再試行してください。

手動による接続方法

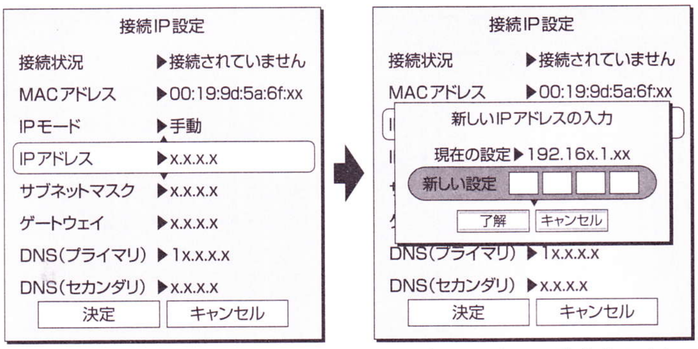
※前ページのステップ3以降の流れを解説します

❶ IPモードが選ばれていることを確認し、決定ボタンを押す。さらに、カーソルボタン(▲／▼)で手動を選び、決定ボタンを押す





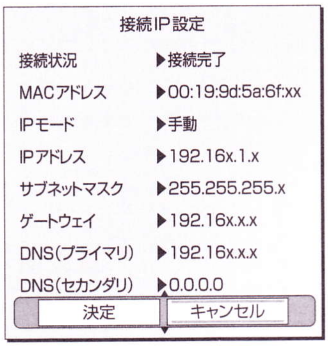
❷ カーソルボタン(▲／▼／▶／◀)と数字ボタン、決定ボタンを使ってIPアドレス〜DNS(セカンダリ)までの各項目を設定する



設定したい項目をカーソルボタン(▲／▼)で選び、決定ボタンを押します。

数字ボタンで新しい数値を入力し、カーソルボタン(▼／▶／◀)で了解を選んで、決定ボタンを押します。

❸ すべて入力し終わったら、カーソルボタン(▲／▼)で決定を選び、決定ボタンを押す

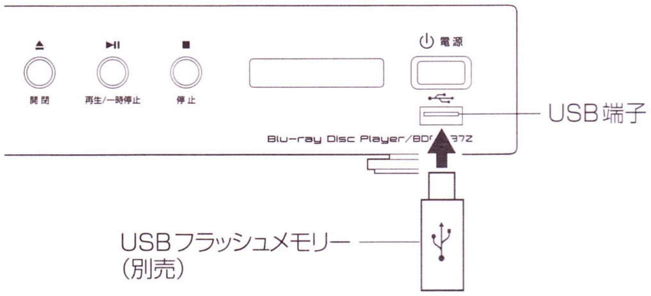


ネットワーク接続テストが実行されます。操作をキャンセルする場合は、カーソルボタン(▶)でキャンセルを選んで決定ボタンを押してください。

BD-Live 機能を使う

BD-Liveに対応した特典映像やオンラインゲームなどのコンテンツがBD内に含まれている場合、インターネットを経由してそれらをダウンロードして楽しむことができます。

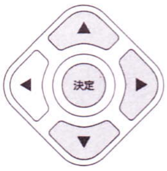
前面のUSB端子にUSBフラッシュメモリー（別売）を装着する
空き容量が1GB以上あるUSBフラッシュメモリーが必要です。



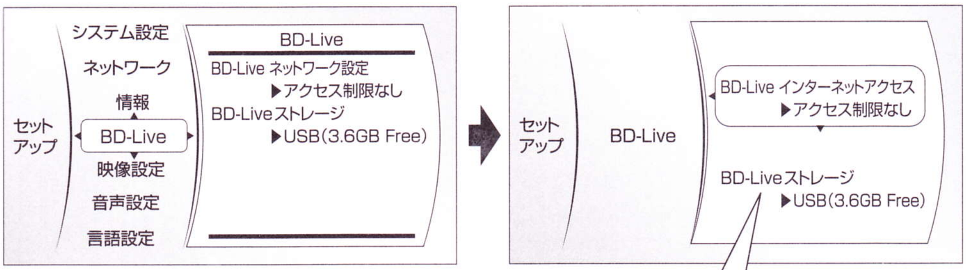
ご注意
- インターネットに接続している時に、ご使用中のBDが、本機やディスクの識別信号（ID）をコンテンツプロバイダーに送信することがあります。
- ダウンロードしたコンテンツの操作方法は、それぞれ異なります。ディスクに付属する取扱説明書やコンテンツプロバイダーのウェブサイト等をご確認ください。
- BD-Liveコンテンツによってはダウンロードに時間がかかる場合があります。また、ディスク、BD-Liveコンテンツ、またはお客様のネットワーク環境によっては、長時間何も表示されない場合があります。
- データを損傷する恐れがあるため、USBフラッシュメモリーを抜き差しする際は、必ず本機の電源を切ってから行ってください。

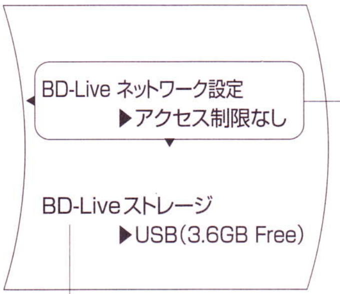
BD-Liveに関する設定

USBフラッシュメモリー（最大32GB／FAT32までのフォーマットに対応　空き容量1GB以上）が装着され、インターネットへ接続済みであれば、特に設定しなくてもBDのBD-Live機能をご利用いただけます。設定を変更する場合は下記をご参照ください。



セットアップ→BD-Liveと進み、設定したい項目を選んで決定ボタンを押す



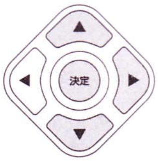


●BD-Liveコンテンツへの接続について設定します。

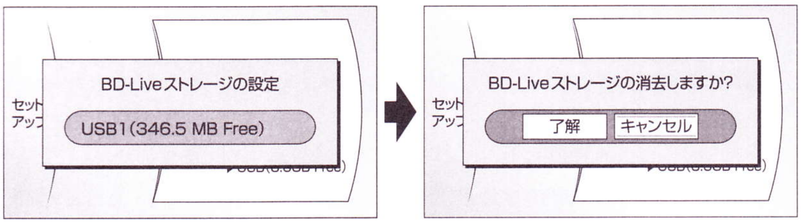
アクセス制限	有効なオンライン証明書があるBD-Liveウェブサイトのみ、コンテンツのダウンロードを許可。
アクセス制限なし	すべてのBD-Liveウェブサイト・コンテンツにアクセス可能。
アクセス禁止	BD-Liveウェブサイトへのアクセスを許可しない。

ご注意
正規のBDディスクを使う場合は問題ありませんが、違法にコピーされたBDディスクを使ってBD-Liveウェブサイトからコンテンツをダウンロードすると、本機に悪影響を与える恐れがありますので、ご注意ください。

●USBフラッシュメモリーの空き容量を表示します。



USBフラッシュメモリーの空き容量が足りない場合は、この項目をカーソルボタン（▼）で選んで決定ボタンを押すと、USBフラッシュメモリー内のBD-Liveデータを消去します。



USBフラッシュメモリーの確認画面が表示されるので、決定ボタンを押し、さらに次の画面で了解が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押します。

ヒント 本機にUSBフラッシュメモリーを接続すると、メモリー内にデータ保存用として「lstor」フォルダーが作成され、上記の操作では、このフォルダー内のデータを消去します。フォルダー自体はパソコン等にて消去しない限り、削除されません。

故障かなと思ったら

電　源

電源が入らない	●ACコードはコンセントに正しく接続されていますか。 ●コンセントに接続した直後の場合は、約30秒間待ってから電源を入れてください。
スタンバイモードになる	●本機は省電力のため、しばらく操作しない時間が続くと自動的に電源が切れる機能があります（自動電源オフ：初期設定では30分）。スタンバイモードになった時には電源ボタンを押してください。この機能は、セットアップ>一般設定>自動電源オフで変更できます（P.34参照）。

操　作

リモコンで操作できない	●本体のリモコン受光部に正しく向けて操作していますか。 ●リモコンと本体との間に、送信を妨げるような障害物がある場合は取り除いてください。 ●リモコンと本体との間に、色ガラスなど色彩を放つものがある場合は取り除いてください。 ●受光部に太陽光などの強い光が当たっていませんか。本機の位置を調整してください。 ●乾電池は消耗していませんか。新しい乾電池と交換してみてください。
機能が効かない	●ディスクによって操作できない機能もあります（例えば、再生時の冒頭にある警告メッセージ表示中は、スキップや早送り操作ができません）。 ●本体の結露かもしれません。電源を切り、1～2時間そのまま放置した後、再度確かめてください。 ●本機を初期化してみてください（P.35参照）。
再生が始まらない。または始まってもすぐに止まる	●ディスクを裏表逆にしてセットしていないか確認してください。 ●ディスクが傷ついていたり、汚れていないか確認してください。 ●空のディスク、または本機が対応していないディスクを入れていませんか。他のディスクでも試してみてください。
再生に時間がかかる	●停電後や、長時間電源コードがコンセントにつながれていた場合、またはHDMIでテレビなどと接続している場合、再生が始まるまでに多少時間がかかりますが、これは欠陥や故障ではありません。
ディスクを読み込み中にトレイが開く	●ディスクが傷ついていたり、汚れていないか確認してください。 ●本機が対応していないディスクを入れていませんか。他のディスクでも試してみてください。 ●本機を初期化してみてください（P.35参照）。
再生中に映像や音が途切れる。または一時停止する	●ディスクが傷ついていたり、汚れていないか確認してください。 ●本機を初期化してみてください（P.35参照）。
電源を入れ、メニュー画面は表示されるが、ディスクのアイコンが表示されない	●ディスクが傷ついていたり、汚れていないか確認してください。 ●本機を初期化してみてください（P.35参照）。
ディスク読み込み中にフリーズする	●ディスクトレイ開閉ボタンを押して、ディスクを取り出した後、本機を初期化してみてください（P.35参照）。 ●ディスクが傷ついていたり、汚れていないか確認してください。 ●フリーズが続くようであれば、本機が対応していないコンテンツがディスク内に含まれていることが考えられます。使用を控えてください。

映　像

映像が映らない 映像が歪む	●本機とテレビとの間で、映像端子が正しく接続されているか確認してください。 ●テレビがスクリーンセーバーモードになっていないか確認してください（テレビに付属している取扱説明書をご参照ください）。 ●本機の設定を初期化してみてください（P.35参照）。
映像が高解像度で出力されない	●AV接続コードで接続している場合、高解像度での出力はできません。HDMIケーブルを使って接続してください。 ●解像度を正しく設定しているか確認してください（P.18参照）。
アスペクト比4:3の映像が左右広がって見える。画像サイズが正しくない	●テレビ側のアスペクト比を変えてみてください（テレビに付属している取扱説明書をご参照ください）。 ●本機のアスペクト比を4：3パンスキャンに変えてみてください（P.18～19参照）。
画質の設定を変更しても変化が見られない	●ビデオタイプによっては画質に際だった変化が見られない場合があります。

その他

映像や音声が、一瞬止まることがある	●チャプターが切り換わるときに、一瞬映像や音声が止まることがありますが、故障や欠陥ではありません。 ●2層ディスクをご利用の場合、レイヤー切換時に一瞬映像や音声が止まることがありますが、故障や欠陥ではありません。
BDやDVDディスクを再生できない	●リージョンコードが対応しているか確認してください。 ●視聴制限レベルが正しく設定されているか確認してください(P.31参照) ●BDによってはHDMI接続でしか再生できないものがあります。
PIPが表示されない	●お手持ちのBDがPIPモードに対応しているか確認してください。
字幕が表示されない	●本機の字幕設定が「無し」になっていないか確認してください(P.28参照)。 ●ディスク側のメニューで字幕表示ができるか確かめてください(ディスクに字幕が含まれている場合、通常はディスクメニューでも表示のオン／オフが設定できます)。

BD-Live

BD-Liveのコンテンツにアクセスできない	●お使いのBD-Liveディスクが正規のものかご確認ください。 ●ネットワーク接続が正常に行われているかご確認ください(P.52～54参照)。 ●本機での利用に適したUSBフラッシュメモリーが正しく接続されているか。また、空き容量が1GB以上あるか、ご確認ください。
BD-Liveのコンテンツをダウンロードできない	●お使いのBD-Liveディスクが正規のものかご確認ください。 ●ネットワーク接続が正常に行われているかご確認ください(P.52～54参照)。 ●本機での利用に適したUSBフラッシュメモリーが正しく接続されているか。また、空き容量が1GB以上あるか、ご確認ください。 ●必要に応じてUSBフラッシュメモリー内のデータを消去してみてください(P.35～36、P.54参照)。 ●他のUSBフラッシュメモリーで試してみてください。

ヒント 本機が動くなった、または操作に反応しなくなった場合は、一度電源プラグをコンセントから抜き、しばらく経ってから再度電源を入れ直してみてください。

よくあるご質問

Q 7.1chや5.1chのサラウンド音声を楽しむために必要な機器は?

A ドルビーデジタルのあるAVアンプと、HDMIまたは光デジタルで接続します。

Q 海外でも使用できますか?

A 本機は国内でのみ使用できます。

Q 海外で買ったBDやDVDビデオを再生できますか?

A BDの場合はリージョンコード「A」が含まれるもの。DVDの場合は、リージョンコードが「2」を含むか「ALL」で、映像方式がNTSCであれば、再生できます。ディスクのジャケットをご確認ください。

Q ヘッドホンは接続できますか?

A 本機には接続できません。テレビやオーディオ機器にヘッドホン端子があれば、そちらに接続してお楽しみください。

Q 病院で使えますか?

A 本機が出す電磁波により、医療機器に影響を与えるおそれがあります。病院の指示に従ってください。

主な仕様

電　源	本体：AC100V　50/60Hz　　リモコン：単4形乾電池×2本		
消費電力	16W（待機時消費電力1W）		
外形寸法	幅320×高さ53×奥行210mm（突起物含まず）		
許容動作温度	5～35℃	許容動作湿度	10～80%
質　量	約1.6kg（本体）		
付属品	リモコン、動作確認用単4形乾電池（2本）、AV接続コード（RCA）、取扱説明書（保証書付）		

テレビ方式	NTSC
映像出力	1系統　ピンジャック　1.0Vp-p(75Ω)
音声出力(アナログ)	ステレオ2チャンネル　ピンジャック　2Vrms(1kHz、0dB)
音声出力(デジタル)	光デジタル端子(1)
HDMI出力	タイプA（19ピン）　1080p、1080i、720p、480p、480i　1系統

メディア		BD-ROM、BD-R/RE、DVD-Video、DVD-R/RW、DVD+R/RW、CD-R/RW
映像ファイル要件		
	最大解像度	1920×1080ピクセル(W×H)
	拡張子	ビデオエンコード(MPEG-2、MPEG-4 AVC/H.264、AVCHD、VC-1)で作成した.wmv、.avi、.mp4、.mpeg、.mkv、.vob
	音声フォーマット	Dolby Digital、DTS、WMA、AAC、AC-3
	サンプリング周波数	32～48kHz(WMA)
	ビットレート	20～320kbps(WMA)
	ディスクフォーマット	ISO9660+JOLIET、UDF、UDF Bridge
	ファイル/フォルダー数	最大2000（ファイル数＋フォルダー数）※ファイル名・サブタイトルの文字数は180文字まで　※1バイト文字換算
	備考	WMAおよびACCオーディオファイルは再生できない場合があります。
WMA音声ファイル要件		
	拡張子	.wma
	音声フォーマット	Dolby Digital、DTS、WMA、AAC、AC-3
	サンプリング周波数	8～48kHz(WMA)
	ビットレート	8～320kbps(WMA)
	ディスクフォーマット	ISO9660+JOLIET、UDF、UDF Bridge
	ファイル/フォルダー数	最大2000（ファイル数＋フォルダー数）
	備考	WMAファイルの大きさや数によっては、読み込み完了までに時間がかかる場合があります。
画像ファイル要件		
	拡張子	.jpg、.jpeg、.png
	推奨サイズ	4000×3000×24bit／pixel以下、または3000×3000×32bit／pixel
	ディスクフォーマット	ISO9660+JOLIET、UDF、UDF Bridge
	ファイル/フォルダー数	最大2000（ファイル数＋フォルダー数）
	備考	プログレッシブ、ロスレス圧縮した画像ファイルはサポートしておりません。 WMAファイルの大きさや数によっては、読み込み完了までに時間がかかる場合があります。

商標・登録商標など

Blu-ray Disc、Blu-ray、およびBlu-ray DiscロゴはBlu-ray Disc Associationの商標です。

DVDロゴはDVDフォーマットロゴライセンシング(株)の商標です。

HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing,LLCの米国とその他の国における商標または登録商標です。

DOLBY・ドルビー・およびダブルDマークはドルビーラボラトリーズの商標です。

マークは音楽用CDの統一マークです。

Java、およびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他における米国Sun Microsystems,Inc.の商標または登録商標です。

DTSは、DTS,Inc.の登録商標です。DTS-HD　Advanced Digital Outは、DTS,Inc.の商標です。
Manufactured under license under U.S. Patent #' s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380;5,978,762; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS and the Symbol are registered trademarks, and DTS-HD, DTS-HD Advanced Digital Out, and the DTS logos are trademarks of DTS,Inc. Ptoduct includes software. ©DTS, Inc. All Rights Reserved.

・"AVCHD"および""AVCHD"ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
・BD-Live（BDライブ）とBD-Liveロゴ、BONUSVIEW（ボーナスビュー）は、Blu-ray Disc Associationの商標です。

お手入れのしかた

⚠お手入れの際には必ず電源の配線をはずしてください。感電の原因となることがあります。

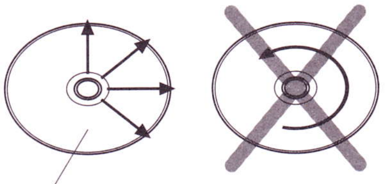
キャビネットとリモコンの清掃

キャビネットやパネル操作面が汚れたら、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときには、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布につけてふき、あとはからぶきしてください。

ディスクのお手入れ

本機にセットする前に、再生面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。必ず内側から外側に放射状にふいてください。

- ●シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーやスプレー静電防止剤は絶対に使用しないでください。
- ●キャビネットやパネル操作面をシンナーやベンジン、アルコールなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
- ●他の洗剤等をお使いになるときは、その注意書に従ってください。



保証書とアフターサービス

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容および「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より１年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- ●弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- ●取扱説明書（本書）を守らないことによって生じた破損、故障、その他の損害
- ●本製品によって生じたデータの消失または破損
- ●本製品のために費やした時間および経費
- ●本製品を運用した結果もたらされた損害
- ●本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果および利益の損失
- ●本製品をご使用になって生じたあらゆる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

BD-Liveおよびネットワーク利用に関連する免責事項

- ●弊社はBD-Live機能および本製品を利用したインターネットへのアクセスに関して、コンテンツ利用の結果、または利用できない結果生じるいかなる損害についても、理由の如何を問わず何らの保証もいたしません。また、インターネットおよびウェブサイトの絶対的な安全性は確保できないため、不正アクセス、ハッキング、データの喪失等不正行為の結果生じる一切の損害についても、責任は負いません。
- ●本製品と接続した機器に通信障害等の不具合が生じた場合の結果について、弊社は一切の責任を負いません。
- ●火災、地震などの自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- ●インターネットを介して提供されるサービスは、予告なく一時停止したり、サービス自体が終了される場合がありますのでご了承ください。

用語解説

用　語	説　明
BD-Live	インターネットを経由して、特典映像やオンラインゲームなどのコンテンツを楽しめるBDの機能のひとつ。利用するには、BD-Live機能に対応したBDと保存用のUSBフラッシュメモリーが必要です。
CPRM	コピー制限のあるテレビ番組を記録するときに使われている著作権保護技術のことです。詳しくはP.8の「ディスクの構成について」の項を参照してください。
DTS	Digital Theater Systemの略です。デジタルシアターシステムズ社が開発したデジタル音声システムです。音声6chを使って、正確な音場定位と臨場感のある音響効果が得られます。DTS対応プロセッサやアンプとの接続で、映画館のような音声が楽しめます。ドルビーデジタルとは異なるサラウンドシステムです。
HDMI	一本のケーブルで、映像と音声のデジタル信号をやり取りできるインターフェース(接続)規格。従来のように音声と映像の複数のケーブルは必要なく、データの劣化も低いことから、多くのAVマルチメディア機器で採用されています。
JPEG	Joint Photographic Expert Groupの略で、ジェーペグと読みます。静止画像などを圧縮、伸長させる機能を持ったアルゴリズムです。
MP3	音楽·音声のためのデジタル圧縮ファイルフォーマットのひとつ。データを極端な音質の劣化を伴わずに圧縮でき、パソコンをはじめ、CDプレーヤーDVDプレーヤーでの再生も容易なことから現在の主流フォーマットのひとつになっています。
MPEG	Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは動画音声圧縮方法の国際標準です。DVDの画像／音声はこの方法で記録されています。
PCM	Pulse Code Modulation(パルス符号変調)。音声などのアナログ信号をパルス列に変換するパルス変調の一つ。
PIP(ピクチャーインピクチャー)	テレビやパソコンの画面に、子画面を重ねて表示する機能のこと。画面四隅のいずれかに配置されることがよくあります。
RCA端子·コード	中心部に金属のピンがあり、周囲に切込みのはいった金属がついている、AV機器接続用の端子·コード。本機に付属しているAV接続コードはステレオ音声左(白)、ステレオ音声右(赤)、映像(黄色)の各端子を、本機と外部機器、それぞれ同色の端子と接続すれば使うことができます。
VRモード	P.8を参照してください。
アングル	同じ映像を角度を変えて撮影したものを、一枚のディスクに収録し、アングルを変えて再生画像を楽しめます。ディスク側にこのデータが含まれていないとこの機能は使えません。
インターレース	映像を描画する際に、2回に分けて信号を伝送する方式。インターレース対応テレビの多くは奇数の走査線と偶数の走査線に分けて伝送しています。
解析度	本機からテレビやモニターに送り出す映像データの細かさを設定します。
視聴制限	BDやDVDの中には、ディスクを見るための規制レベルが設定されているものがあります。ディスクを再生したときの規制レベルを本機は設定することができます。
スクリーンセーバー	テレビやモニターの焼き付けを防ぐために、一定時間静止画像が続くと、自動的に簡単な動画(またはアニメーションなど)が起動する機能です。
セットアップメニュー	本機でディスクを再生して楽しむための、映像·音声に関する出力設定や視聴制限(ペアレンタルレベル)などを設定します。
タイトル	BDやDVDに複数の映画などが入っているときなど、各映画の題名(タイトル)などをいいます。
ダウンミックス	音声をより少ないチャンネル数で再生するための機能や方式のことです。
チャプター	タイトルの中にある章をチャプターといいます。
ディスクメニュー	BDやDVDに記録されているメニューで、字幕の言語や吹き替え音声などを選ぶことができます。
トップメニュー	BDやDVDで、再生するチャプターや字幕の言語などを選ぶメニューのことです。トップメニューを「タイトル」と呼ぶものもあります。
トラック(ファイル)	音楽用CDの各曲やJPEGデータの各画像をトラック(ファイル)といいます。
ドルビーデジタル(5.1ch)	ドルビーラボラトリーズが開発した、5.1chの独立したマルチチャンネルオーディオシステムです。このシステムは映画館にサラウンドシステムとして採用されているドルビーデジタルと同一のシステムです。ドルビーデジタルを楽しむには、本機の光デジタル音声出力端子とドルビーデジタル対応アンプの光デジタル音声入力端子を接続することが必要です。
ドルビーデジタル(7.1ch)	ドルビーデジタル(5.1ch)は、通常、サブウーファー、センタースピーカー、フロントスピーカー(左右)、サラウンドスピーカー(後方左右)で構成されますが、これにサラウンドバックスピーカー(後方左右)を加えたシステムのこと。5.1chよりもさらに優れた臨場感ある音響効果を楽しむことができます。
パンスキャン	4:3のテレビと本機を接続し、ワイド(16:9)の映像を再生したときに、再生画像の左右をカットし4:3のサイズにする機能です。
ビットストリーム	デジタル化された信号をそのまま伝送する方式のことです。
ピラーボックス	4:3の映像をワイドテレビで見るときに、左右に帯を入れて映します。
プログレッシブ	映像を描画する際に、一度にすべての信号を伝送する方式。静止画やグラフィックスなどで、ちらつきを抑えた画像を楽しめます。
ポップアップメニュー	BDの再生中に、再生を止めることなくディスクのメニューを表示させる機能のこと。そのままカーソルボタンで選び、決定ボタンを押すことで、好きなコンテンツにジャンプできます。BDがポップアップメニューに対応していることが必要です。
リージョンコード	BDやDVDは、各国に合わせて再生できるソフトが決められています。その再生できるディスクの番号をリージョンコードといいます。
レターボックス	4:3のテレビと本機を接続し、ワイド(16:9)の映像を再生したとき、上下に帯を入れて表示します。

PUBLIC LICENSE

This product contains software that is subject to the GNU Public License Version 2 (GPL2). You can obtain a copy of the GPL License from
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html.
If you require additional information or you wish to receive source code, please call the Digix support line at 1-877-467-4289. The source code is available for a period of three (3) years from the date of the distribution of this product by Digix.

GNU PUBLIC LICENSE

The BD player runs software that is covered under the GPL. As such, we are required to publish the following:
GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2, June 1991
Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301, USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to usinit. (Some other Free Softwareg Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.
When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.
To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights.
These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.
For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.
We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.
Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.
Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.
The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each li censee is addressed as "you".
Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.
1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.
You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.
2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the file s and the date of any change.
b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.) These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.
Thus, it is not the intent of thissection to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.
In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:
a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)
The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.
If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.
4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.
6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.
7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues),
conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.
If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.
It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.
This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.
8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.
10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

Disclaimer

This Digix product may contain content and/or services that belong to a third party. Such third party content and/or service may only be used in compliance with the terms and conditions that govern such use. Unless expressly authorized by the applicable third party's terms of use, you may not modify, copy, republish, upload, post, transmit, translate, sell, create derivative works, exploit, or distribute in any manner or medium any third party content or service displayed through the Digix product.
All third party content or service is provided "as is." Third party content or service may be terminated or interrupted at any time. Digix has no control over the networks and transmission facilities that third party content and services are transmitted through. Any question or request regarding third party content or services should be made directly to the applicable third party.
Digix EXPRESSLY DISCLAIMS ANY RESPONSIBILITY OR LIABILITY FOR ANY AVAILABILITY, INTERRUPTION OR SUSPENSION OF ANY THIRD PARTY CONTENT OR SERVICE MADE AVAILABLE THROUGH THE Digix PRODUCT. Digix DOES NOT WARRANT OR MAKE ANY REPRESENTATION, WHETHER EXPRESS OR IMPLIED, ABOUT THE SUBSTANCE, QUALITY, FUNCTIONALITY, ACCURACY, VALIDITY, TIMELINESS, SUITABILITY,AVAILABILITY, COMPLETENESS, FITNESS FOR A

PARTICULAR PURPOSE, MERCHANTABILITY OR ANY OTHER REPRESENTATION ABOUT SUCH CONTENT OR SERVICES. Digix EXPRESSLY DISCLAIMS ANY AND ALL IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO, WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. UNDER NO CIRCUMSTANCES, INCLUDING NEGLIGENCE, SHALL Digix BE LIABLE, WHETHER IN CONTRACT OR TORT, FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, ATTORNEY FEES, COSTS, EXPENSES, OR ANY OTHER DAMAGES ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OF ANY THIRD PARTY CONTENT OR SERVICES, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

MEMO

保証書

持込修理　無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間中でも次の場合には有料修理となります。
   (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造等による故障及び損傷
   (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
   (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛り等による故障及び損傷
   (ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
   (ホ)本書のご提示がない場合
   (ヘ)本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合
   (但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
   (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
   (チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居等で本保証書に記入のお買上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	ブルーレイディスクプレーヤー			★お買上日：　　年　　月　　日
型　番	BDP-137Z	品　番	07-0137	保証期間：本体1年間(お買上げの日から)

お客様	★お名前　　　　様
	★ご住所　〒　　－ 電話　　(　　)

見本

修理メモ

販売店	★住所　店名　電話 印

(注)★印欄に記入の無い場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは **お客様相談室** へ
●フリーダイヤル（無料） 0120-963-006
●携帯電話・公衆電話からは 048-992-2735
電話受付 平日 9：00～17：30 土曜 9：00～17：00 日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は **修理ご相談センター**へ
電話受付 048-992-3970 平日 9：00～17：00 土・日・祝日及び年末年始は除きます